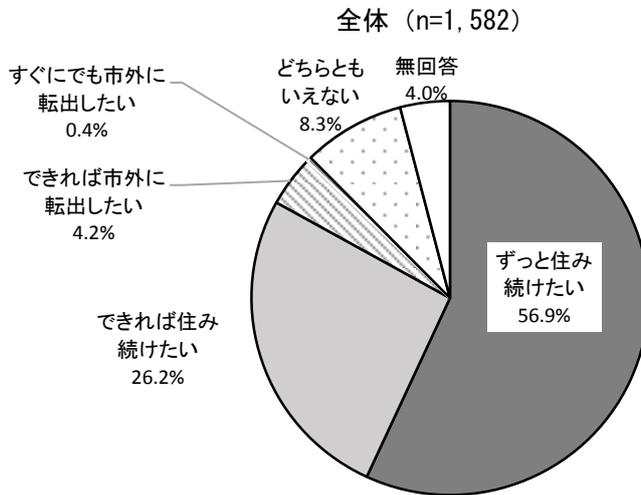


Ⅲ 集計結果

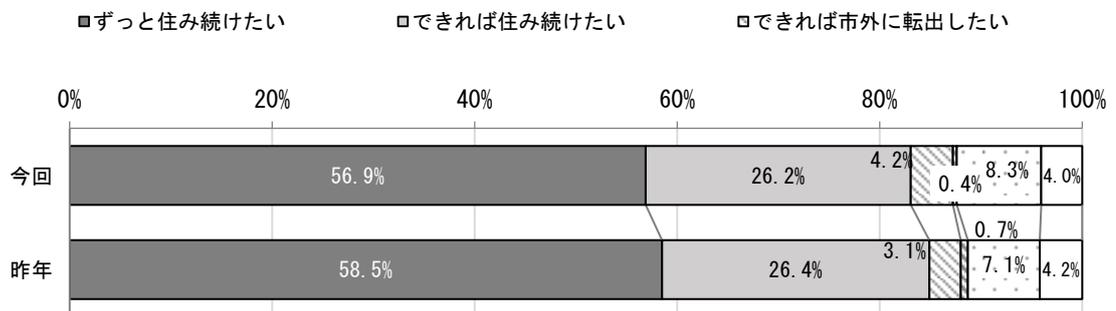
1. 大分市全体について

(1) 定住意向

問1 今後も大分市にずっと住み続けたいですか。(1つだけ選んでください)



昨年調査結果との比較



今後の定住意向をみると、「ずっと住み続けたい」が56.9%、「できれば住み続けたい」が26.2%で、合計した定住意向率は83.1%です。一方、「できれば市外に転出したい」が4.2%、「すくなくても市外に転出したい」が0.4%で転出意向率は4.6%にとどまっています。

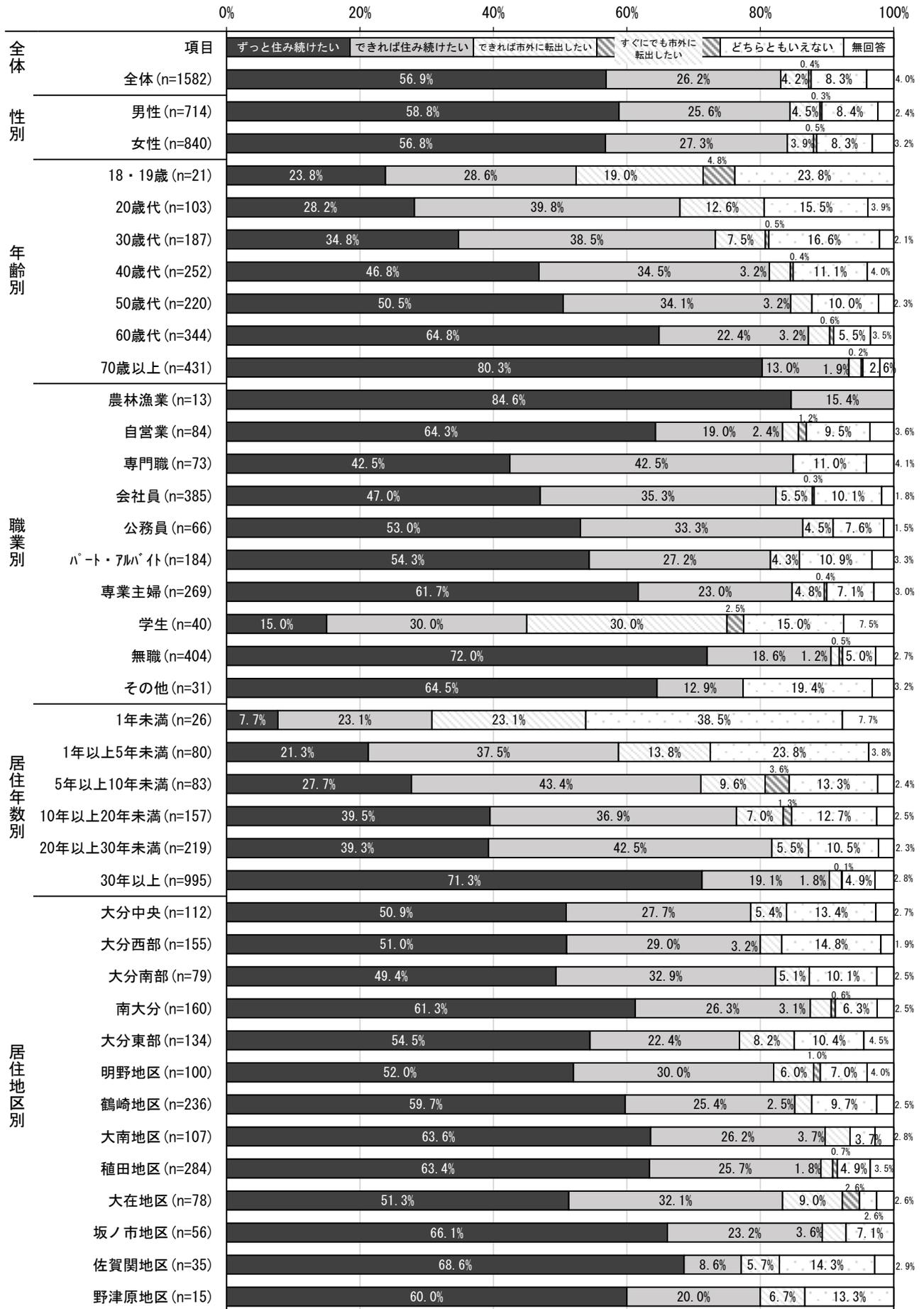
また、昨年調査結果と比較すると若干定住意向の減少が見られます。

【属性別特徴】

- 性別でみると各割合は同じ傾向にあります。
- 年齢別でみると高齢になるほど定住意向が高まる傾向があります。
- 職業別でみると学生は定住意向率が他職業に比べて低く、転出意向率が極めて高くなっています。
- 居住年数別でみると居住年数が長いほど定住意向率が高い傾向にあります。
- 居住地区別でみると「大南地区」は定住意向率が最も高く、「大在地区」は転出意向率が最も高くなっています。

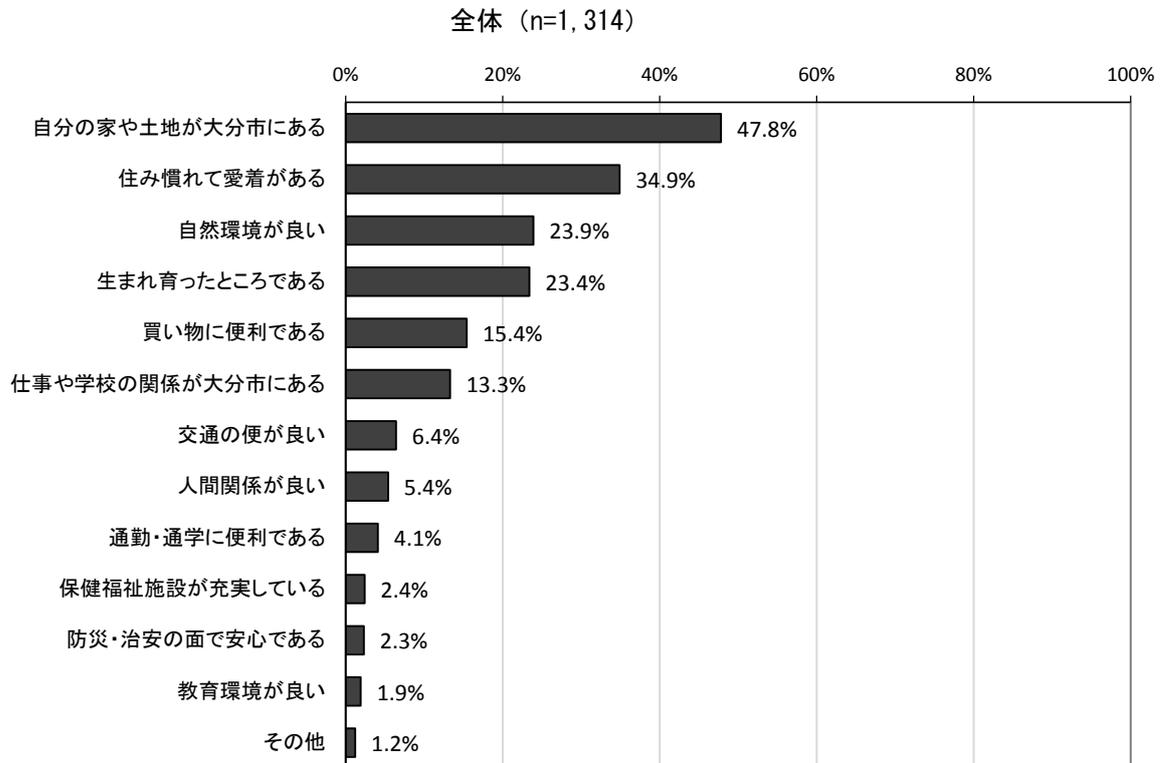
◇Ⅲ 集計結果

(属性別)



(2) 住み続けたい理由

問2 問1で1または2(住み続けたい)とお答えの方にお聞きます。そう思われる理由は何ですか。(2つまで選んでください)



今後も住み続けたいと思う理由としては、「自分の家や土地が大分市にある」が47.8%と最も高く、次いで、「住み慣れて愛着がある」34.9%、「自然環境が良い」23.9%、「生まれ育ったところである」23.4%となっています。

【属性別特徴】

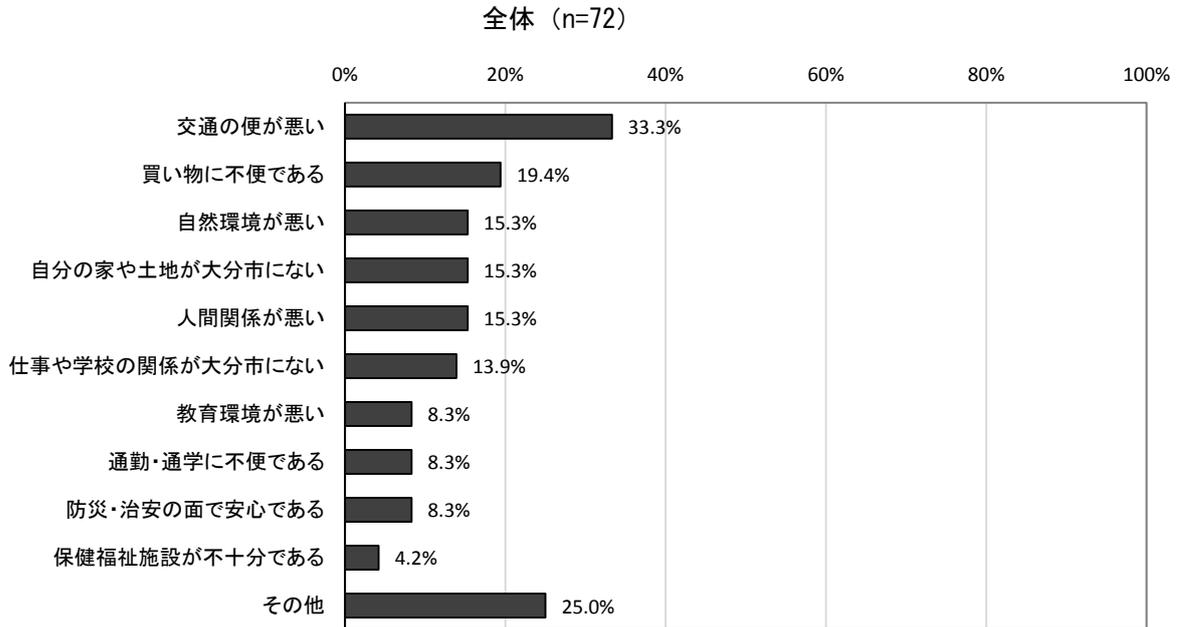
- 性別でみると男女ともに「自分の家や土地が大分市にある」が最も高くなっています。
- 年齢別でみると若年層は「生まれ育ったところである」の割合が最も高く、30歳以上は「自分の家や土地が大分市にある」の割合が最も高くなっています。全体的に年代を問わず土地への愛着傾向がみられます。
- 職業別でみると「公務員」「学生」「その他」を除く職業では、「自分の家や土地が大分市にある」の割合が最も高く、「公務員」は「仕事や学校の関係が大分市にある」、「学生」は「生まれ育ったところである」「住み慣れて愛着がある」、「その他」は「住み慣れて愛着がある」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると居住年数が「1～5年未満」は「自然環境が良い」、「5年～10年未満」は「仕事や学校の関係が大分市にある」、「1年未満」と「10年以上」は、「自分の家や土地が大分市にある」の割合が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「野津原地区」を除くすべての地区は、「自分の家や土地が大分市にある」が最も高く、「野津原地区」は「生まれ育ったところである」が最も高くなっています。また、「佐賀関地区」は、「自分の家や土地が大分市にある」と「生まれ育ったところである」が同率で最も高くなっています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	自然環境が良い	教育環境が良い	保健福祉施設が充実している	自分の家や土地が大分市にある	仕事や学校の関係が大分市にある	買い物に便利である	交通の便が良い	人間関係が良い	生まれ育ったところである	住み慣れて愛着がある	通勤・通学に便利である	防災・治安の面で安心である	その他
全体		1,314	23.9	1.9	2.4	47.8	13.3	15.4	6.4	5.4	23.4	34.9	4.1	2.3	1.2
性別	男	603	23.4	1.5	2.0	49.6	14.9	11.6	5.5	5.0	25.5	34.0	5.5	2.5	1.3
	女	706	24.4	2.3	2.7	46.3	12.0	18.7	7.1	5.8	21.8	35.4	3.0	2.0	1.1
年齢別	18・19歳	11	18.2	0.0	0.0	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	63.6	54.5	0.0	0.0	0.0
	20歳代	70	18.6	2.9	1.4	22.9	27.1	21.4	7.1	4.3	30.0	28.6	14.3	1.4	1.4
	30歳代	137	13.9	3.6	2.2	41.6	27.0	12.4	1.5	2.9	39.4	35.8	2.2	0.7	0.7
	40歳代	205	19.5	2.4	2.0	43.9	26.3	16.6	3.4	3.4	23.4	35.6	7.3	1.0	2.9
	50歳代	186	17.7	1.6	1.6	51.1	22.0	18.8	4.3	3.2	21.0	34.4	6.5	1.1	1.1
	60歳代	300	27.7	1.0	2.7	55.0	4.7	15.0	8.7	5.3	18.7	34.7	3.7	3.3	1.3
	70歳以上	402	30.6	1.7	3.0	50.0	2.0	14.2	8.7	8.7	20.6	34.8	0.7	3.5	0.5
職業別	農林漁業	13	23.1	0.0	0.0	69.2	0.0	7.7	0.0	7.7	46.2	30.8	0.0	0.0	0.0
	自営業	70	24.3	2.9	2.9	50.0	17.1	10.0	7.1	5.7	30.0	28.6	1.4	1.4	1.4
	専門職	62	14.5	0.0	0.0	48.4	25.8	21.0	6.5	1.6	29.0	22.6	11.3	1.6	0.0
	会社員	317	19.2	1.3	0.9	46.7	24.3	12.0	5.4	3.5	25.6	37.5	9.5	0.9	1.9
	公務員	57	17.5	3.5	3.5	35.1	42.1	19.3	5.3	0.0	17.5	22.8	12.3	1.8	1.8
	パート	150	18.7	1.3	1.3	48.7	14.0	20.7	4.7	4.7	26.7	36.0	1.3	1.3	0.7
	専業主婦	228	28.9	2.6	2.2	54.4	3.9	18.4	6.1	7.5	16.7	38.6	0.9	2.6	1.3
	学生	18	16.7	5.6	0.0	22.2	22.2	5.6	0.0	5.6	50.0	50.0	5.6	0.0	0.0
	無職	366	29.8	2.2	4.4	47.5	1.6	15.0	9.0	7.4	21.9	33.3	0.5	3.8	1.1
	その他	24	33.3	0.0	4.2	33.3	25.0	12.5	4.2	4.2	8.3	41.7	8.3	8.3	0.0
居住年数別	1年未満	8	25.0	0.0	0.0	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0
	1～5年	47	31.9	6.4	8.5	23.4	21.3	27.7	10.6	8.5	8.5	6.4	8.5	2.1	4.3
	5～10年	59	22.0	8.5	0.0	30.5	37.3	33.9	10.2	10.2	3.4	15.3	6.8	5.1	5.1
	10～20年	120	20.8	3.3	5.0	48.3	20.8	21.7	5.8	5.0	11.7	30.0	8.3	0.8	1.7
	20～30年	179	18.4	1.1	3.4	44.7	26.3	14.0	3.9	3.4	18.4	36.3	8.4	1.7	0.6
	30年以上	899	25.0	1.2	1.7	50.9	7.8	13.0	6.3	5.3	28.4	38.0	2.1	2.4	0.9
	居住地区別	大分中央	88	14.8	4.5	5.7	40.9	14.8	23.9	5.7	4.5	22.7	29.5	13.6	2.3
大分西部		124	15.3	0.8	0.8	51.6	13.7	16.1	7.3	1.6	20.2	44.4	4.8	0.8	0.8
大分南部		65	16.9	3.1	1.5	35.4	13.8	18.5	6.2	6.2	30.8	30.8	6.2	3.1	1.5
南大分		140	26.4	2.1	4.3	42.1	12.1	22.9	8.6	5.0	17.9	30.7	7.1	2.9	2.1
大分東部		103	22.3	1.0	1.0	39.8	14.6	12.6	13.6	10.7	31.1	33.0	2.9	1.0	0.0
明野地区		82	32.9	2.4	1.2	51.2	14.6	15.9	9.8	1.2	7.3	41.5	0.0	6.1	1.2
鶴崎地区		201	18.4	3.0	0.0	57.7	17.4	13.4	2.5	4.5	22.4	36.8	2.0	2.5	2.5
大南地区		96	35.4	1.0	2.1	56.3	15.6	4.2	5.2	6.3	25.0	25.0	2.1	2.1	0.0
植田地区		253	30.4	1.2	4.7	47.4	9.5	14.2	4.7	7.1	22.1	37.9	3.2	0.8	0.4
大在地区		65	18.5	1.5	3.1	43.1	15.4	27.7	3.1	6.2	26.2	32.3	6.2	3.1	1.5
坂ノ市地区		50	22.0	0.0	0.0	50.0	10.0	8.0	4.0	0.0	32.0	38.0	2.0	6.0	2.0
佐賀関地区		27	40.7	3.7	0.0	44.4	11.1	0.0	11.1	11.1	44.4	22.2	0.0	0.0	0.0
野津原地区		12	16.7	0.0	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0	16.7	75.0	33.3	0.0	8.3	0.0

(3) 転出したい理由

問3 問1で3または4(転出したい)とお答えの方にお聞きします。そう思われる理由は何ですか。
(2つまで選んでください)



その他の主な意見	
交通面の問題（渋滞、交通マナー、駐車場）	3人
別の場所に行きたい、あるいは行く予定	3人
馴染めない、マナーが悪い	2人
公害、大気汚染	2人

転出したい理由としては、「交通の便が悪い」の割合が最も高くなっています。

【属性別特徴】

- 性別でみると男女ともに「交通の便が悪い」が最も高くなっています。
- 年齢別でみると「18・19歳」は、「仕事や学校の関係が大分市にない」、「20、30歳代」と「50歳代」は「交通の便が悪い」、「40歳代」は「自分の家や土地が大分市にない」、「60歳代」は「その他」、「70歳以上」は、「買い物に不便である」「交通の便が悪い」「その他」が高くなっています。
- 職業別でみると「会社員」と「学生」は「交通の便が悪い」が最も高くなっていますが、「自営業」は、「防災・治安の面で心配である」、「公務員」と「専業主婦（主夫）」は「人間関係が悪い」となっています。その一方、「農林漁業」「専門職」「その他」は該当者がいません。
- 居住年数別でみると「1年以上5年未満」と「30年以上」は「その他」の割合が最も高く様々な理由があることがうかがえます。
- 居住地区別でみると最も割合が高い理由で「交通の便が悪い」が6地区（「大分南部」「南大分」「明野地区」「大南地区」「植田地区」「野津原地区」）となっております。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	自然環境が悪い	教育環境が悪い	保健福祉施設が不十分である	自分の家や土地が大分市にない	仕事や学校の関係が大分市にない	買い物に不便である	交通の便が悪い	人間関係が悪い	通勤・通学に不便である	防災・治安の面で心配である	その他
全体		72	15.3	8.3	4.2	15.3	13.9	19.4	33.3	15.3	8.3	8.3	25.0
性別	男	34	11.8	8.8	2.9	17.6	14.7	20.6	35.3	11.8	5.9	8.8	26.5
	女	37	18.9	8.1	5.4	13.5	10.8	18.9	32.4	18.9	10.8	8.1	24.3
年齢別	18・19歳	5	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	20歳代	13	7.7	7.7	7.7	15.4	30.8	15.4	53.8	7.7	23.1	0.0	0.0
	30歳代	15	26.7	13.3	0.0	20.0	6.7	26.7	33.3	13.3	13.3	6.7	13.3
	40歳代	9	11.1	11.1	11.1	44.4	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	22.2	33.3
	50歳代	7	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	42.9	28.6	0.0	14.3	28.6
	60歳代	13	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	15.4	30.8	0.0	7.7	53.8
	70歳以上	9	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	33.3	11.1	11.1	11.1	33.3
職業別	農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	自営業	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	専門職	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	会社員	22	9.1	0.0	4.5	22.7	13.6	22.7	45.5	13.6	4.5	4.5	22.7
	公務員	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3
	パート	8	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	50.0
	専業主婦	14	14.3	14.3	0.0	21.4	14.3	21.4	21.4	28.6	7.1	14.3	21.4
	学生	13	7.7	7.7	7.7	0.0	38.5	30.8	46.2	0.0	23.1	0.0	7.7
	無職	7	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
居住年数別	1年未満	6	16.7	0.0	0.0	33.3	50.0	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～5年	11	9.1	0.0	9.1	27.3	9.1	27.3	27.3	18.2	0.0	0.0	36.4
	5～10年	11	27.3	9.1	0.0	27.3	9.1	9.1	18.2	36.4	0.0	9.1	18.2
	10～20年	13	7.7	15.4	0.0	23.1	23.1	15.4	30.8	7.7	15.4	7.7	15.4
	20～30年	12	16.7	16.7	8.3	0.0	16.7	25.0	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7
	30年以上	19	15.8	5.3	5.3	0.0	0.0	15.8	31.6	21.1	10.5	10.5	42.1
居住地区別	大分中央	6	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	大分西部	5	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	大分南部	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	南大分	6	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	大分東部	11	9.1	9.1	0.0	27.3	36.4	9.1	27.3	9.1	27.3	0.0	9.1
	明野地区	7	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0	28.6
	鶴崎地区	6	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	50.0
	大南地区	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
	植田地区	7	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	42.9	14.3	0.0	14.3	14.3
	大在地区	9	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	44.4	33.3	22.2	0.0	0.0	22.2
	坂ノ市地区	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	佐賀関地区	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
野津原地区	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

2. 大分市総合計画 42 施策の取組に対する「重要度」と「満足度」

(1) 重要度、満足度

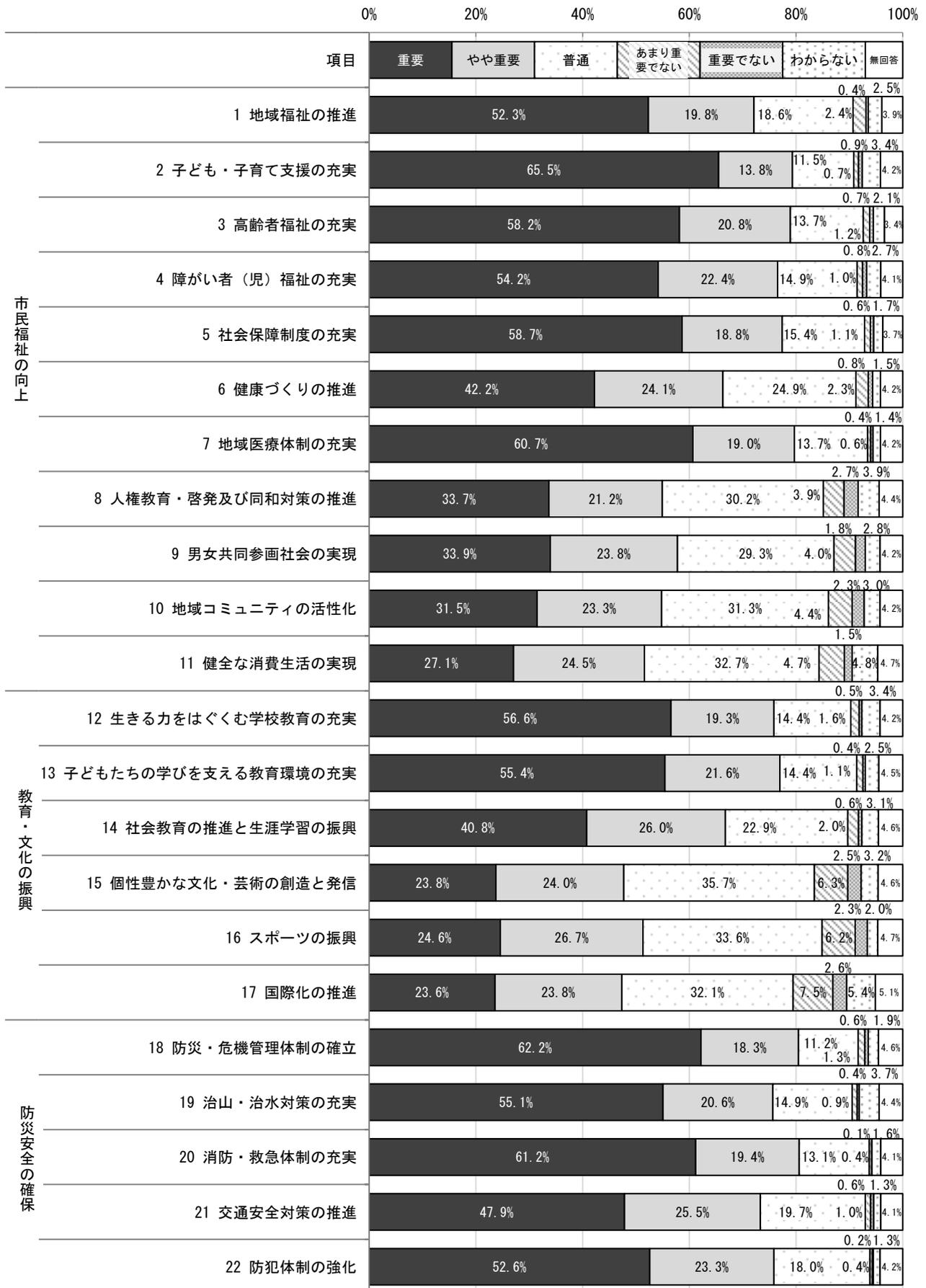
問4 次の各項目は、大分市総合計画「おおいた創造ビジョン 2024」に基づき進めている 42 施策の取組です。あなたは、それぞれの取組がどのくらい重要だと思いますか。また、現在その取組に満足していますか。(1 つずつ選んで○印をつけてください)

大分市総合計画「おおいた創造ビジョン 2024」に基づき進めている 42 施策の取組は以下の通りです。

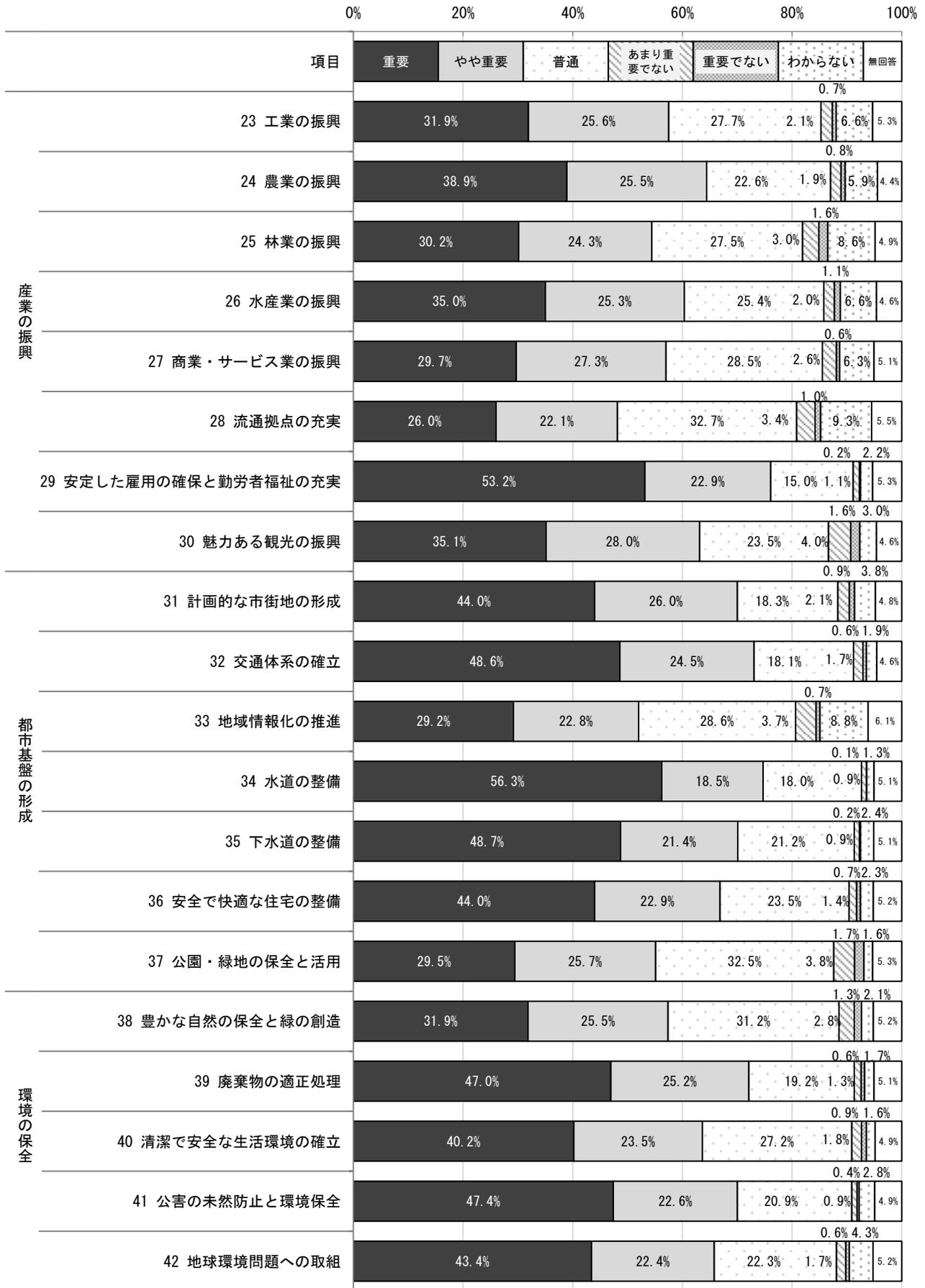
市民福祉の向上	1	地域福祉の推進
	2	子ども・子育て支援の充実
	3	高齢者福祉の充実
	4	障がい者（児）福祉の充実
	5	社会保障制度の充実
	6	健康づくりの推進
	7	地域医療体制の充実
	8	人権教育・啓発及び同和対策の推進
	9	男女共同参画社会の実現
	10	地域コミュニティの活性化
	11	健全な消費生活の実現
興 教育・文化の振	12	生きる力をはぐくむ学校教育の充実
	13	子どもたちの学びを支える教育環境の充実
	14	社会教育の推進と生涯学習の振興
	15	個性豊かな文化・芸術の創造と発信
	16	スポーツの振興
	17	国際化の推進
確保 防災安全の	18	防災・危機管理体制の確立
	19	治山・治水対策の充実
	20	消防・救急体制の充実
	21	交通安全対策の推進
	22	防犯体制の強化
産業の振興	23	工業の振興
	24	農業の振興
	25	林業の振興
	26	水産業の振興
	27	商業・サービス業の振興
	28	流通拠点の充実
	29	安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実
	30	魅力ある観光の振興
都市基盤の形成	31	計画的な市街地の形成
	32	交通体系の確立
	33	地域情報化の推進
	34	水道の整備
	35	下水道の整備
	36	安全で快適な住宅の整備
	37	公園・緑地の保全と活用
環境の保全	38	豊かな自然の保全と緑の創造
	39	廃棄物の適正処理
	40	清潔で安全な生活環境の確立
	41	公害の未然防止と環境保全
	42	地球環境問題への取組

■ 重要度 ■

42 施策の取組の重要度の割合は、次のグラフのとおりです。



◇Ⅲ 集計結果



大分市総合計画の42施策の取組について、市民の重要度の位置関係を相対的に把握するため、下記のとおり、重要度を点数化し、順位付けを行いました。順位は、以下のとおりです。また、昨年度との順位を比較し、5位以上順位アップには○、5位以上順位ダウンには▼を表示しています。

重要度の順位付け

「重要」に5点、「やや重要」に4点、「普通」に3点、「あまり重要でない」に2点、「重要でない」に1点、「わからない」、「無回答」に0点を当てはめ、回答者の平均得点を算出し、順位付けを行いました。(小数第2位まで四捨五入で表示)

重要度の順位

順位	取組	重要度 平均スコア	昨年度順位 及び比較	5位≧アップ(○) 5位≧ダウン(▼)
1	2 子ども・子育て支援の充実	4.54	3 ↑	
2	20 消防・救急体制の充実	4.50	7 ↑	○
3	18 防災・危機管理体制の確立	4.50	2 ↓	
4	7 地域医療体制の充実	4.47	5 ↑	
5	3 高齢者福祉の充実	4.42	4 ↓	
6	5 社会保障制度の充実	4.41	6 →	
7	12 生きる力をはぐくむ学校教育の充実	4.41	13 ↑	○
8	19 治山・治水対策の充実	4.40	1 ↓	▼
9	13 子どもたちの学びを支える教育環境の充実	4.40	10 ↑	
10	34 水道の整備	4.39	15 ↑	○
11	29 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	4.38	11 →	
12	4 障がい者(児)福祉の充実	4.37	8 ↓	
13	22 防犯体制の強化	4.35	12 ↓	
14	1 地域福祉の推進	4.30	9 ↓	▼
15	35 下水道の整備	4.27	14 ↓	
16	32 交通体系の確立	4.27	20 ↑	
17	21 交通安全対策の推進	4.26	17 →	
18	41 公害の未然防止と環境保全	4.25	19 ↑	
19	39 廃棄物の適正処理	4.25	16 ↓	
20	31 計画的な市街地の形成	4.20	23 ↑	
21	42 地球環境問題への取組	4.17	22 ↑	
22	36 安全で快適な住宅の整備	4.17	24 ↑	
23	14 社会教育の推進と生涯学習の振興	4.13	35 ↑	○
24	24 農業の振興	4.11	21 ↓	
25	6 健康づくりの推進	4.11	18 ↓	▼
26	40 清潔で安全な生活環境の確立	4.07	29 ↑	
27	26 水産業の振興	4.03	26 ↓	
28	30 魅力ある観光の振興	3.98	25 ↓	
29	23 工業の振興	3.98	27 ↓	
30	27 商業・サービス業の振興	3.94	28 ↓	
31	25 林業の振興	3.91	30 ↓	
32	38 豊かな自然の保全と緑の創造	3.90	32 →	
33	9 男女共同参画社会の実現	3.90	37 ↑	
34	33 地域情報化の推進	3.89	39 ↑	○
35	8 人権教育・啓発及び同和対策の推進	3.87	33 ↓	
36	10 地域コミュニティの活性化	3.83	34 ↓	
37	37 公園・緑地の保全と活用	3.83	36 ↓	
38	28 流通拠点の充実	3.81	31 ↓	▼
39	11 健全な消費生活の実現	3.78	40 ↑	
40	16 スポーツの振興	3.70	38 ↓	
41	15 個性豊かな文化・芸術の創造と発信	3.65	42 ↑	
42	17 国際化の推進	3.65	41 ↓	

◇Ⅲ 集計結果

さらに、大分市総合計画の 42 施策の取組について、市民が重要視している取組が、昨年度と比べてどのように変化したかを把握するため、伸び率で比較をしました。

全体の重要度の平均について、昨年度と今年度を比較すると 0.15 の上昇が見られ、関心度が高くなったことがうかがえます。各取組の伸び率でみると、特に「社会教育の推進と生涯学習の振興」と「地域情報化の推進」に市民の関心度の高まりが見受けられます。

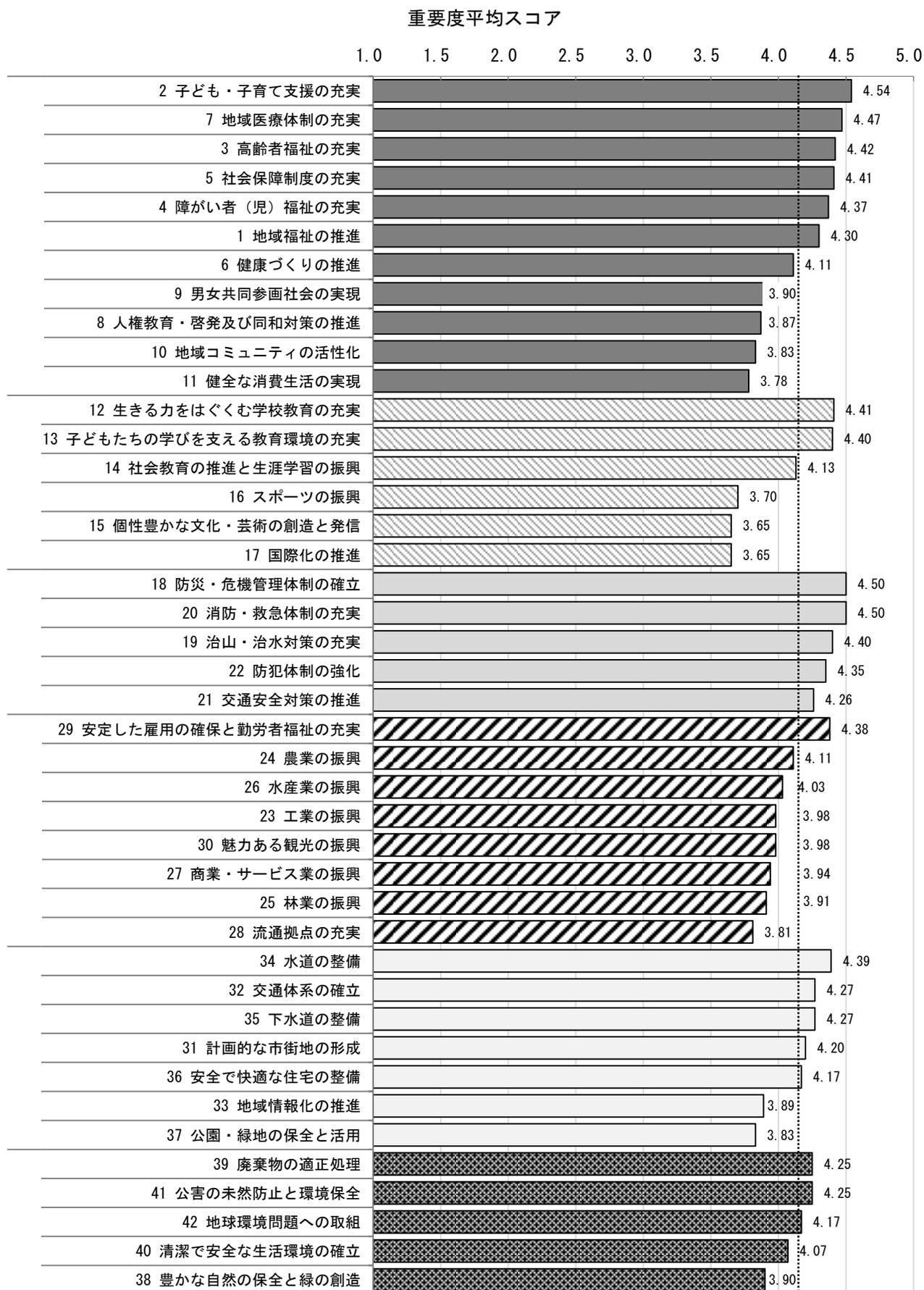
なお、42 取組のうち、39 取組で重要度の点数が上昇、2 取組が下降している状況となっています。

点数の伸び率が、1.10 以上の場合◎、1.03 以上 1.10 未満の場合○、0.97 以下の場合▲

昨年度との比較

取組	点数化			
	H29	H30	伸び率 H30/H29	変化 H29→H30
1 地域福祉の推進	4.27	4.30	1.01	
2 子ども・子育て支援の充実	4.48	4.54	1.01	
3 高齢者福祉の充実	4.47	4.42	0.99	
4 障がい者（児）福祉の充実	4.28	4.37	1.02	
5 社会保障制度の充実	4.41	4.41	1.00	
6 健康づくりの推進	4.09	4.11	1.00	
7 地域医療体制の充実	4.44	4.47	1.01	
8 人権教育・啓発及び同和対策の推進	3.73	3.87	1.04	○
9 男女共同参画社会の実現	3.62	3.90	1.08	○
10 地域コミュニティの活性化	3.71	3.83	1.03	○
11 健全な消費生活の実現	3.50	3.78	1.08	○
12 生きる力をはぐくむ学校教育の充実	4.16	4.41	1.06	○
13 子どもたちの学びを支える教育環境の充実	4.23	4.40	1.04	○
14 社会教育の推進と生涯学習の振興	3.65	4.13	1.13	◎
15 個性豊かな文化・芸術の創造と発信	3.40	3.65	1.07	○
16 スポーツの振興	3.58	3.70	1.03	○
17 国際化の推進	3.46	3.65	1.05	○
18 防災・危機管理体制の確立	4.49	4.50	1.00	
19 治山・治水対策の充実	4.54	4.40	0.97	▲
20 消防・救急体制の充実	4.39	4.50	1.03	○
21 交通安全対策の推進	4.11	4.26	1.04	○
22 防犯体制の強化	4.18	4.35	1.04	○
23 工業の振興	3.83	3.98	1.04	○
24 農業の振興	4.00	4.11	1.03	○
25 林業の振興	3.78	3.91	1.03	○
26 水産業の振興	3.86	4.03	1.04	○
27 商業・サービス業の振興	3.83	3.94	1.03	○
28 流通拠点の充実	3.76	3.81	1.01	
29 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	4.19	4.38	1.05	○
30 魅力ある観光の振興	3.87	3.98	1.03	○
31 計画的な市街地の形成	3.96	4.20	1.06	○
32 交通体系の確立	4.03	4.27	1.06	○
33 地域情報化の推進	3.54	3.89	1.10	◎
34 水道の整備	4.14	4.39	1.06	○
35 下水道の整備	4.15	4.27	1.03	○
36 安全で快適な住宅の整備	3.94	4.17	1.06	○
37 公園・緑地の保全と活用	3.63	3.83	1.06	○
38 豊かな自然の保全と緑の創造	3.75	3.90	1.04	○
39 廃棄物の適正処理	4.12	4.25	1.03	○
40 清潔で安全な生活環境の確立	3.81	4.07	1.07	○
41 公害の未然防止と環境保全	4.09	4.25	1.04	○
42 地球環境問題への取組	3.99	4.17	1.05	○
全体	3.99	4.14	1.04	

6 施策別の取組の重要度の平均スコアは次のグラフのとおりです。

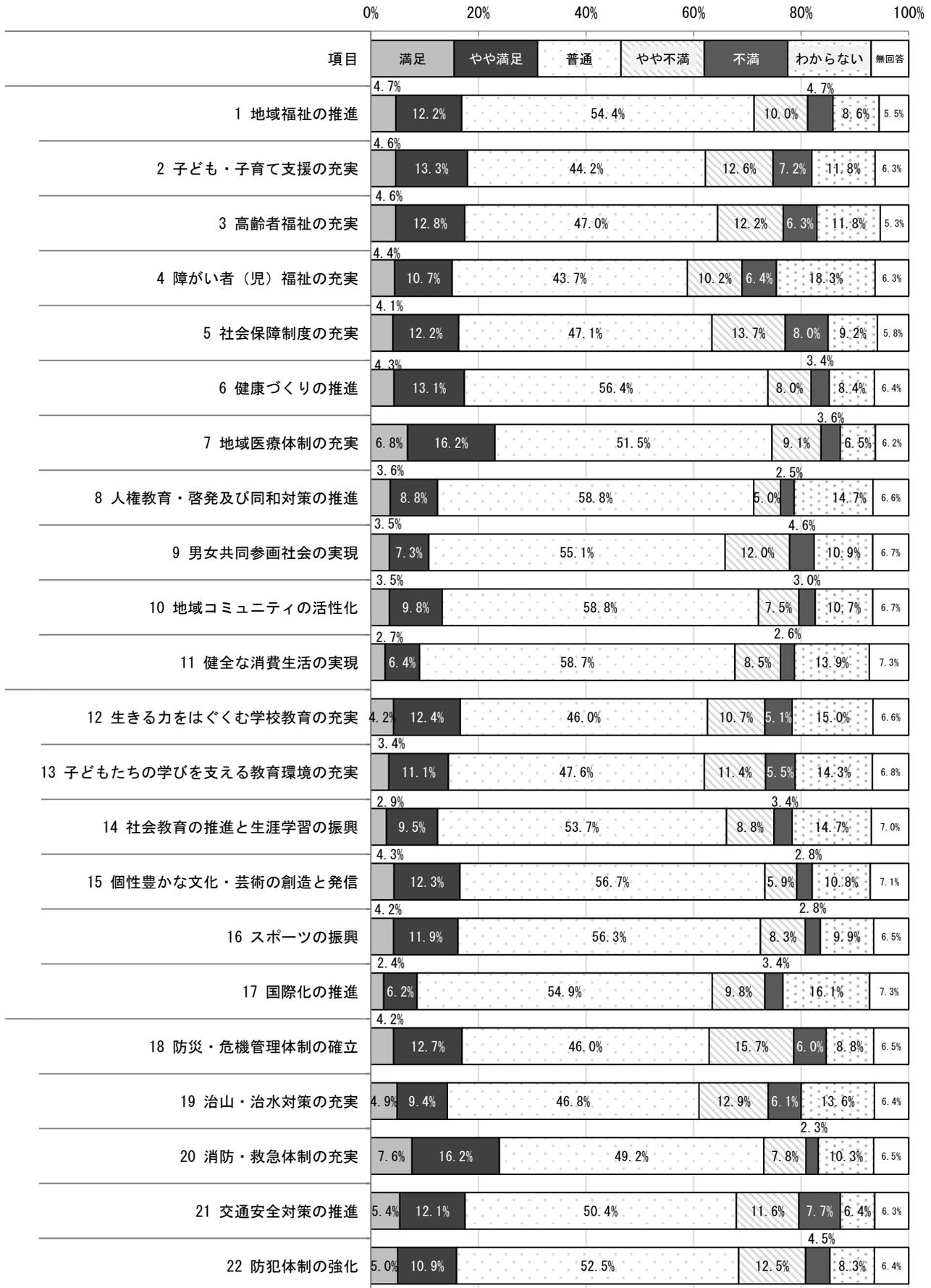


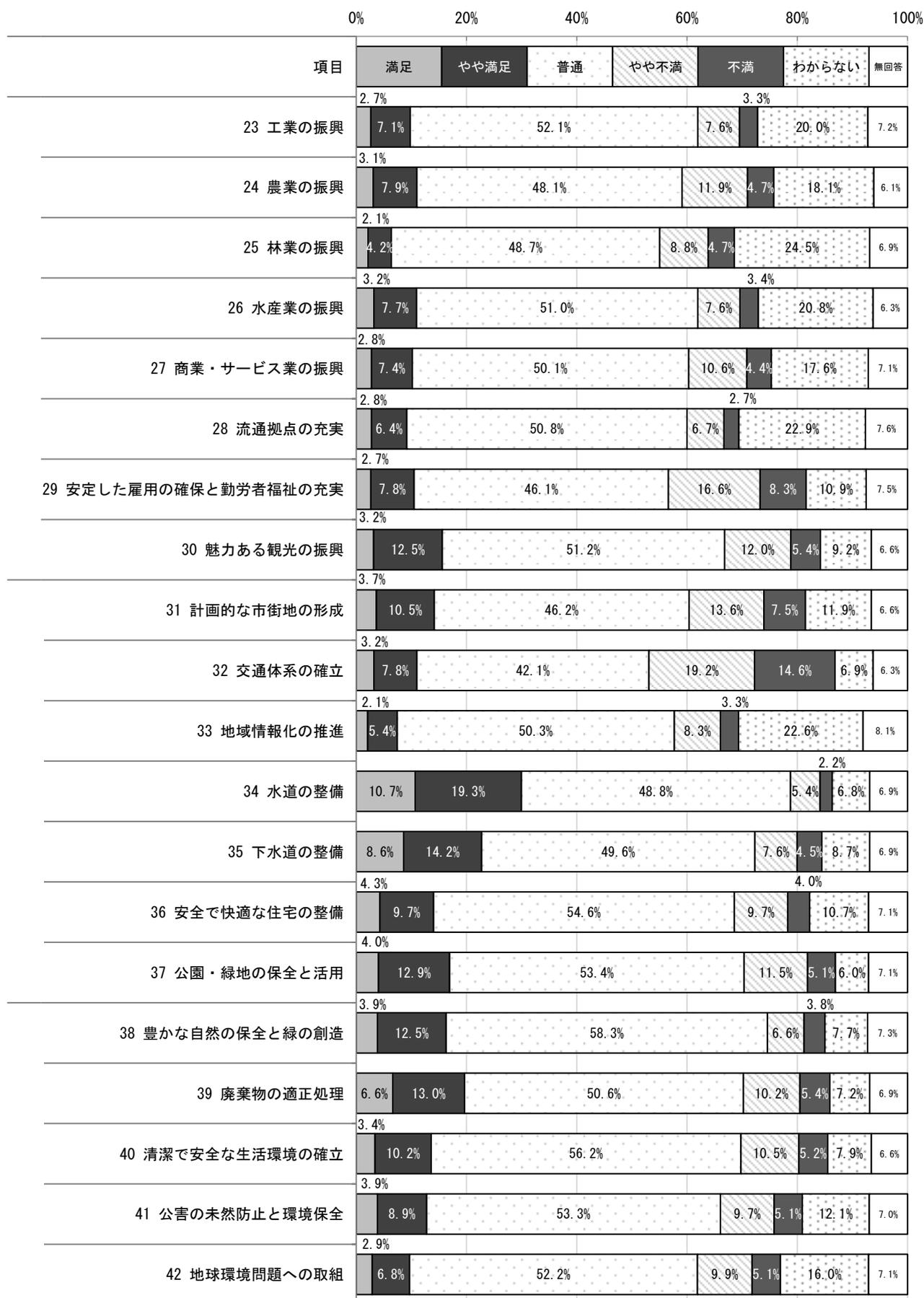
(全体平均 4.14)

◇Ⅲ 集計結果

■ 満足度 ■

42 施策の取組の満足度の割合は、次のグラフのとおりです。





◇Ⅲ 集計結果

大分市総合計画の42施策の取組について、市民の満足度の位置関係を相対的に把握するため、下記のとおり、満足度を点数化し、順位付けを行いました。順位は、以下のとおりです。また、昨年度との順位を比較し、5位以上順位アップには○、5位以上順位ダウンには▼を表示しています。

満足度の順位付け

「満足」に5点、「やや満足」に4点、「普通」に3点、「やや不満」に2点、「不満」に1点、「わからない」、「無回答」に0点を当てはめ、回答者の平均得点を算出し、順位付けを行いました。

(小数第2位まで四捨五入で表示)

満足度の順位

順位	取組	満足度 平均スコア	昨年度順位 及び比較	5≥アップ(○) 5≥ダウン(▼)
1	34 水道の整備	3.36	1 →	
2	20 消防・救急体制の充実	3.23	7 ↑	○
3	35 下水道の整備	3.17	11 ↑	○
4	7 地域医療体制の充実	3.16	6 ↑	
5	15 個性豊かな文化・芸術の創造と発信	3.11	2 ↓	
6	6 健康づくりの推進	3.08	5 ↓	
7	16 スポーツの振興	3.08	4 ↓	
8	8 人権教育・啓発及び同和対策の推進	3.08	14 ↑	○
9	38 豊かな自然の保全と緑の創造	3.07	10 ↑	
10	39 廃棄物の適正処理	3.06	3 ↓	▼
11	10 地域コミュニティの活性化	3.04	13 ↑	
12	1 地域福祉の推進	3.03	15 ↑	
13	36 安全で快適な住宅の整備	3.01	36 ↑	○
14	12 生きる力をはぐくむ学校教育の充実	3.00	27 ↑	○
15	26 水産業の振興	3.00	16 ↑	
16	28 流通拠点の充実	3.00	25 ↑	○
17	14 社会教育の推進と生涯学習の振興	3.00	12 ↓	▼
18	22 防犯体制の強化	2.99	17 ↓	
19	37 公園・緑地の保全と活用	2.99	9 ↓	▼
20	23 工業の振興	2.98	32 ↑	○
21	11 健全な消費生活の実現	2.98	23 ↑	
22	3 高齢者福祉の充実	2.97	8 ↓	▼
23	41 公害の未然防止と環境保全	2.96	26 ↑	
24	4 障がい者(児)福祉の充実	2.95	21 ↓	
25	40 清潔で安全な生活環境の確立	2.95	20 ↓	▼
26	30 魅力ある観光の振興	2.95	22 ↓	
27	21 交通安全対策の推進	2.95	28 ↑	
28	2 子ども・子育て支援の充実	2.95	19 ↓	▼
29	13 子どもたちの学びを支える教育環境の充実	2.94	34 ↑	○
30	17 国際化の推進	2.93	18 ↓	▼
31	19 治山・治水対策の充実	2.92	29 ↓	
32	33 地域情報化の推進	2.92	40 ↑	○
33	18 防災・危機管理体制の確立	2.92	24 ↓	▼
34	9 男女共同参画社会の実現	2.92	31 ↓	
35	27 商業・サービス業の振興	2.91	35 →	
36	24 農業の振興	2.90	33 ↓	
37	42 地球環境問題への取組	2.90	30 ↓	▼
38	5 社会保障制度の充実	2.89	39 ↑	
39	31 計画的な市街地の形成	2.87	38 ↓	
40	25 林業の振興	2.86	37 ↓	
41	29 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	2.75	41 →	
42	32 交通体系の確立	2.61	42 →	

さらに、大分市総合計画の6施策の42の取組について、市民が満足している取組が、昨年度と比べてどのように変化したかを把握するため、伸び率で比較しました。

全体の満足度の平均について、昨年度と今年度を比較すると3.00から2.99と大きな変化はみられません。各取組の伸び率でみると、特に高齢者福祉や交通体系、公園・緑地の取組で市民の満足度の伸び率が大きくマイナスになっています。一方、住宅や下水道の整備、消防・救急体制、地域情報化に関する取組は大きくプラスになっています。

なお、42取組のうち、12取組で満足度の点数が上昇、28取組で下降している状況です。

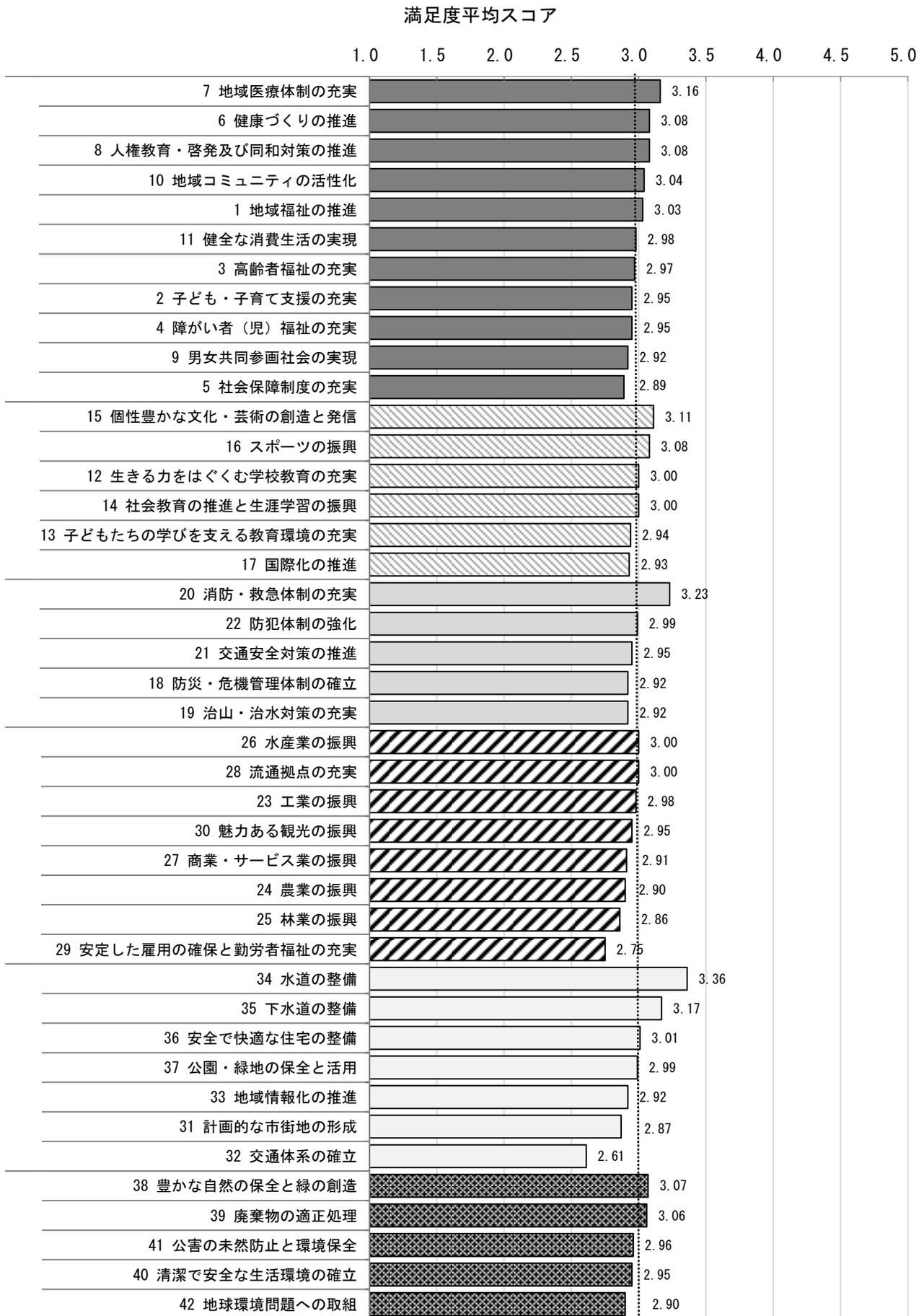
点数の伸び率が、1.10以上の場合◎、1.03以上1.10の場合○、0.97以下の場合▲

昨年度との比較

取組	点数化			
	H29	H30	伸び率 H30/H29	変化 H29→H30
1 地域福祉の推進	3.04	3.03	1.00	
2 子ども・子育て支援の充実	3.01	2.95	0.98	
3 高齢者福祉の充実	3.11	2.97	0.95	▲
4 障がい者（児）福祉の充実	3.01	2.95	0.98	
5 社会保障制度の充実	2.86	2.89	1.01	
6 健康づくりの推進	3.14	3.08	0.98	
7 地域医療体制の充実	3.13	3.16	1.01	
8 人権教育・啓発及び同和対策の推進	3.06	3.08	1.01	
9 男女共同参画社会の実現	2.93	2.92	1.00	
10 地域コミュニティの活性化	3.06	3.04	0.99	
11 健全な消費生活の実現	3.00	2.98	0.99	
12 生きる力をはぐくむ学校教育の充実	2.96	3.00	1.01	
13 子どもたちの学びを支える教育環境の充実	2.91	2.94	1.01	
14 社会教育の推進と生涯学習の振興	3.07	3.00	0.98	
15 個性豊かな文化・芸術の創造と発信	3.17	3.11	0.98	
16 スポーツの振興	3.14	3.08	0.98	
17 国際化の推進	3.01	2.93	0.97	▲
18 防災・危機管理体制の確立	2.98	2.92	0.98	
19 治山・治水対策の充実	2.94	2.92	0.99	
20 消防・救急体制の充実	3.13	3.23	1.03	○
21 交通安全対策の推進	2.95	2.95	1.00	
22 防犯体制の強化	3.02	2.99	0.99	
23 工業の振興	2.93	2.98	1.02	
24 農業の振興	2.93	2.90	0.99	
25 林業の振興	2.90	2.86	0.99	
26 水産業の振興	3.02	3.00	0.99	
27 商業・サービス業の振興	2.91	2.91	1.00	
28 流通拠点の充実	2.98	3.00	1.01	
29 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	2.83	2.75	0.97	▲
30 魅力ある観光の振興	3.01	2.95	0.98	
31 計画的な市街地の形成	2.89	2.87	0.99	
32 交通体系の確立	2.71	2.61	0.96	▲
33 地域情報化の推進	2.84	2.92	1.03	○
34 水道の整備	3.28	3.36	1.02	
35 下水道の整備	3.08	3.17	1.03	○
36 安全で快適な住宅の整備	2.90	3.01	1.04	○
37 公園・緑地の保全と活用	3.10	2.99	0.96	▲
38 豊かな自然の保全と緑の創造	3.09	3.07	0.99	
39 廃棄物の適正処理	3.17	3.06	0.97	▲
40 清潔で安全な生活環境の確立	3.01	2.95	0.98	
41 公害の未然防止と環境保全	2.97	2.96	1.00	
42 地球環境問題への取組	2.93	2.90	0.99	
全体	3.00	2.99	1.00	

◇Ⅲ 集計結果

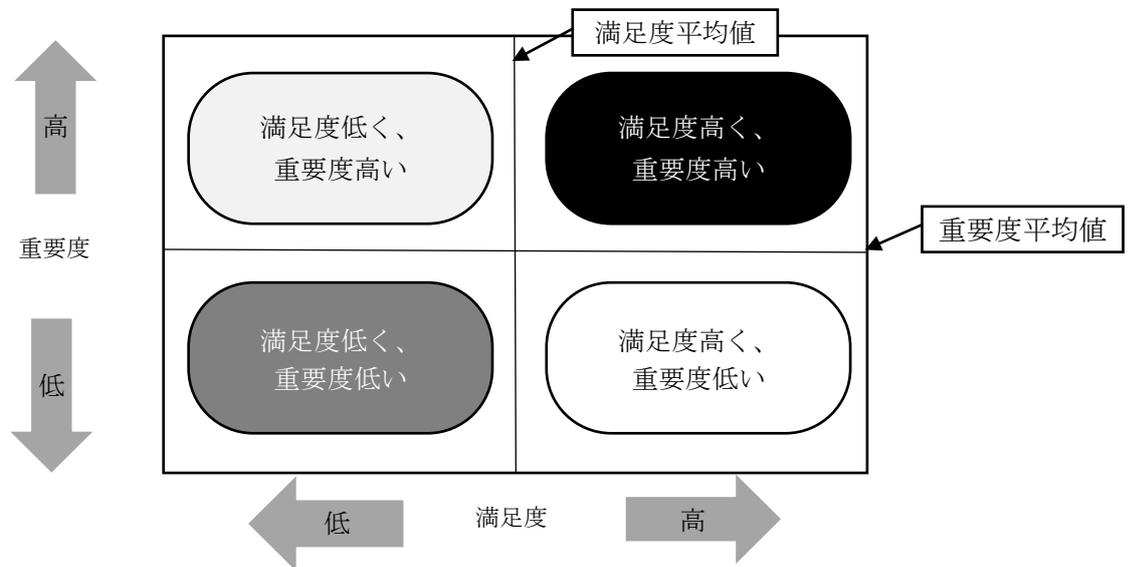
6 施策 42 取組の満足度の平均スコアは、次のグラフのとおりです。



(全体平均 2.99)

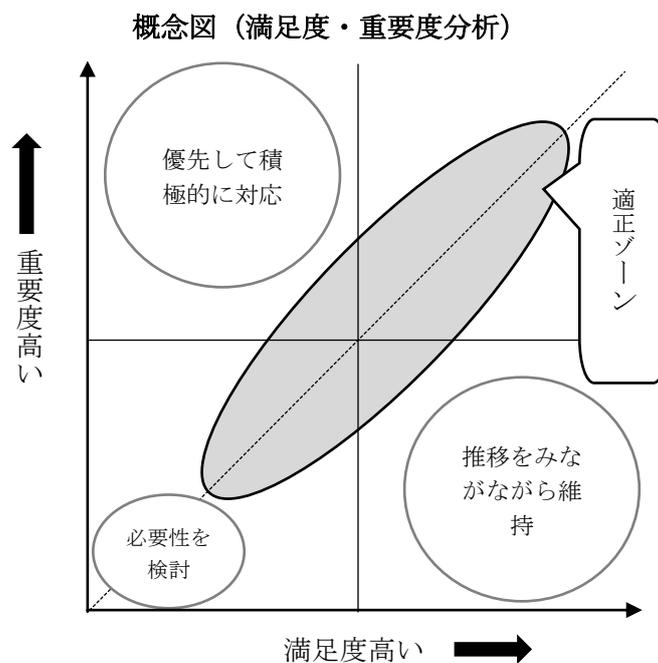
■ 満足度と重要度による分析 ■

満足度と重要度の点数化をもとに、満足度と重要度の相互の位置関係による評価分析（ポートフォリオ分析）を行いました。

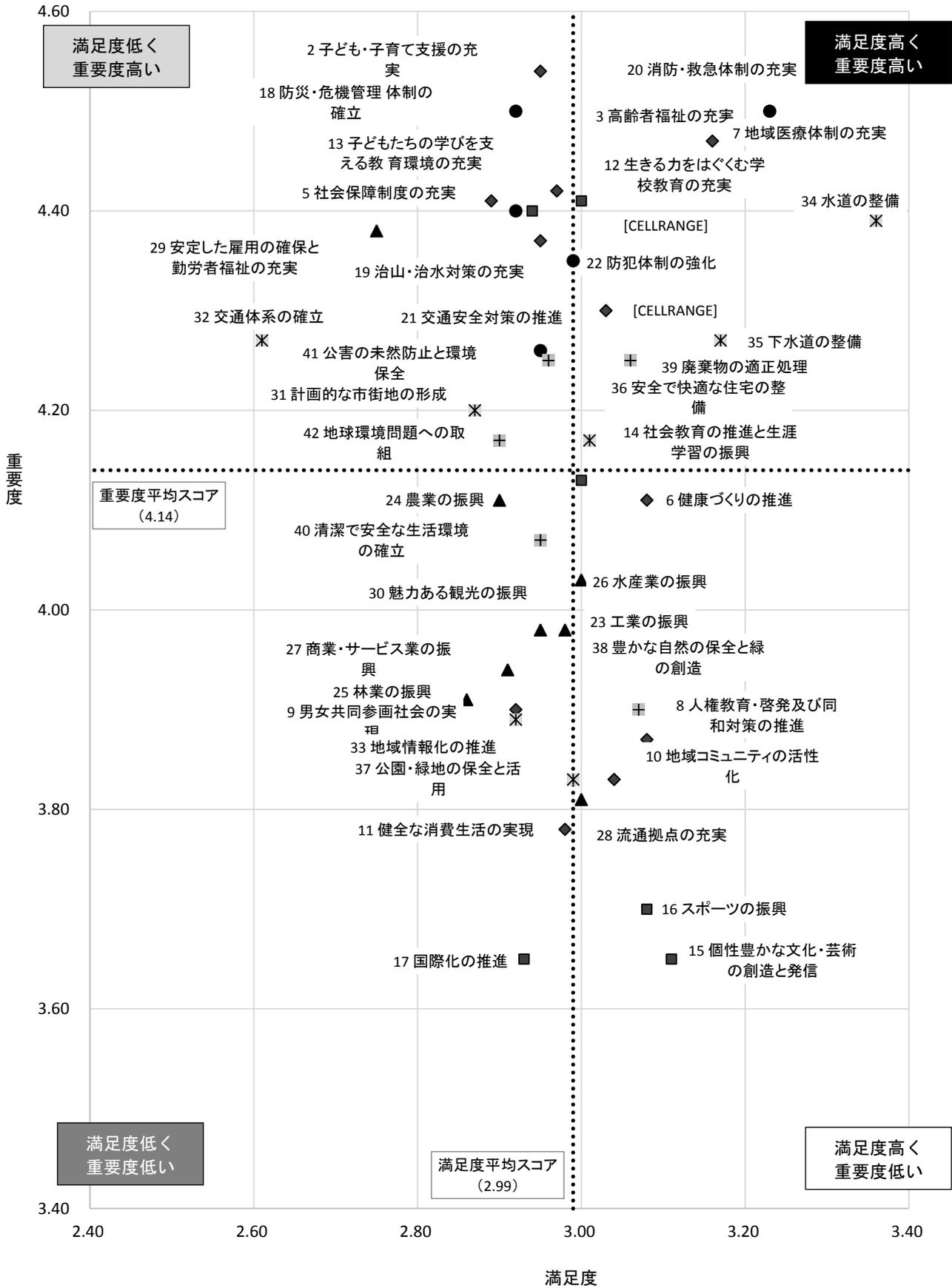


区 分	内 容
満足度低く重要度高い	優先して積極的な対応が求められる取組
満足度高く重要度高い	現状を維持し継続が求められる取組
満足度低く重要度低い	推移をみながら改善、必要性を検討する取組
満足度高く重要度低い	推移をみながら維持する取組

なお、下の概念図は、今回の評価分析における満足度と重要度の位置関係の概ね適正な範囲を示したものです。



重要度・満足度の平均スコアによる相関図



重要度、満足度の平均値で4つに分けた場合は以下の通りになります。

満足度低く重要度高い (優先して積極的な対応が求められる取組)
2 子ども・子育て支援の充実
3 高齢者福祉の充実
4 障がい者（児）福祉の充実
5 社会保障制度の充実
13 子どもたちの学びを支える教育環境の充実
18 防災・危機管理体制の確立
19 治山・治水対策の充実
21 交通安全対策の推進
29 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実
31 計画的な市街地の形成
32 交通体系の確立
41 公害の未然防止と環境保全
42 地球環境問題への取組

満足度高く重要度高い (現状を維持し継続が求められる取組)
1 地域福祉の推進
7 地域医療体制の充実
12 生きる力をはぐくむ学校教育の充実
20 消防・救急体制の充実
22 防犯体制の強化
34 水道の整備
35 下水道の整備
36 安全で快適な住宅の整備
39 廃棄物の適正処理

満足度低く重要度低い (推移をみながら改善、必要性を検討する取組)
9 男女共同参画社会の実現
11 健全な消費生活の実現
17 国際化の推進
23 工業の振興
24 農業の振興
25 林業の振興
27 商業・サービス業の振興
30 魅力ある観光の振興
33 地域情報化の推進
40 清潔で安全な生活環境の確立

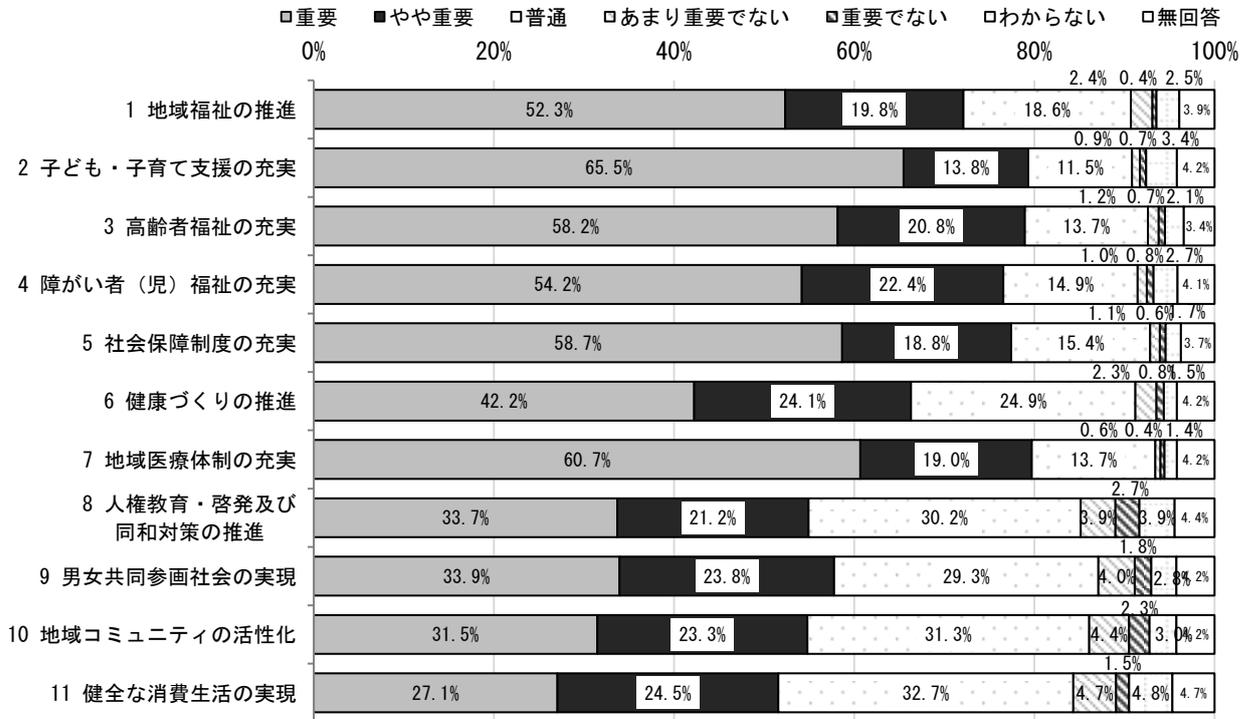
満足度高く重要度低い (推移をみながら維持する取組)
6 健康づくりの推進
8 人権教育・啓発及び同和対策の推進
10 地域コミュニティの活性化
14 社会教育の推進と生涯学習の振興
15 個性豊かな文化・芸術の創造と発信
16 スポーツの振興
26 水産業の振興
28 流通拠点の充実
37 公園・緑地の保全と活用
38 豊かな自然の保全と緑の創造

3. 施策別取組の「重要度」および「満足度」について

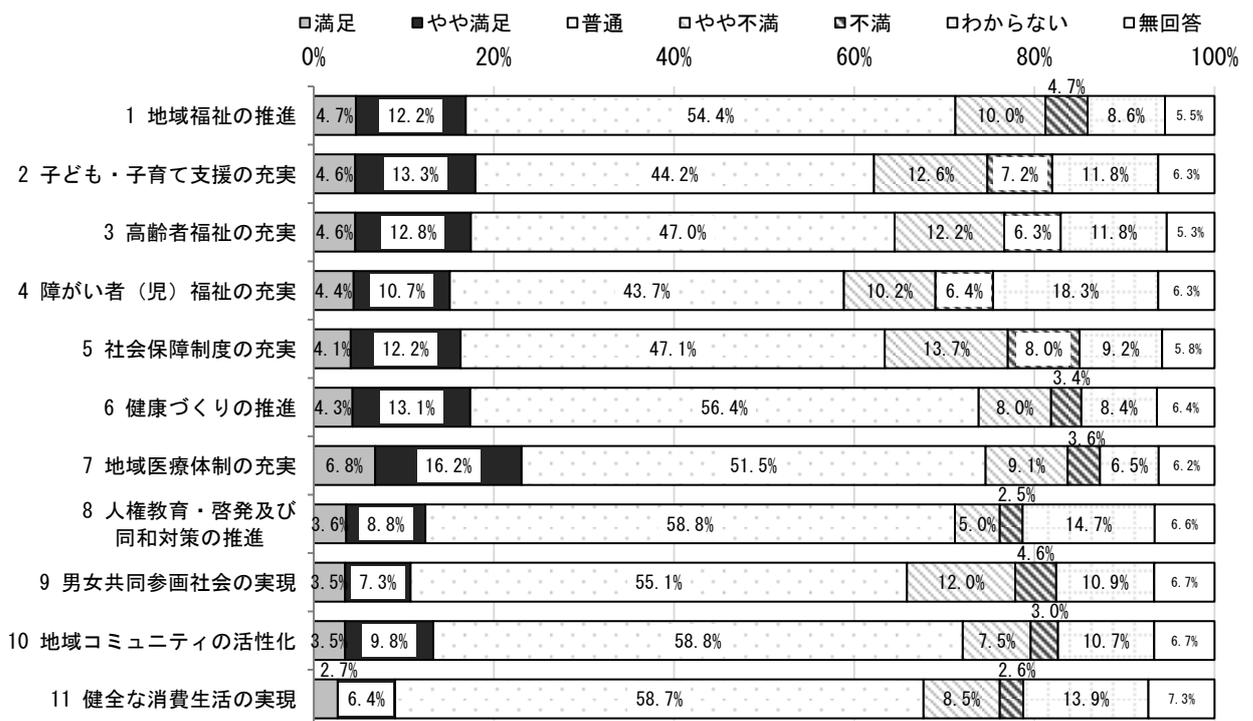
(1) 市民福祉の向上

当政策分野の11の取組の重要度と満足度は、以下のようになっています。

【市民福祉の向上に関する施策の重要度】



【市民福祉の向上に関する施策の満足度】

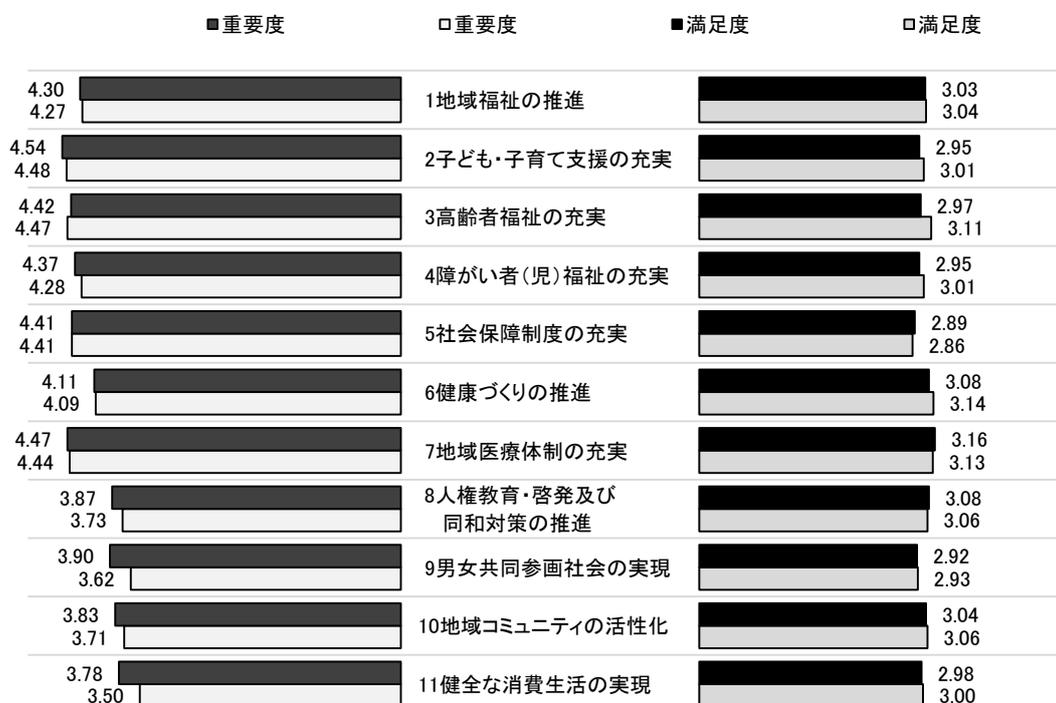


当政策分野の11の取組の重要度と満足度のスコアは、以下のようになっています。

市民福祉の向上に関する取組	重要度スコア	満足度スコア
1 地域福祉の推進	4.30	3.03
2 子ども・子育て支援の充実	4.54	2.95
3 高齢者福祉の充実	4.42	2.97
4 障がい者（児）福祉の充実	4.37	2.95
5 社会保障制度の充実	4.41	2.89
6 健康づくりの推進	4.11	3.08
7 地域医療体制の充実	4.47	3.16
8 人権教育・啓発及び同和対策の推進	3.87	3.08
9 男女共同参画社会の実現	3.90	2.92
10 地域コミュニティの活性化	3.83	3.04
11 健全な消費生活の実現	3.78	2.98

昨年度と重要度と満足度を比較すると、重要度では高齢者福祉の取組は若干低下し、社会保障制度の取組は変わらないもののその他の9取組はより重視している傾向にあります。特に人権や男女共同参画に関する取組や地域コミュニティ、消費生活に関する取組などについて、市民がより重視している傾向にあります。

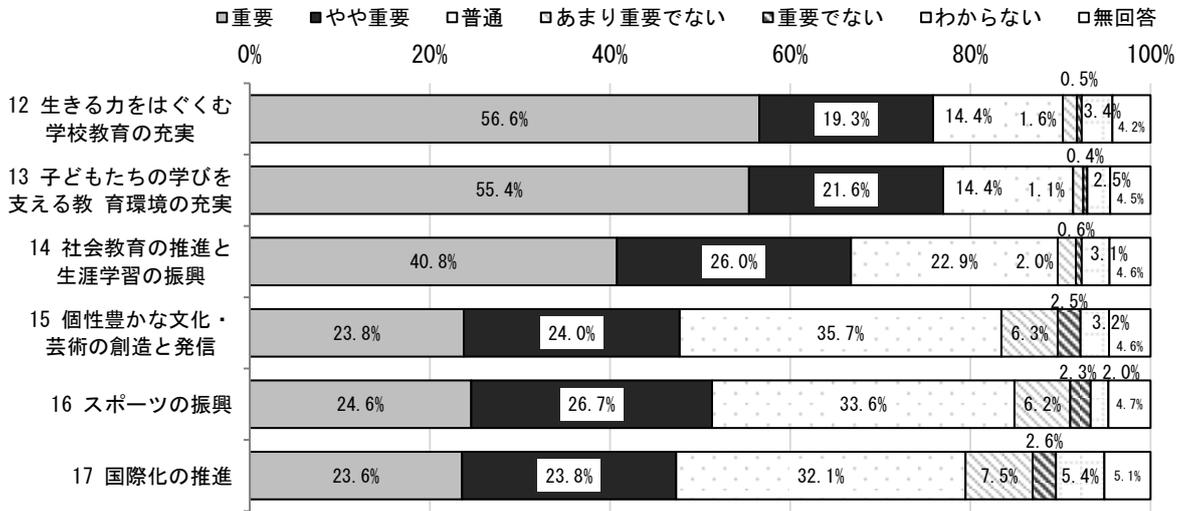
一方、満足度をみると社会保障制度や地域医療体制、人権に関する取組について満足度は若干上昇していますが、その他8取組は低下傾向にあります。特に高齢者福祉に関する取組の満足度の低下が顕著にみられます。



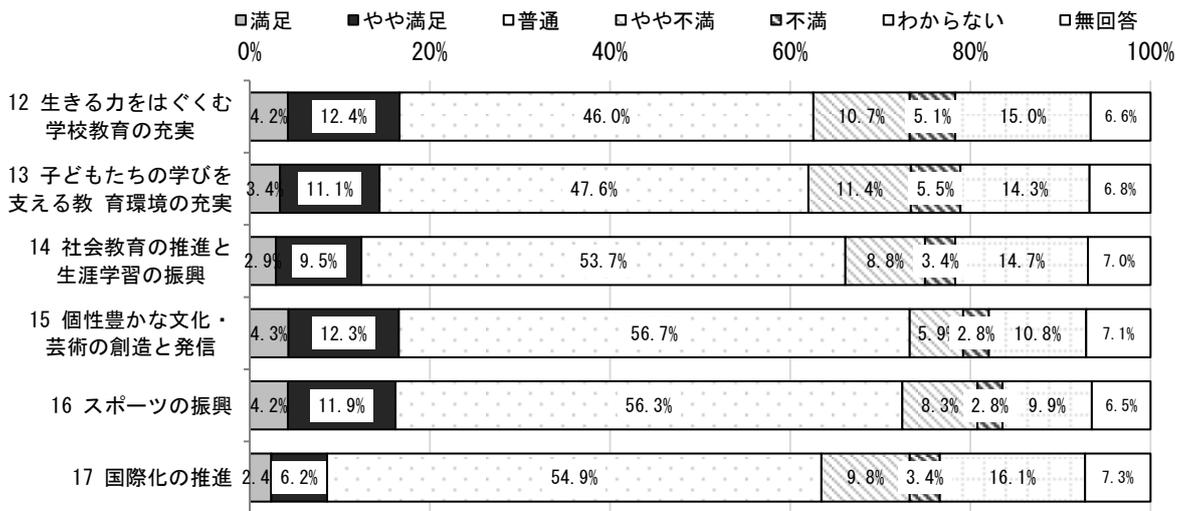
(2) 教育・文化の振興

当政策分野の6の取組の重要度と満足度は、以下のようになっています。

【教育・文化の振興の重要度】



【教育・文化の振興の満足度】



当政策分野の6の取組の重要度と満足度のスコアは、以下のようになっています。

教育・文化の振興に関する取組	重要度スコア	満足度スコア
12 生きる力をはぐくむ学校教育の充実	4.41	3.00
13 子どもたちの学びを支える教育環境の充実	4.40	2.94
14 社会教育の推進と生涯学習の振興	4.13	3.00
15 個性豊かな文化・芸術の創造と発信	3.65	3.11
16 スポーツの振興	3.70	3.08
17 国際化の推進	3.65	2.93

昨年度と重要度と満足度を比較すると、重要度では全ての取組において、市民がより重視している傾向にあります。

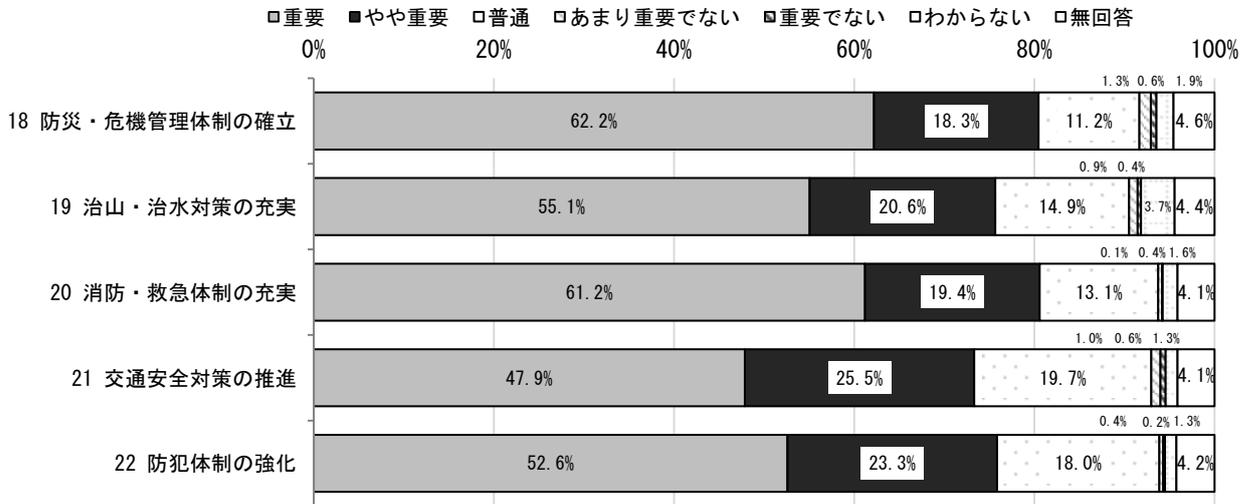
一方、満足度をみると学校教育や教育環境に関する取組では若干上昇していますが、その他4取組は低下しており、特に国際化に関する取組の満足度が低下しております。



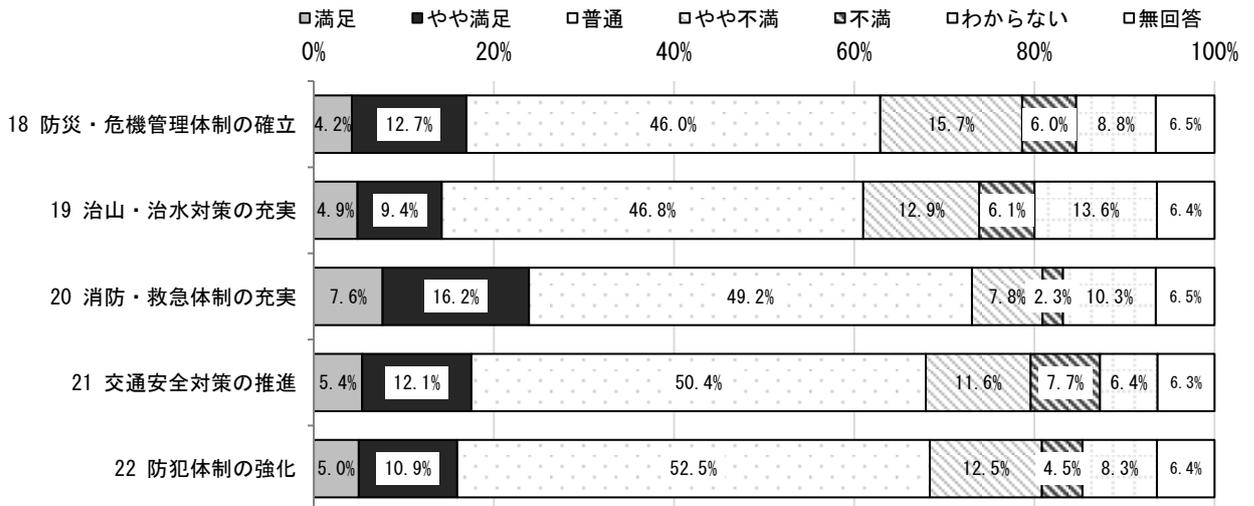
(3) 防災安全の確保

当政策分野の5の取組の重要度と満足度は、以下のようになっています。

【防災安全の確保の重要度】



【防災安全の確保の満足度】

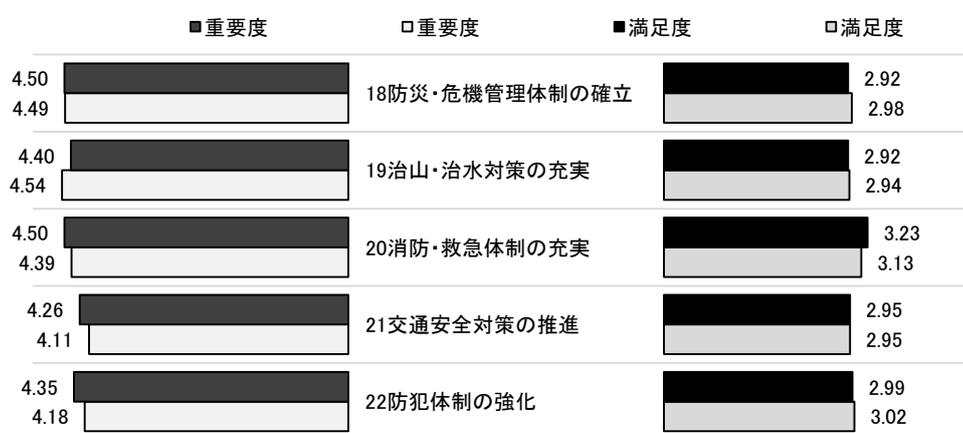


当政策分野の5の取組の重要度と満足度のスコアは、以下のようになっています。

防災安全の確保に関する取組	重要度スコア	満足度スコア
18 防災・危機管理体制の確立	4.50	2.92
19 治山・治水対策の充実	4.40	2.92
20 消防・救急体制の充実	4.50	3.23
21 交通安全対策の推進	4.26	2.95
22 防犯体制の強化	4.35	2.99

昨年度と重要度と満足度を比較すると、重要度では治山・治水対策の取組において若干低下しているもののその他の4取組は市民がより重視している傾向にあります。

一方、満足度をみると消防・救急体制の取組は若干上昇していますが、防災・危機管理体制関連と防犯体制に関する取組は満足度が低下傾向にあります。

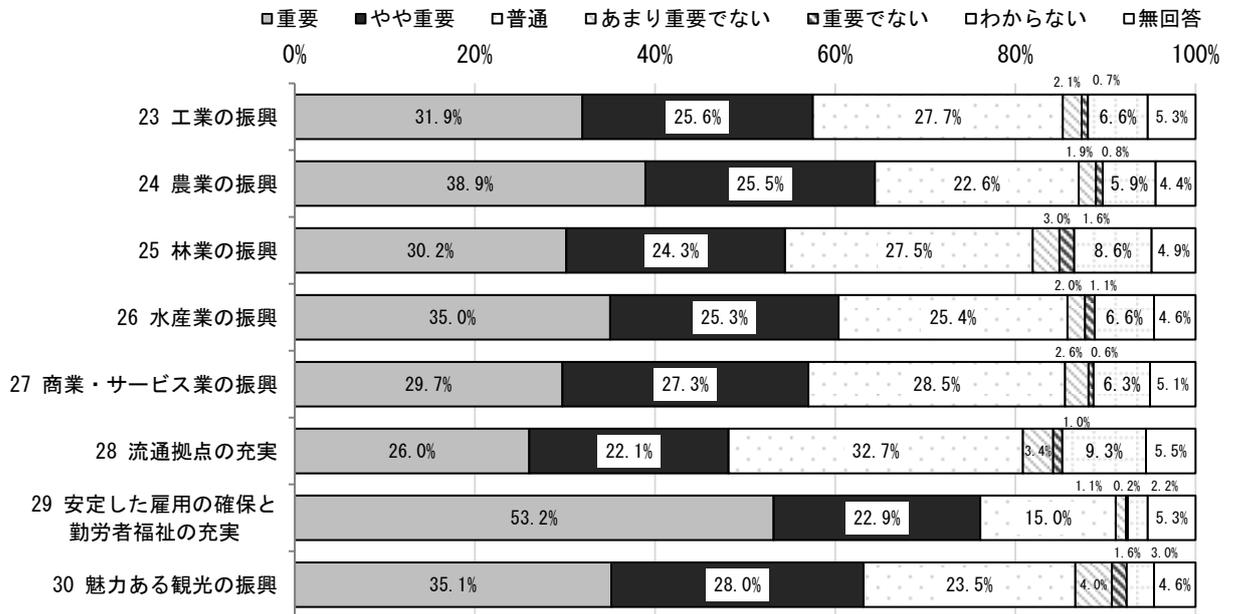


◇Ⅲ 集計結果

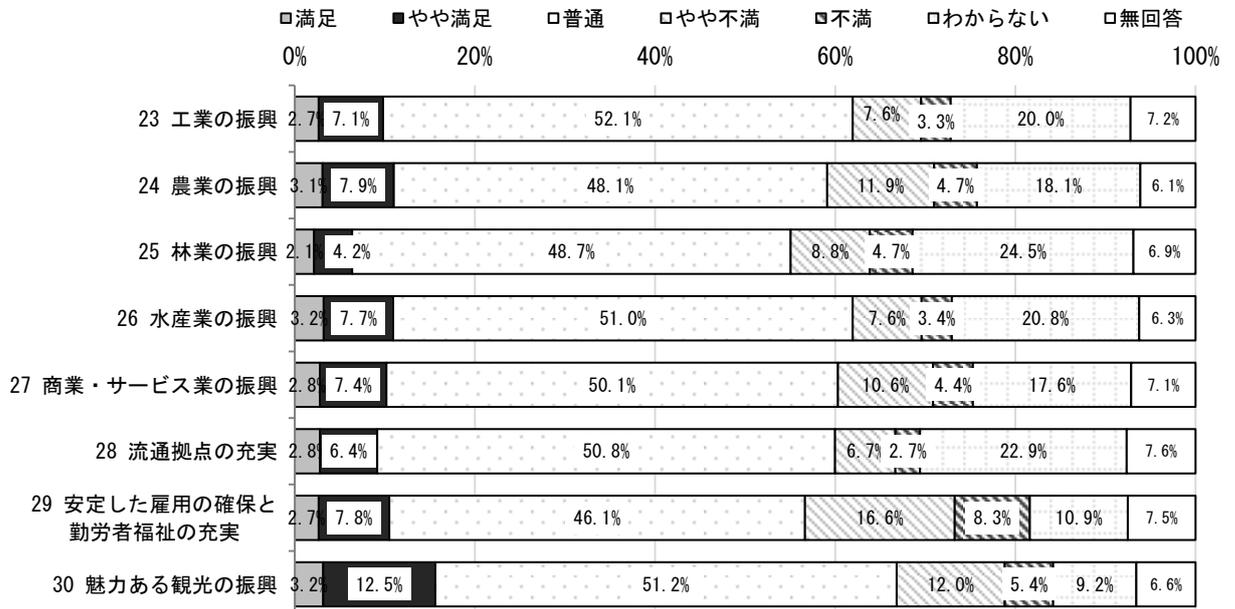
(4) 産業の振興

当政策分野の8の取組の重要度と満足度は、以下のようになっています。

【産業の振興の重要度】



【産業の振興の満足度】

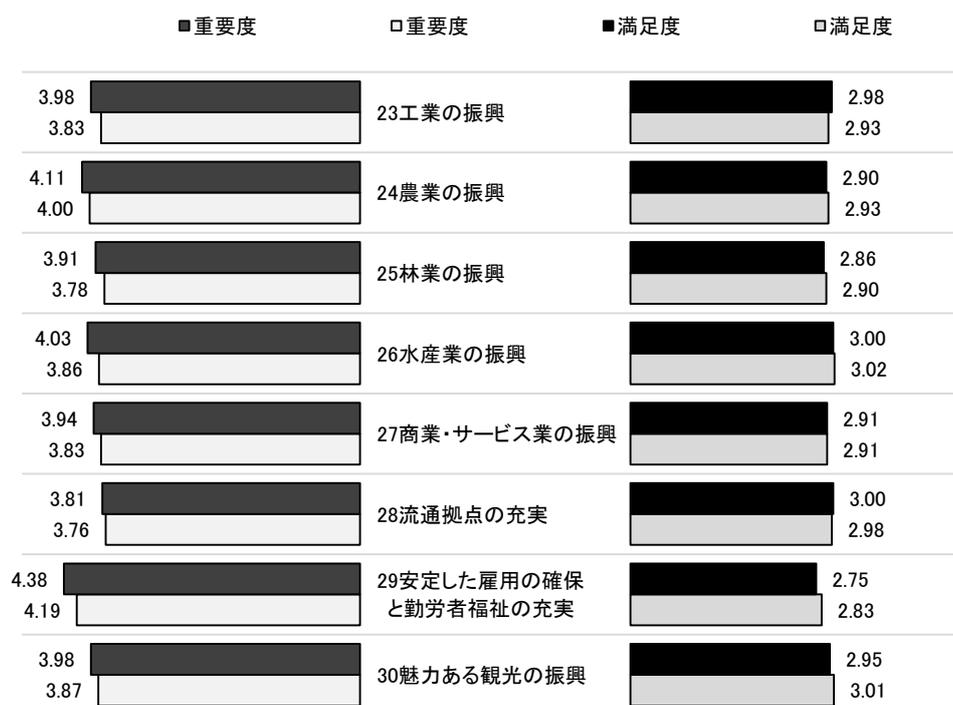


当政策分野の5の取組の重要度と満足度のスコアは、以下のようになっています。

産業の振興に関する取組	重要度スコア	満足度スコア
23 工業の振興	3.98	2.98
24 農業の振興	4.11	2.90
25 林業の振興	3.91	2.86
26 水産業の振興	4.03	3.00
27 商業・サービス業の振興	3.94	2.91
28 流通拠点の充実	3.81	3.00
29 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	4.38	2.75
30 魅力ある観光の振興	3.98	2.95

昨年度と重要度と満足度を比較すると、重要度では全ての取組においてより重視している傾向にあります。

一方、満足度をみると工業や商業、サービス業、流通拠点の取組は同程度か若干上昇傾向にありますが、農業、林業、水産業、観光の取組の満足度は若干低下しており、雇用の取組は際立って満足度が低下しています。

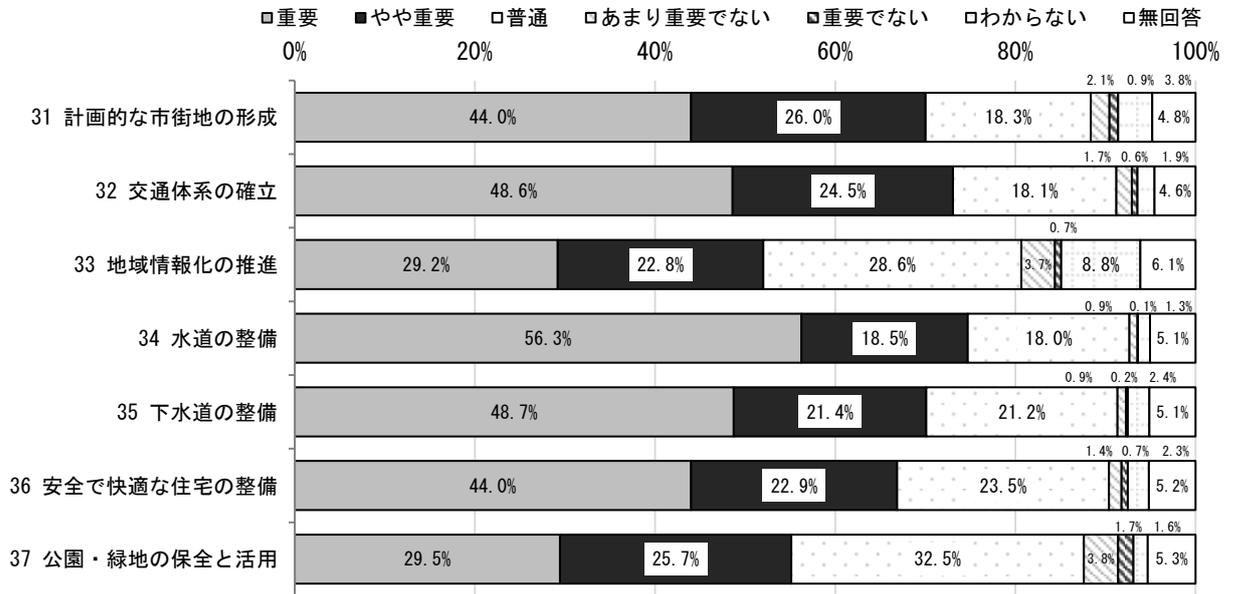


◇Ⅲ 集計結果

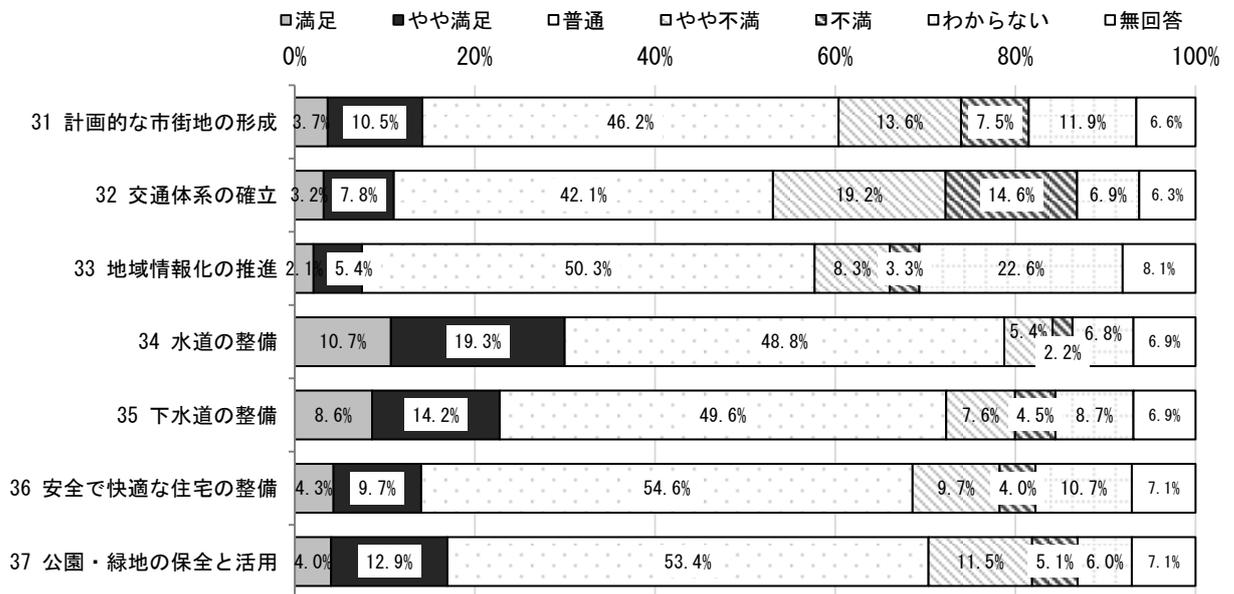
(5) 都市基盤の形成

当政策分野の7の取組の重要度と満足度は、以下のようになっています。

【都市基盤の形成の重要度】



【都市基盤の形成の満足度】

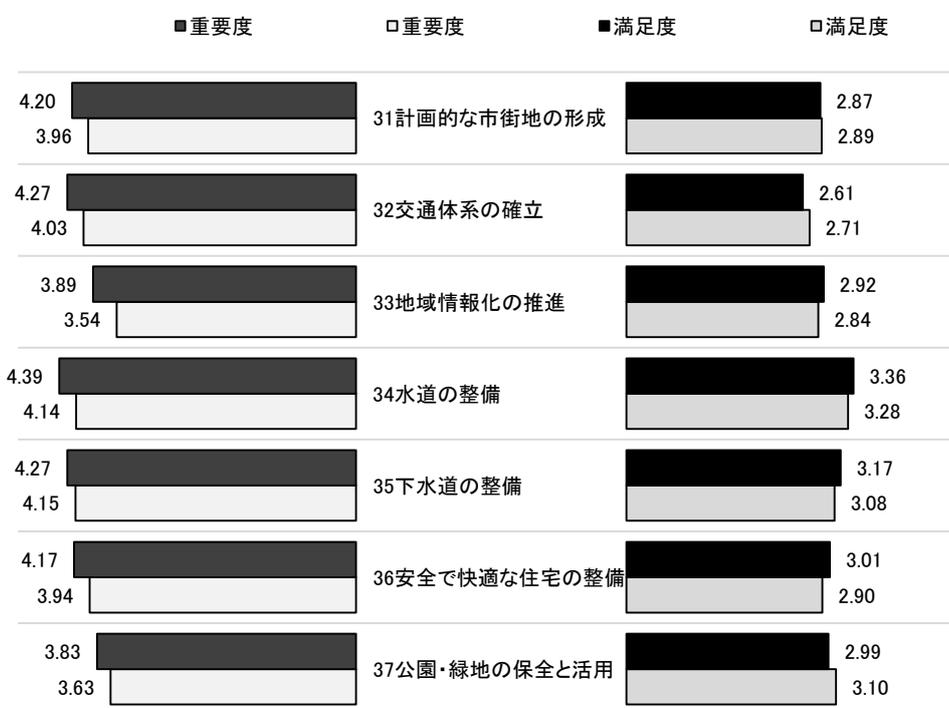


当政策分野の5の取組の重要度と満足度のスコアは、以下のようになっています。

都市基盤の形成に関する取組	重要度スコア	満足度スコア
31 計画的な市街地の形成	4.20	2.87
32 交通体系の確立	4.27	2.61
33 地域情報化の推進	3.89	2.92
34 水道の整備	4.39	3.36
35 下水道の整備	4.27	3.17
36 安全で快適な住宅の整備	4.17	3.01
37 公園・緑地の保全と活用	3.83	2.99

昨年度と重要度と満足度を比較すると、重要度では全ての取組においてより重視している傾向にあります。

一方、満足度をみると地域情報化や水道、下水道、住宅の取組は上昇していますが、市街地や交通体系、公園・緑地の取組は低下しています。

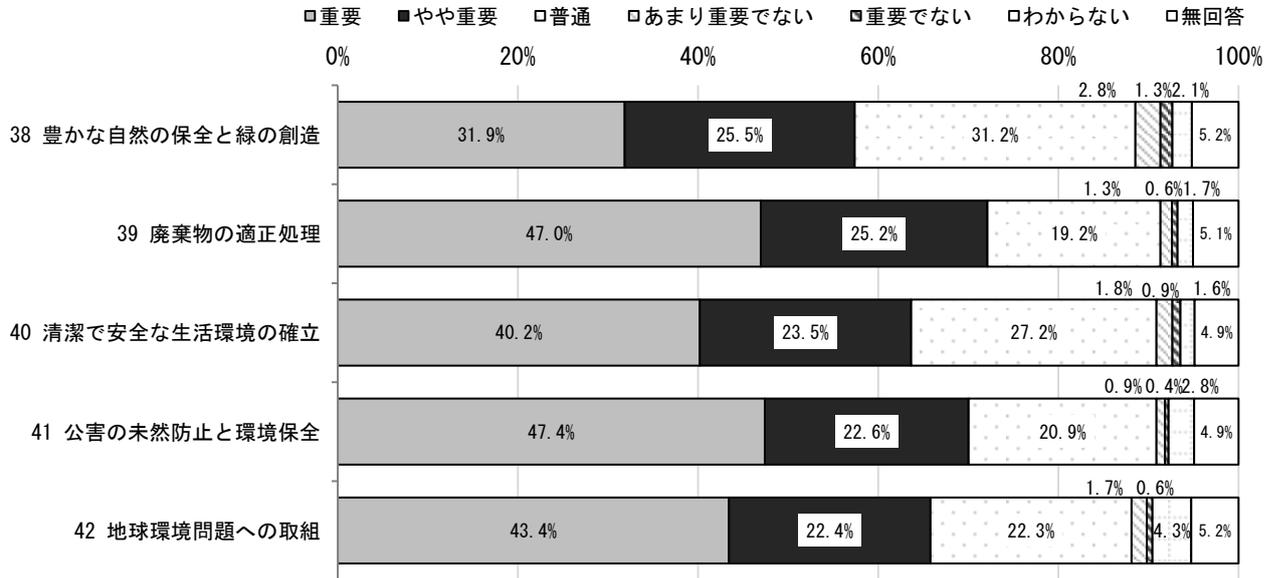


◇Ⅲ 集計結果

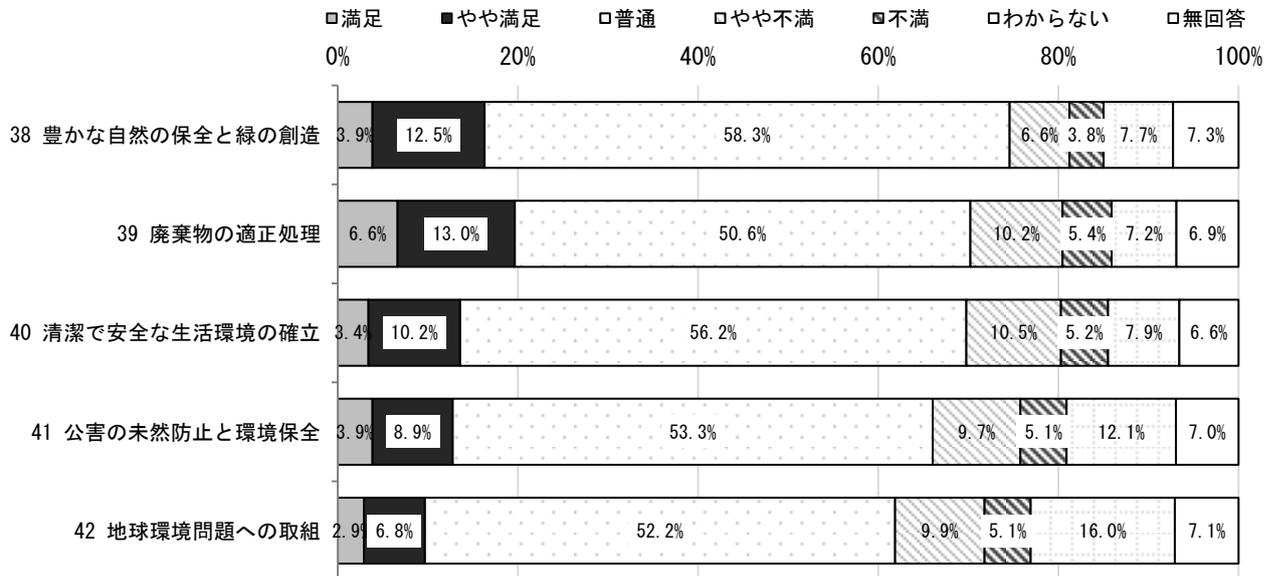
(6) 環境の保全

当政策分野の5の取組の重要度と満足度は、以下のようになっています。

【環境の保全の重要度】



【環境の保全の満足度】

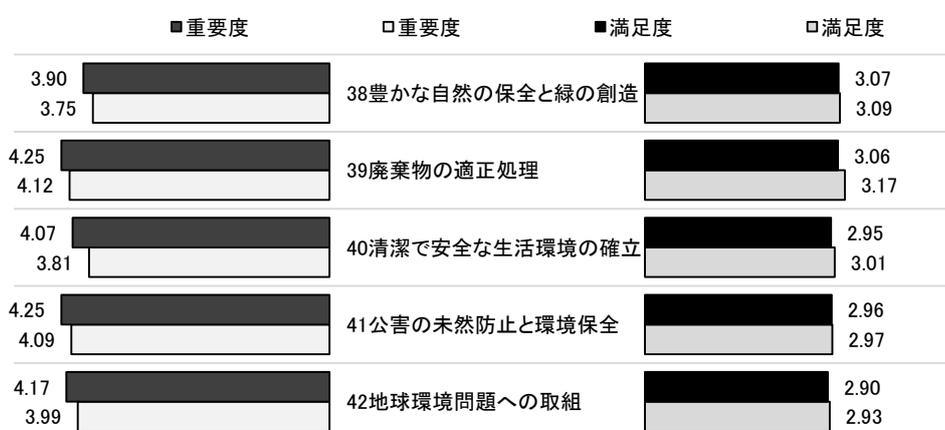


当政策分野の5の取組の重要度と満足度のスコアは、以下のようになっています。

環境の保全に関する取組	重要度スコア	満足度スコア
38 豊かな自然の保全と緑の創造	3.90	3.07
39 廃棄物の適正処理	4.25	3.06
40 清潔で安全な生活環境の確立	4.07	2.95
41 公害の未然防止と環境保全	4.25	2.96
42 地球環境問題への取組	4.17	2.90

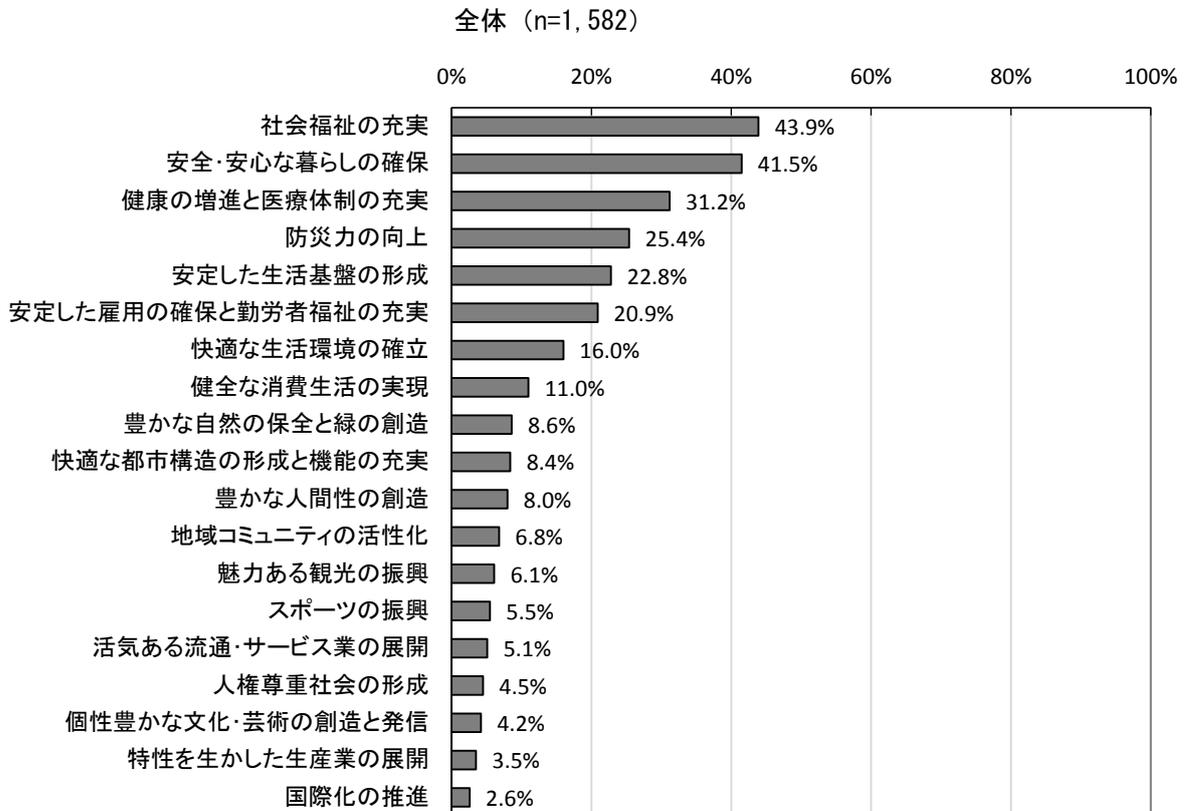
昨年度と重要度と満足度を比較すると、重要度では全ての取組においてより重視している傾向にあります。

一方満足度をみると全ての取組において低下しており、特に廃棄物の適正処理の取組の満足度が際立って低下しています。



4. 特に力を入れて取り組んで欲しい政策について

問5 次の項目は、大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」に掲げる19の具体的な政策です。このうち、あなたが特に力を入れて取り組んでもらいたい項目は何ですか。(3つまで選んでください)



特に力を入れて取り組んで欲しい政策は、「社会福祉の充実」(43.9%)、「安全・安心な暮らしの確保」(41.5%)であり、40%を超えています。次いで、「健康の増進と医療体制の充実」(31.2%)、「防災力の向上」(25.4%)、「安定した生活基盤の形成」(22.8%)、「安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」(20.9%)となっています。

【属性別特徴】

- 性別でみると男女ともに「社会福祉の充実」が最も高くなっています。
- 年齢別で、「18・19歳」は「防災力の向上」、「40歳代」は「安全・安心な暮らしの確保」、その他の年齢は「社会福祉の充実」の割合が最も高くなっています。
- 職業別でみると「農林漁業」は「健康の増進と医療体制の充実」、「自営業(商工・サービス)と「専業主婦(主夫)」は「安全・安心な暮らしの確保」、「公務員」と「学生」は「防災力の向上」、その他の職業は「社会福祉の充実」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると居住年数が「1年未満」は「安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実」、「20年以上」は「社会福祉の充実」の割合が最も高くなっています。また、「5年以上10年未満」は「社会福祉の充実」と「安全・安心な暮らしの確保」となっています。
- 居住地区別でみると「南大分」は「社会福祉の充実」と「安全・安心な暮らしの確保」が同率で最も高くなっています。「大分西部」「大分東部」「大在地区」は「安全・安心な暮らしの確保」、「坂ノ市地区」は「健康の増進と医療体制の充実」、その他の居住地区は「社会福祉の充実」が最も高くなっています。

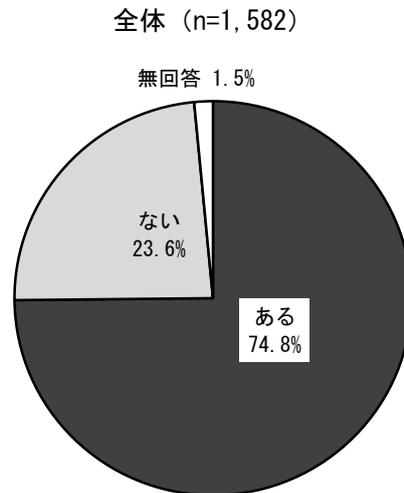
(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	社会福祉の充実	健康の増進と医療体制の充実	人権尊重社会の形成	地域コミュニティの活性化	健全な消費生活の実現	豊かな人間性の創造	個性豊かな文化・芸術の創造と発信	スポーツの振興	国際化の推進	防災力の向上	安全 安心な暮らしの確保	特性を生かした生産業の展開	活気ある流通・サービス業の展開	安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実	魅力ある観光の振興	快適な都市構造の形成と機能の充実	安定した生活基盤の形成	豊かな自然の保全と緑の創造	快適な生活環境の確立
全体	1582	44	31	5	7	11	8	4	6	3	25	42	4	5	21	6	8	23	9	16
性別																				
男	714	42	30	5	9	10	9	4	8	3	28	40	5	5	18	8	10	22	8	16
女	840	46	32	4	5	12	7	4	3	3	24	43	2	5	24	5	7	23	9	16
年齢別																				
18・19歳	21	10	24	10	5	14	14	10	14	10	43	29	10	24	14	5	19	10	5	10
20歳代	103	34	22	8	7	10	8	8	8	3	18	28	6	10	28	15	14	19	7	19
30歳代	187	42	25	3	6	11	12	7	5	2	32	37	1	7	34	6	12	20	7	14
40歳代	252	30	26	4	4	8	10	4	7	4	28	43	6	10	23	8	10	24	7	17
50歳代	220	47	27	6	3	10	8	6	5	4	29	42	4	4	23	8	9	23	6	16
60歳代	344	49	35	3	7	10	4	3	6	2	29	42	2	4	22	4	9	20	9	16
70歳以上	431	51	39	5	11	14	8	2	3	1	18	46	3	1	11	4	4	26	11	16
職業別																				
農林漁業	13	15	62	0	31	8	8	8	0	0	15	38	15	0	0	8	0	31	23	23
自営業	84	25	21	6	6	10	14	6	14	8	26	40	7	5	19	5	6	29	8	18
専門職	73	40	33	3	5	5	12	10	8	4	29	38	3	5	19	11	18	21	10	3
会社員	385	40	24	4	7	11	6	4	9	2	28	37	4	7	29	8	10	23	8	18
公務員	66	33	39	6	6	8	17	9	5	2	44	36	3	11	18	6	14	12	6	18
パート	184	45	26	4	2	9	10	2	2	3	23	36	4	5	33	5	10	28	7	17
専業主婦	269	48	35	3	6	14	7	3	3	2	24	49	1	4	19	5	6	20	10	17
学生	40	28	28	10	5	10	10	13	10	10	33	28	13	15	15	13	20	10	0	13
無職	404	53	39	6	8	13	5	3	3	1	21	47	2	2	12	4	5	25	9	16
その他	31	52	29	3	13	3	6	6	0	3	32	45	3	3	29	6	13	16	6	6
居住年数別																				
1年未満	26	12	27	0	0	12	19	12	8	4	15	23	4	12	38	19	27	8	4	23
1～5年	80	38	24	4	6	10	13	10	5	6	28	46	3	4	14	11	9	16	10	16
5～10年	83	36	31	1	8	8	12	11	5	5	20	36	2	8	29	12	16	14	6	20
10～20年	157	34	29	5	4	7	8	5	6	3	34	41	8	9	25	4	16	20	5	15
20～30年	219	40	30	6	6	9	9	4	9	1	25	37	3	8	22	7	10	27	5	17
30年以上	995	48	33	5	7	13	7	3	5	2	25	43	3	3	19	5	6	24	10	15
居住地区別																				
大分中央	112	49	28	3	6	9	13	8	6	3	24	37	1	4	20	9	9	19	6	21
大分西部	155	37	33	3	7	14	9	8	6	3	27	42	2	6	20	6	12	25	8	19
大分南部	79	47	34	5	6	15	3	4	5	1	28	39	3	6	23	6	9	11	8	23
南大分	160	48	34	6	4	13	4	5	6	3	19	48	2	4	23	7	8	22	10	15
大分東部	134	39	28	7	4	13	10	3	3	1	29	41	3	7	22	9	9	23	6	20
明野地区	100	44	29	7	3	10	11	4	9	5	29	42	6	7	22	10	12	19	6	17
鶴崎地区	236	40	29	3	7	9	8	1	5	1	31	39	4	5	24	5	9	21	8	14
大南地区	107	50	23	7	10	3	9	5	4	2	30	44	9	2	17	6	5	23	13	18
植田地区	284	46	33	4	9	14	7	5	6	3	20	42	4	3	19	4	7	29	11	12
大在地区	78	42	31	5	3	4	6	3	8	5	32	44	1	8	21	6	8	26	5	23
坂ノ市地区	56	38	46	7	5	14	7	2	5	2	25	43	0	4	29	5	5	20	7	5
佐賀関地区	35	51	43	0	14	17	3	0	3	3	26	40	0	6	11	0	3	26	9	3
野津原地区	15	47	20	13	20	7	13	13	13	7	13	20	13	7	7	7	13	13	7	13

5. 大分市が行っている業務や個別の事業について

(1) 市職員の接遇について

ア あなたは、過去1年くらいの間で市役所（支所等を含む）に来庁または電話による問い合わせをしたことがありますか。

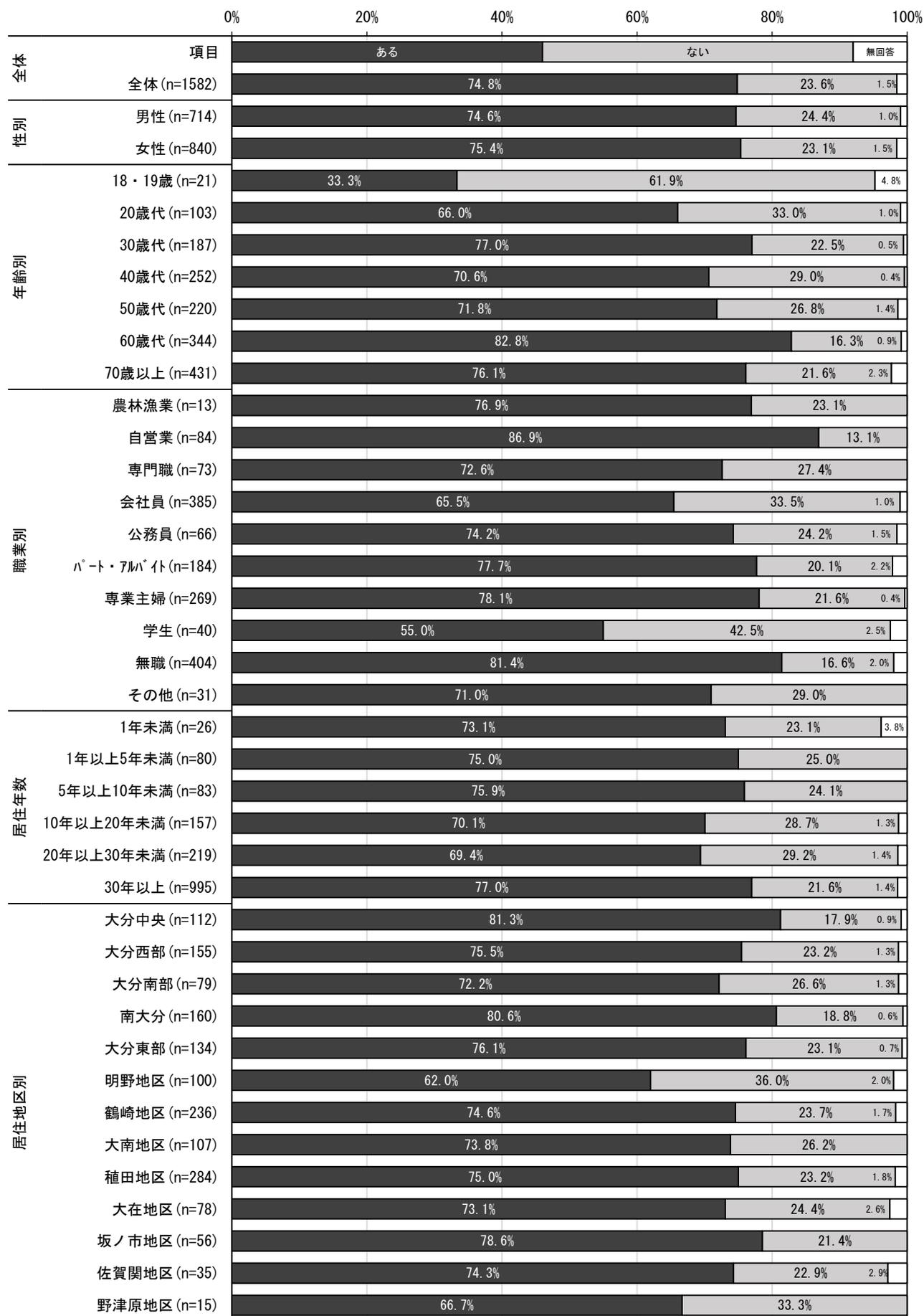


過去1年くらいの間で市役所（支所等を含む）に来庁または電話による問い合わせをしたことがあるかは、「ある」が74.8%、「ない」が23.6%で、およそ4分の3の方が何らかの問い合わせをしたことがうかがえます。

【属性別特徴】

- 性別でみると「ある」、「ない」の割合は同じ程度で傾向の違いはみられません。
- 年齢別でみると「18・19歳」を除く全ての年齢において「ある」の割合が「ない」の割合より高く、特に「60歳代」では、82.8%と極めて高くなっています。
- 職業別でみると全ての職業において「ある」と回答した割合が高く、「自営業」が86.9%、「無職」が81.4%と80%を超えています。
- 居住年数別でみると全ての居住年数において「ある」と回答した割合が高く、「30年以上」が77.0%と最も高くなっています。
- 居住地区別でみると全ての居住地区において「ある」と回答した割合が高く、「ある」の回答で比べてみると、「大分中央」が81.3%と最も高く、一方、「明野地区」が62.0%と最も低くなっています。

(属性別)



◇Ⅲ 集計結果

全体

性別

年齢別

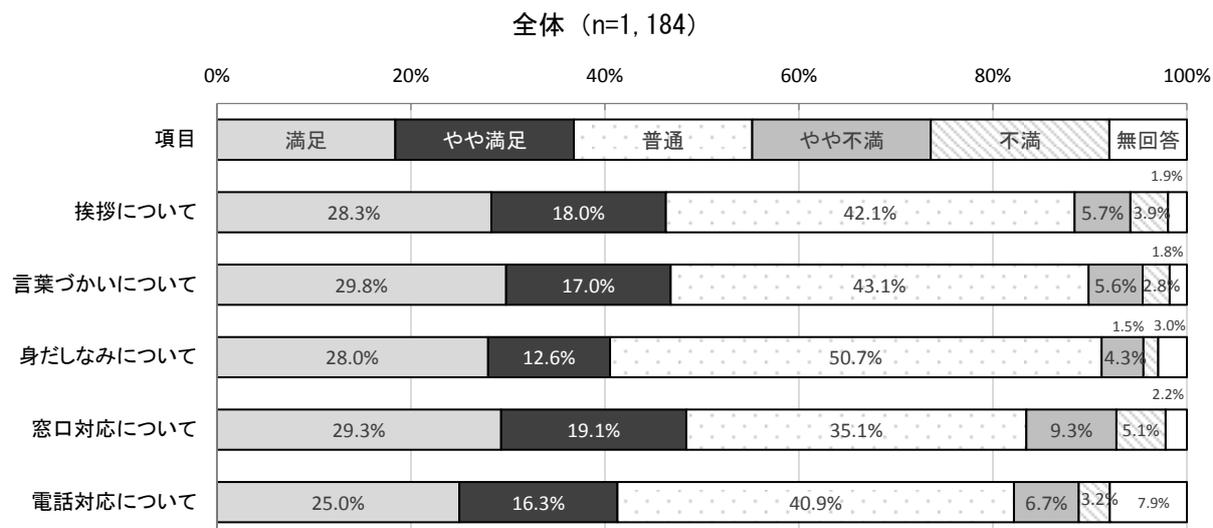
職業別

居住年数別

居住地区別

＜アであると回答した方＞

ア-① あなたは、市役所（支所等を含む）の職員の対応等について、どのように感じましたか。（該当する項目について、1つずつ選んでください）



職員の対応等について、今回の調査で「満足」と「やや満足」を加えた割合でみると、職員の対応の中で「窓口対応について」が最も高くなっています。

【属性別特徴】

1. 挨拶について

- 性別でみると「男性」は「女性」に比べて満足と感じている傾向にあります。
- 年齢別でみると「70歳以上」が満足と感じている割合が高く、一方「30歳代」が低い傾向にあります。
- 職業別でみると「農林漁業」は満足と感じている割合が非常に高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると「1年以上5年未満」は満足と感じている割合が低い傾向にあります。
- 居住地区別でみると「大分中央」は満足と感じている割合が最も高く、反対に「明野地区」や「鶴崎地区」で満足と感じている割合が低い傾向にあります。さらに不満を感じている割合は「野津原地区」が最も高くなっています。

2. 言葉づかいについて

- 性別でみると「男性」は「女性」に比べて満足と感じている傾向にあります。
- 年齢別でみると「20歳代」と「70歳以上」は満足と感じている傾向があります。
- 職業別でみると「農林漁業」と「学生」は満足と感じている割合が高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると「1年未満」は不満の割合が非常に低い傾向があります。
- 居住地区別でみると「大分中央」「大分西部」「南大分」「佐賀関地区」は満足と感じている割合が高く、反対に「野津原地区」は、低い傾向にあります。

3. 身だしなみについて

- 性別でみると感じている割合は、ほぼ同じ傾向にあります。
- 年齢別でみると若年層と「70歳以上」が満足と感じている割合が高い傾向があります。
- 職業別でみると「学生」は満足と感じている割合が非常に高くなっています。
- 居住年数別でみると「1年未満」は不満を感じている割合が低い傾向があります。

◇Ⅲ 集計結果

- 居住地区別でみると「佐賀関地区」は満足と感じている割合が最も高く、「明野地区」や「坂ノ市地区」は低い傾向にあります。

4. 窓口対応について

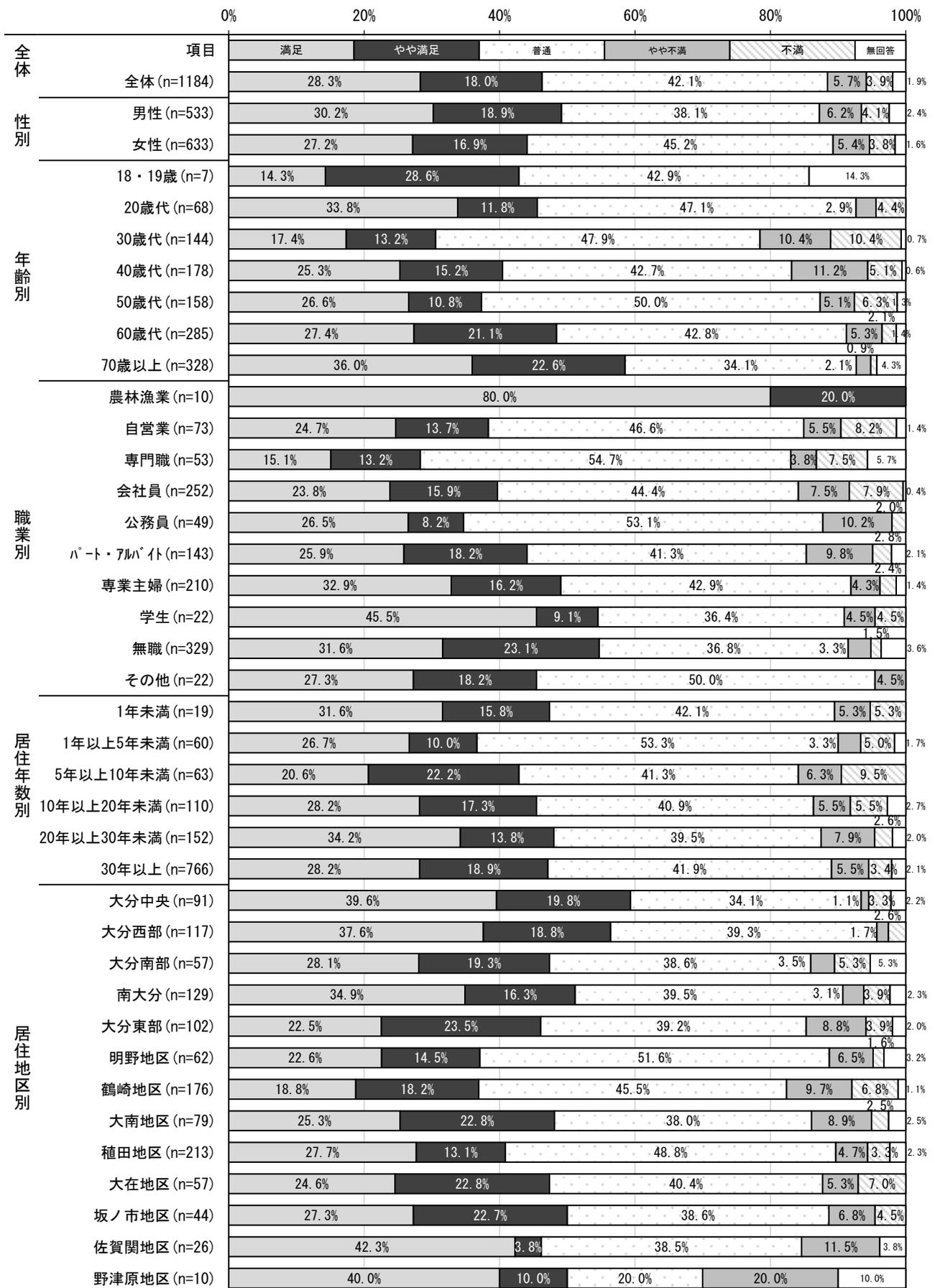
- 性別でみると、「男性」は「女性」に比べて満足と感じている傾向にあります。
- 年齢別でみると「20歳代」「60歳以上」は満足と感じている割合が高い傾向にあります。
- 職業別でみると「農林漁業」は特に満足と感じている割合が高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると「1年未満」は不満を感じている割合が低い傾向にあります。
- 居住地区別でみると「大分中央」は満足と感じている割合が最も高く、反対に「明野地区」は低い傾向にあります。

5. 電話対応について

- 性別でみると「男性」は「女性」に比べて満足と感じている傾向があります。
- 年齢別でみると「18・19歳」と「70歳以上」は満足と感じている割合が高い傾向にあります。
- 職業別でみると「農林漁業」は特に満足と感じている割合が高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると「1年未満」は満足と感じている割合が最も低く、不満を感じている割合が高い傾向にあります。
- 居住地区別でみると「南大分」は満足と感じている割合が最も高く、反対に「野津原地区」は最も低くなっています。また、「佐賀関地区」や「野津原地区」は、不満を感じている割合が高くなっています。

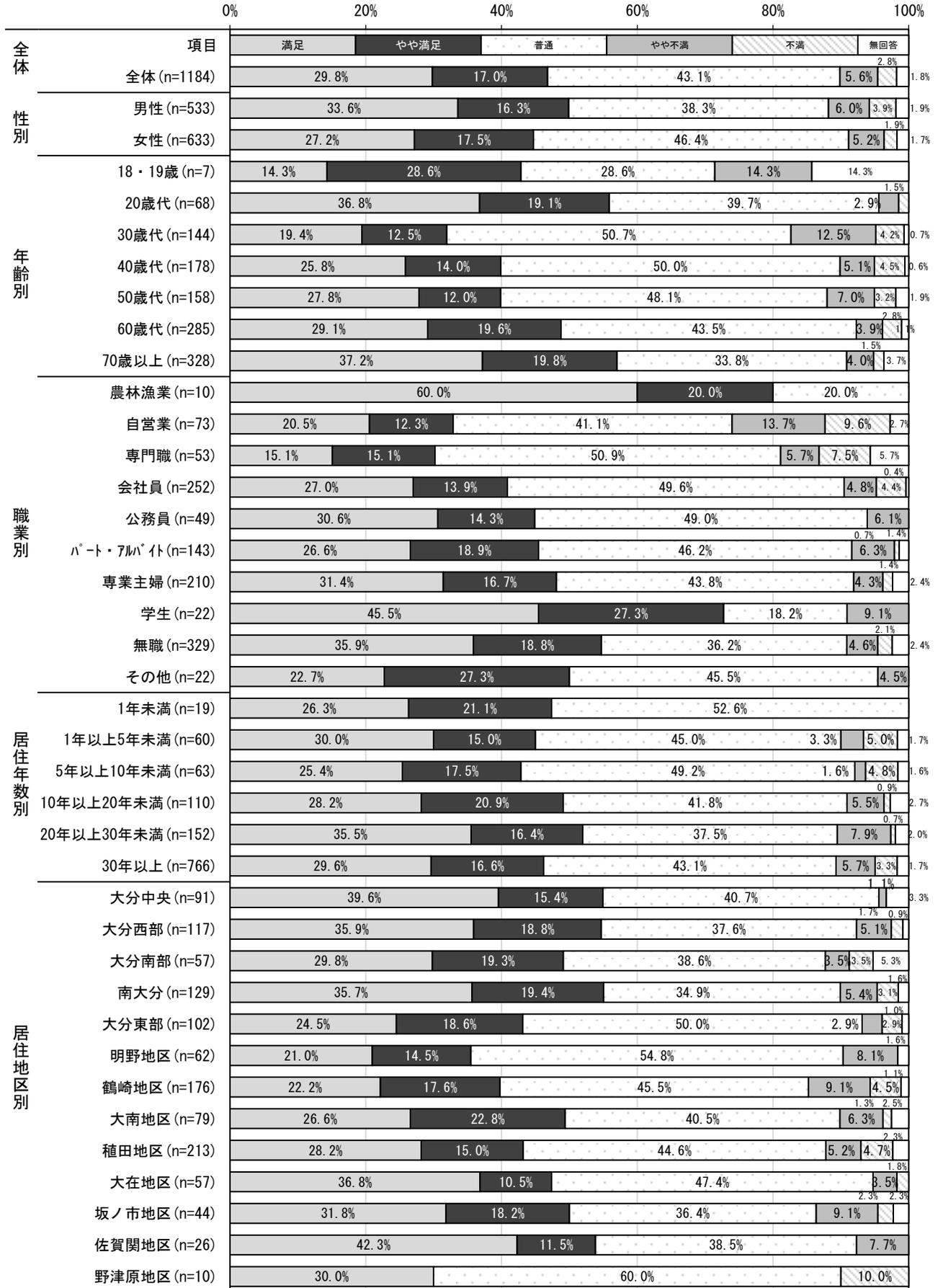
(項目別の属性別)

1. 挨拶について

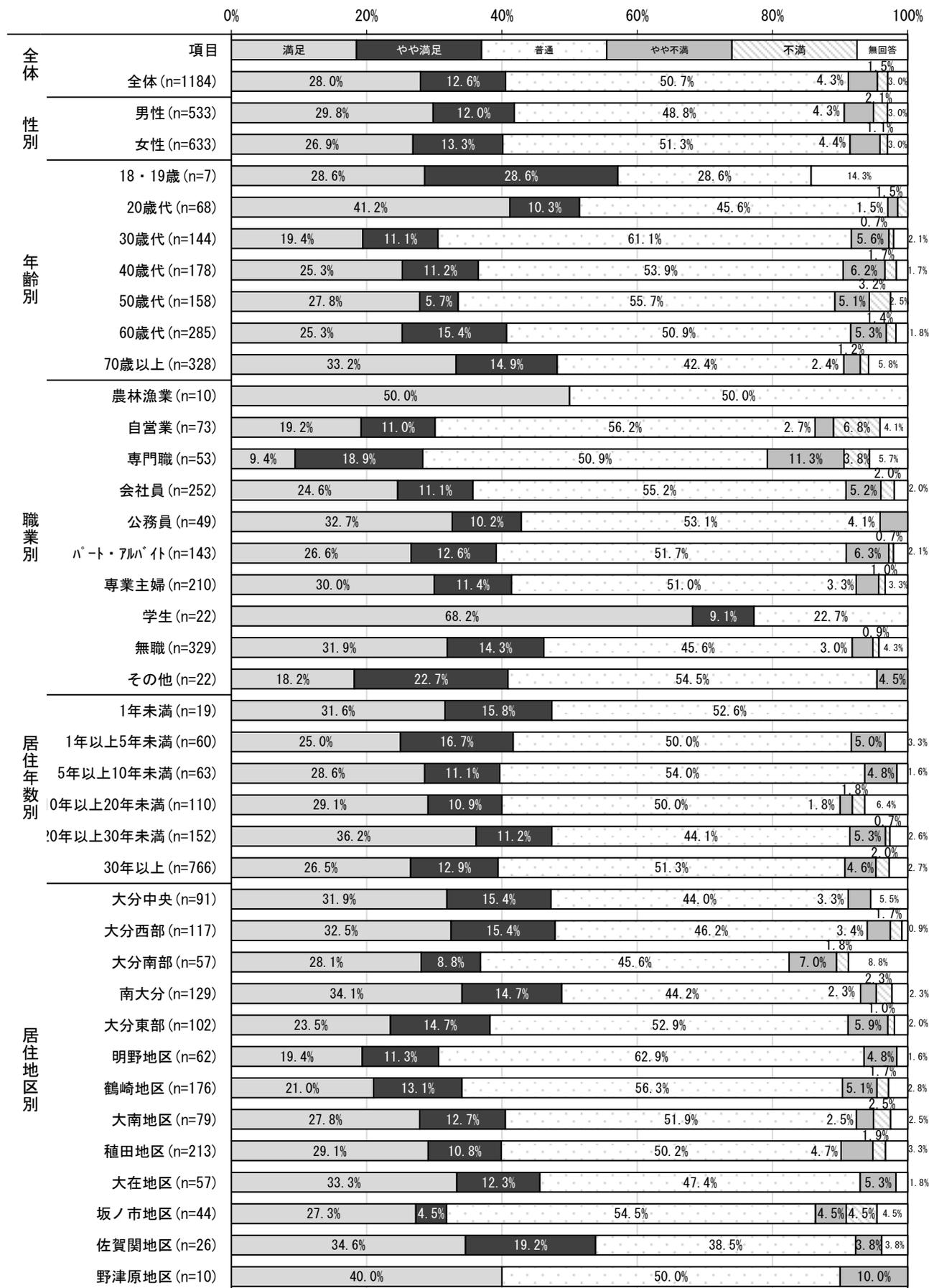


◇Ⅲ 集計結果

2. 言葉づかいについて

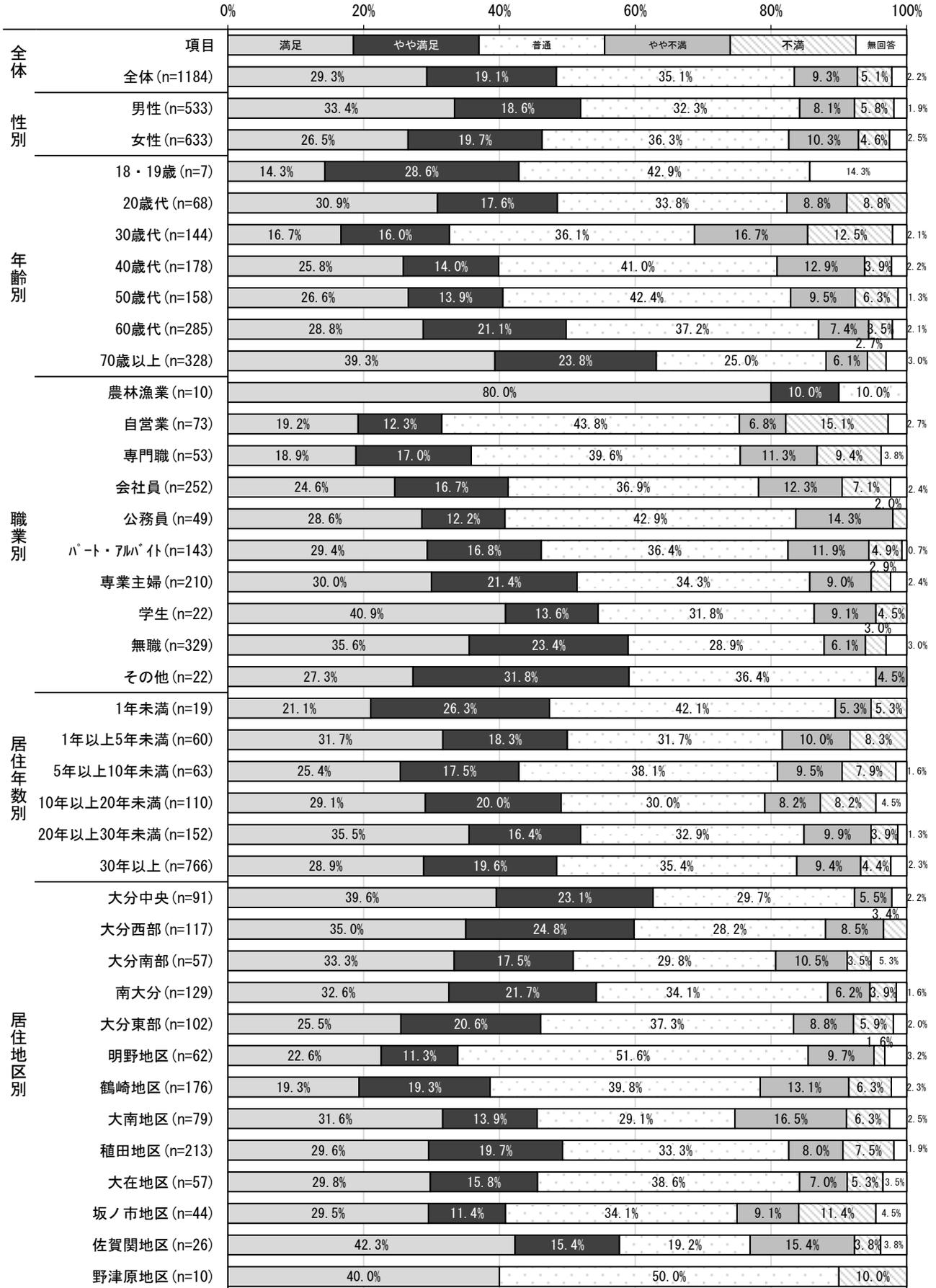


3. 身だしなみについて

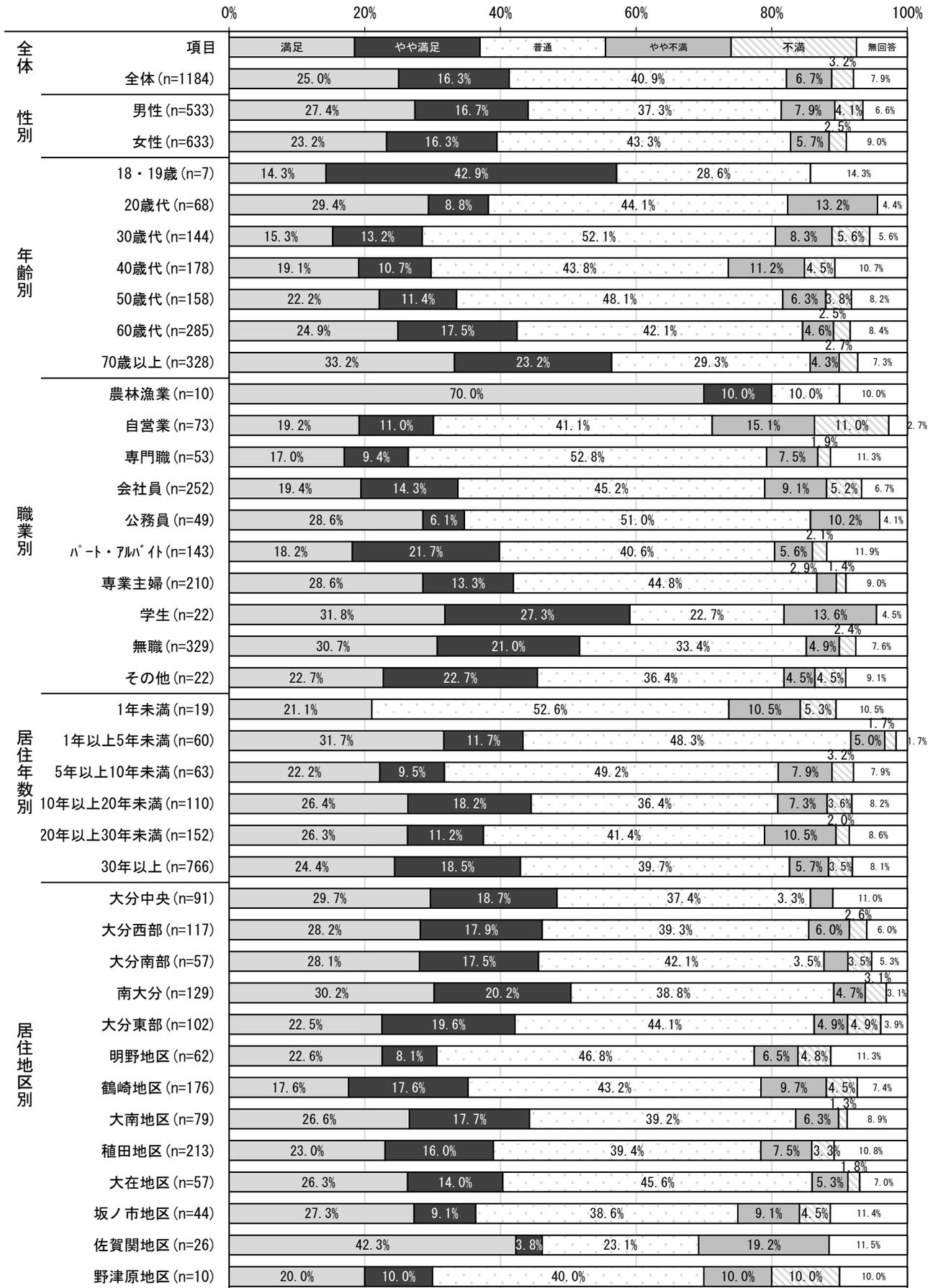


◇Ⅲ 集計結果

4. 窓口対応について

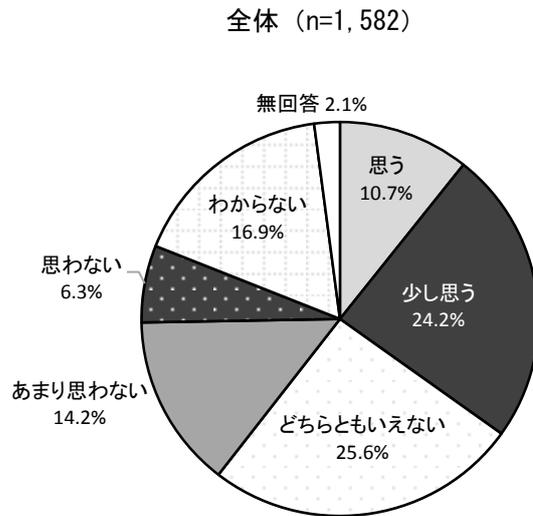


5. 電話対応について

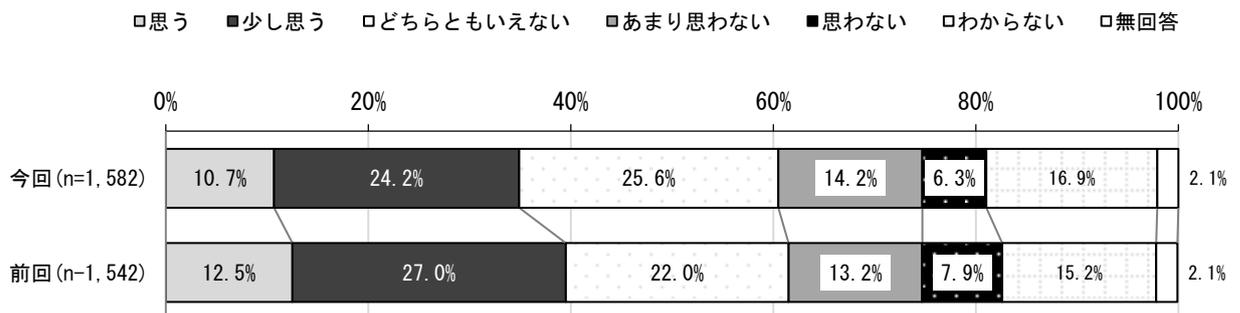


(2) 市民のまちづくりへの参加について

ア 現在の大大分市は、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。



前回調査結果との比較



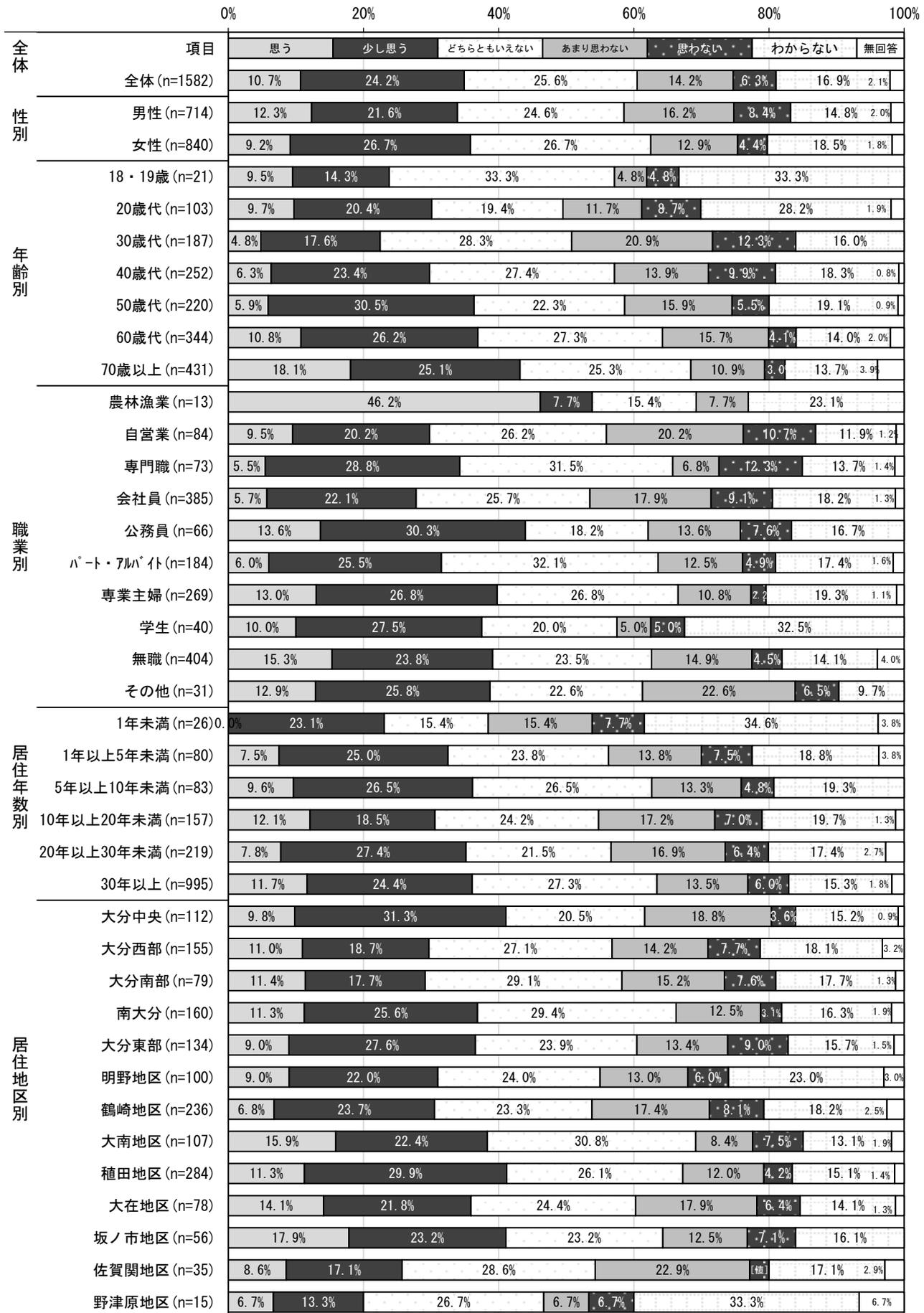
現在の大大分市は市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うかについては、「思う」が10.7%、「少し思う」が24.2%で合計した肯定率は34.9%です。一方、「あまり思わない」が14.2%、「思わない」が6.3%で合計した否定率は20.5%です。なお、「どちらともいえない」が25.6%と最も高い割合となっています。

また、前回と比較すると取り組んでいると感じている割合が低下しています。

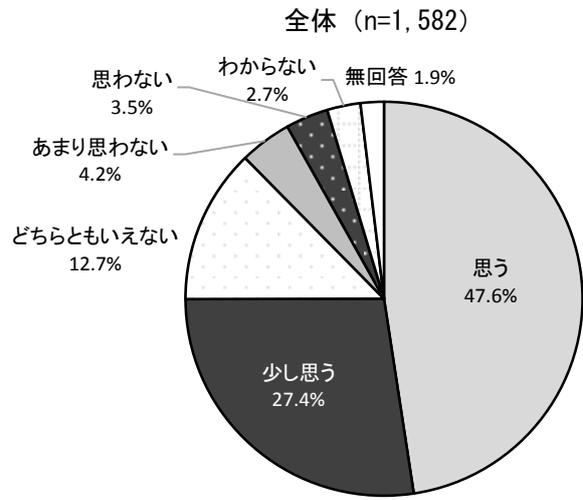
【属性別特徴】

- 性別で見ると否定率は「男性」がやや高い傾向にあります。
- 年齢別で見ると肯定率は「70歳以上」が最も高く、否定率は「30歳代」が最も高くなっています。また、若年層は「わからない」の回答率が高い傾向にあります。
- 職業別で見ると「農林漁業」は肯定率が非常に高く、次いで「公務員」「専業主婦（主夫）」が高くなっています。一方「自営業」「会社員」「その他」は否定率が高い傾向にあります。
- 居住年数別で見ると「1年未満」は「わからない」の割合が最も高くなっています。また、「10年以上20年未満」は他の居住年数に比べてやや肯定率が低いものの「1年未満」を除く居住年数では大きな差はない傾向にあります。
- 居住地区別で見ると「大分中央」「植田地区」「坂ノ市地区」は肯定率が高い傾向にあり、一方、「鶴崎地区」「大在地区」「佐賀関地区」は否定率が高い傾向にあります。

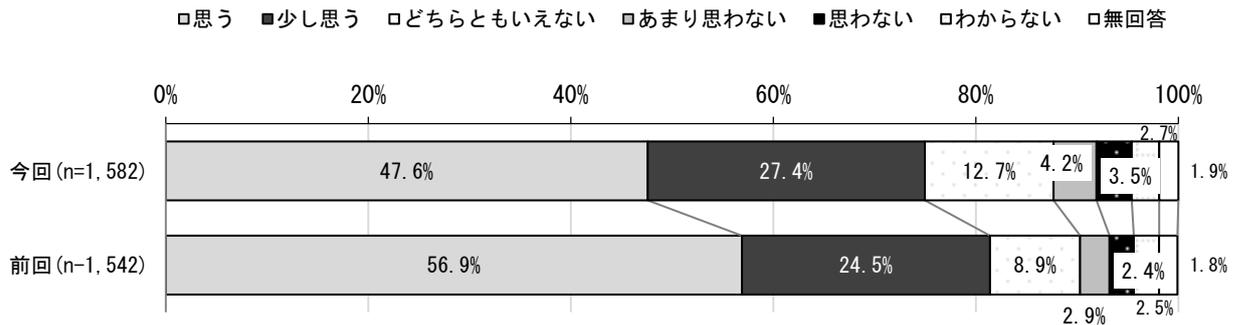
(属性別)



イ だれもが住みよいまちづくりの実現のためには、地域活動や市民活動(町内や自治会・公民館の活動やボランティア活動など)は大切だと思いますか。



前回調査結果との比較



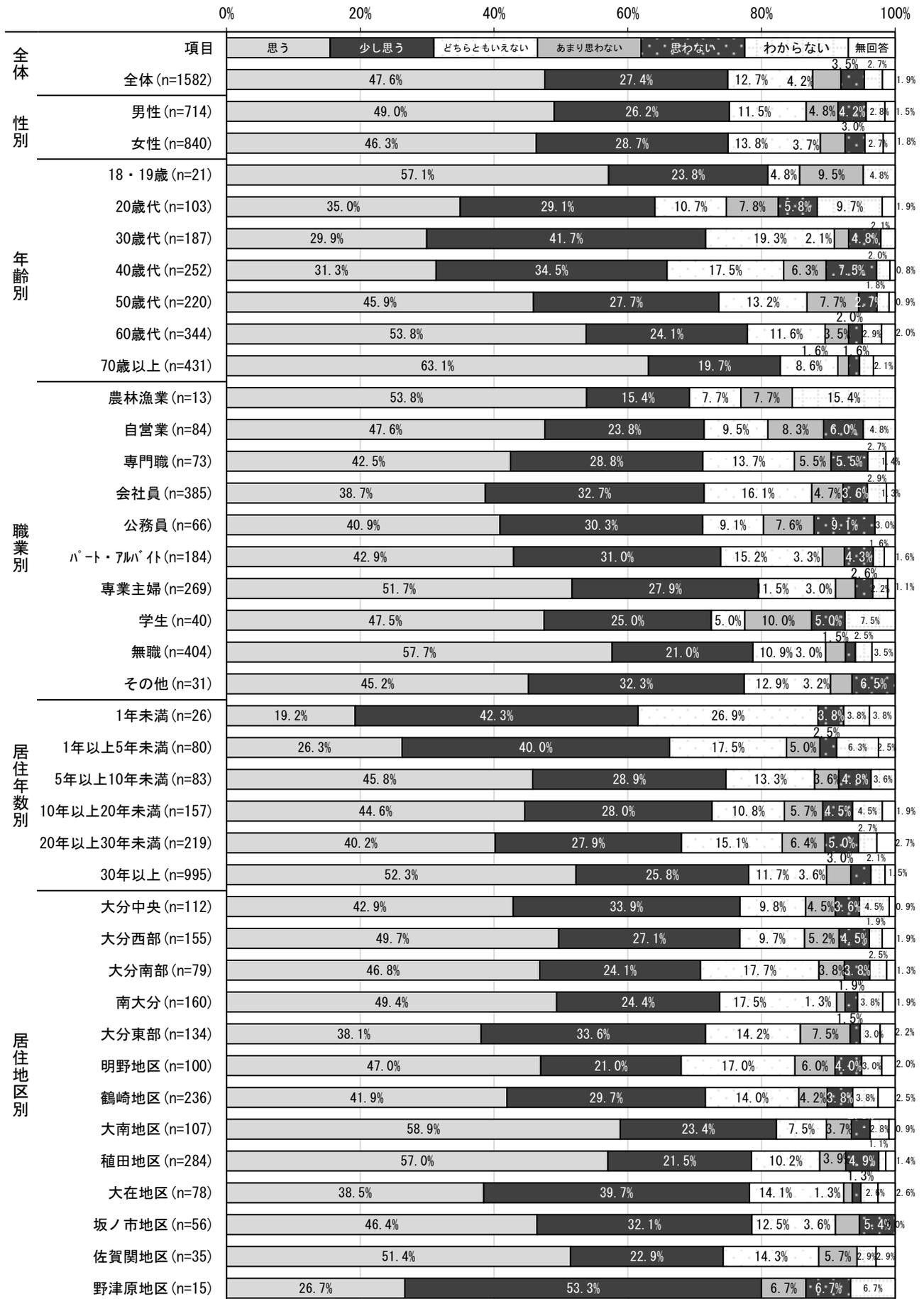
だれもが住みよいまちづくりのための地域活動や市民活動の大切さについては、「思う」が47.6%、「少し思う」が27.4%、合計した肯定率は75.0%となっています。

また、前回と比較すると「思う」の割合は低下しています。

【属性別特徴】

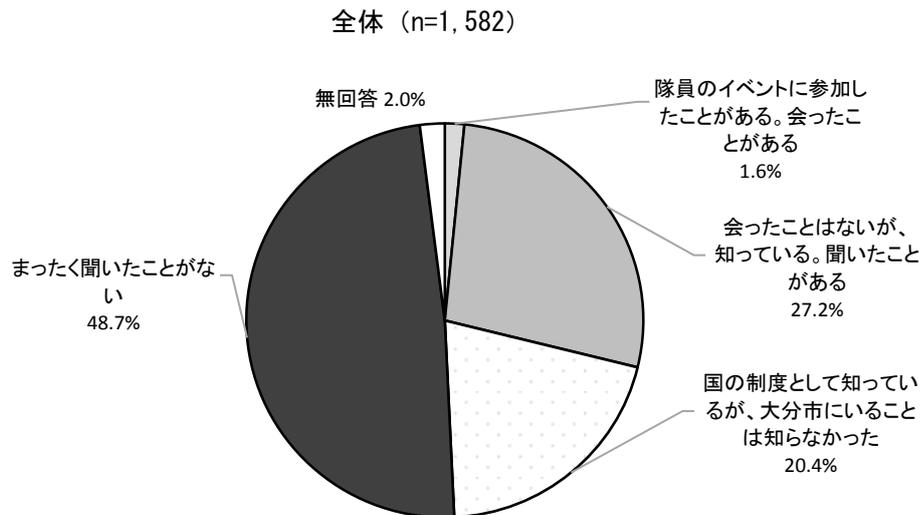
- 性別でみると項目の割合は同じ傾向にあります。
- 年齢別でみると肯定率は「70歳以上」が最も高く、否定率は「40歳代」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「専業主婦(主夫)」は肯定率が最も高く、次いで「無職」「その他」となっています。一方「公務員」「学生」「自営業」は否定率が他の職業に比べやや高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると「30年以上」は肯定率の割合が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「大南地区」「野津原地区」は肯定率が80%を超えています。

(属性別)



(3) 地域おこし協力隊について

ア 大分市地域おこし協力隊をご存じですか。

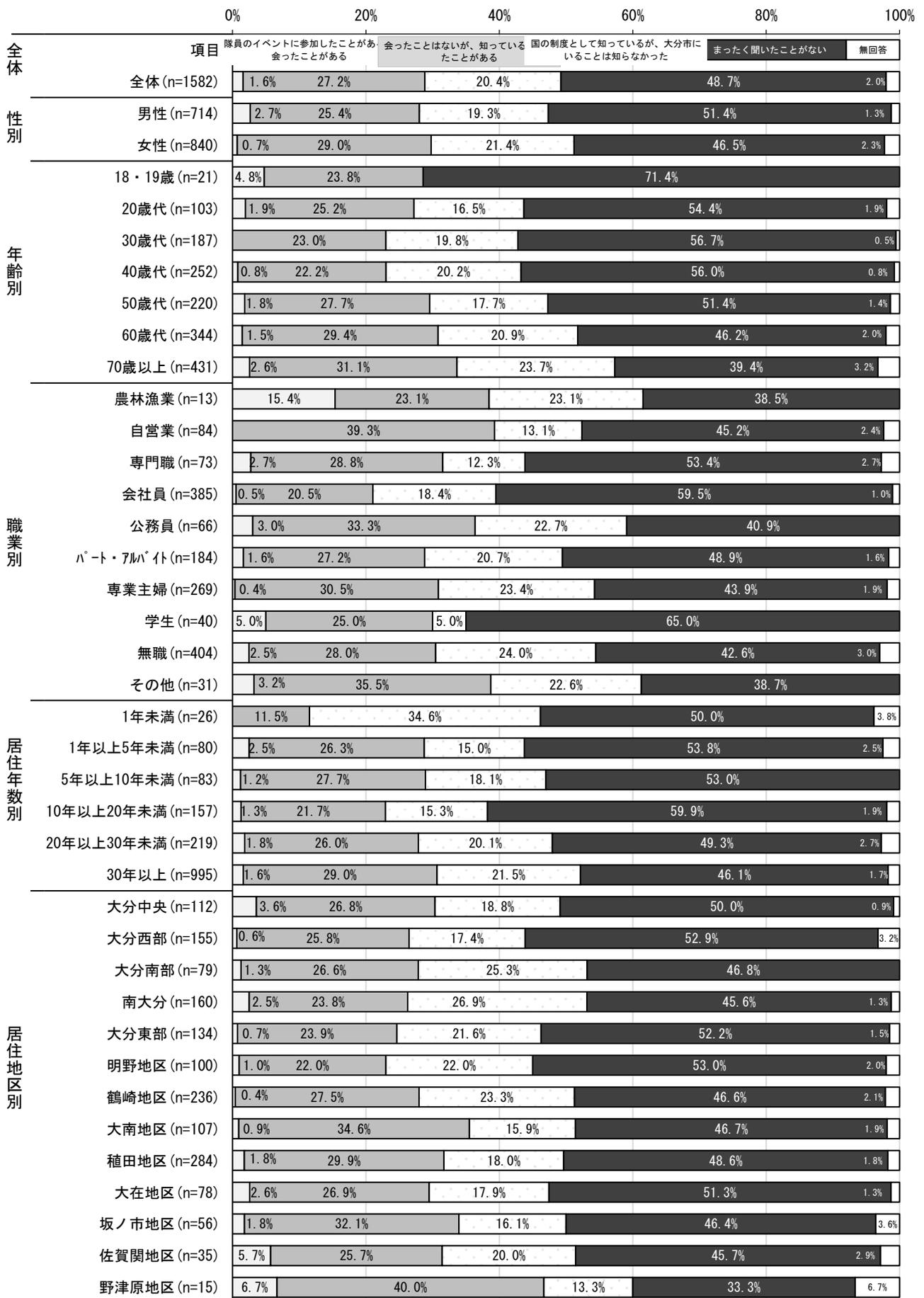


大分市地域おこし協力隊の知名度は、「隊員のイベントに参加したことがある。会ったことがある」はわずか1.6%です。また、「会ったことはないが、知っている。聞いたことがある」の割合の27.2%を合計しても知名度は28.8%で、知名度の低さがうかがえます。

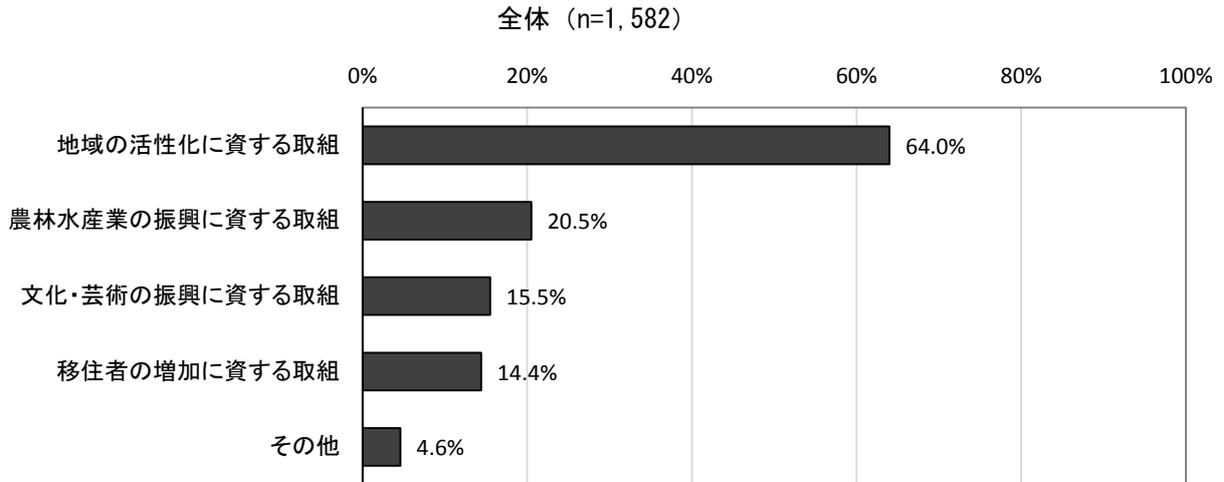
【属性別特徴】

- 性別でみると「男性」は「女性」に比べ知名度がやや低い傾向にあります。
- 年齢別でみると「18・19歳」は「まったく聞いたことがない」の割合がどの年齢よりも高く、知名度は年齢が上がるにつれ高くなる傾向にあります。
- 職業別でみると「まったく聞いたことがない」の割合が最も高いのは「学生」で、次いで「会社員」、「専門職」となっています。
- 居住年数別でみると「まったく聞いたことがない」の割合が最も高いのは、「10年以上20年未満」で、次いで「1年以上5年未満」となっています。さらに、「国の制度として知っているが、大分市にいることは知らなかった」と「まったく聞いたことがない」を合計すると「1年未満」が特に高くなっています。
- 居住地区別でみると「野津原地区」が最も知名度が高い傾向にあり、「明野地区」が最も知名度が低い傾向にあります。

(属性別)



イ 今後、地域おこし協力隊に取り組んでもらいたいことはありますか。
(当てはまるものすべて選んでください)



大分市地域おこし協力隊に取り組んで欲しいことについては、「地域の活性化に資する取組」の割合が最も高く、次いで「農林水産業の振興に資する取組」となっています。

【属性別特徴】

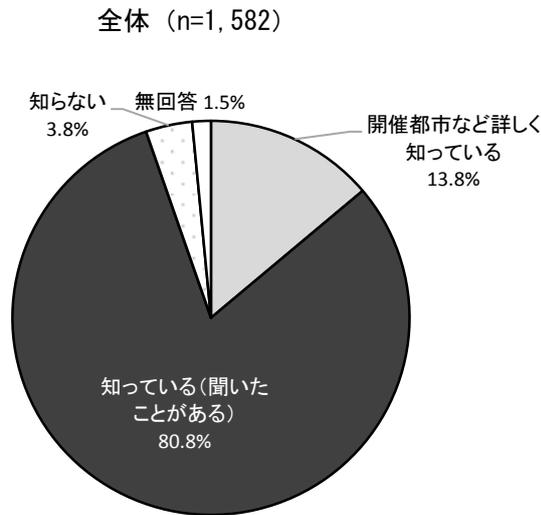
- 性別で見ると「男性」も「女性」も「地域の活性化に資する取組」が最も高くなっています。
- 年齢別で見ると全ての年齢において、「地域の活性化に資する取組」が最も高くなっています。
- 職業別で見ると「農林漁業」は、「農林水産業の振興に資する取組」が最も高く、その他の職業は「地域の活性化に資する取組」が最も高くなっています。
- 居住年数別で見ると全て「地域の活性化に資する取組」が最も高くなっています。
- 居住地区別で見ると全て「地域の活性化に資する取組」が最も高く、「野津原地区」は「農林水産業の振興に資する取組」も高い傾向にあります。

(属性別)

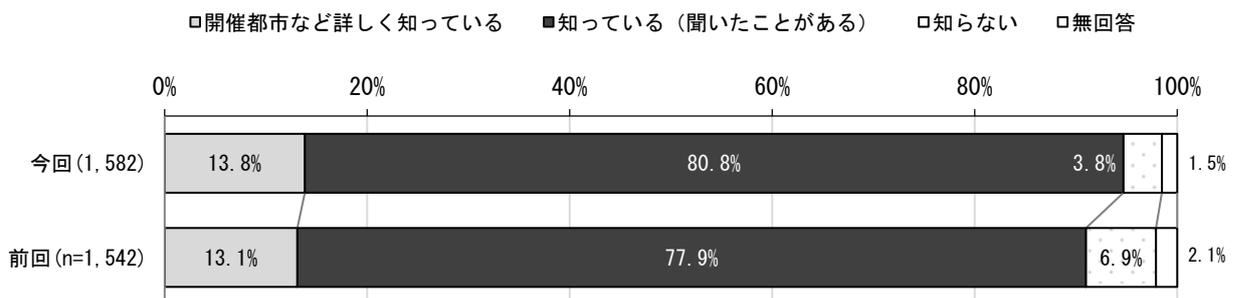
※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	農林水産業の振 興に資する取組	地域の活性化に 資する取組	移住者の増加に 資する取組	文化・芸術の振興 に資する取組	その他	
全体	1582	20.5	64.0	14.4	15.5	4.6	
性別	男	714	23.0	62.3	15.5	13.7	5.0
	女	840	18.5	66.3	13.7	16.7	4.3
年齢別	18・19歳	21	38.1	52.4	9.5	42.9	4.8
	20歳代	103	17.5	68.0	12.6	20.4	9.7
	30歳代	187	24.1	65.2	20.9	22.5	3.7
	40歳代	252	20.6	66.7	15.1	13.9	4.8
	50歳代	220	24.5	64.1	11.8	15.9	4.5
	60歳代	344	20.1	64.2	14.2	12.5	4.4
	70歳以上	431	17.4	62.9	13.7	12.8	3.9
職業別	農林漁業	13	61.5	38.5	15.4	0.0	7.7
	自営業	84	21.4	51.2	14.3	22.6	8.3
	専門職	73	19.2	69.9	11.0	20.5	8.2
	会社員	385	23.1	66.5	18.4	18.2	4.2
	公務員	66	21.2	60.6	21.2	13.6	4.5
	パート	184	19.6	71.2	12.0	9.8	2.2
	専業主婦	269	20.1	64.7	15.6	15.6	4.5
	学生	40	25.0	62.5	15.0	37.5	5.0
	無職	404	16.1	63.1	10.9	11.9	5.0
	その他	31	38.7	61.3	12.9	12.9	3.2
居住年数別	1年未満	26	19.2	53.8	26.9	34.6	7.7
	1～5年	80	16.3	57.5	27.5	26.3	2.5
	5～10年	83	19.3	67.5	8.4	18.1	6.0
	10～20年	157	21.0	62.4	15.3	17.8	5.1
	20～30年	219	20.1	65.8	11.9	12.8	5.9
	30年以上	995	21.2	65.0	14.1	14.0	4.2
居住地区別	大分中央	112	19.6	58.0	8.9	22.3	7.1
	大分西部	155	21.3	60.6	11.6	20.0	5.8
	大分南部	79	17.7	72.2	19.0	15.2	2.5
	南大分	160	18.8	63.8	16.3	18.1	3.1
	大分東部	134	23.1	64.2	17.9	16.4	3.7
	明野地区	100	19.0	61.0	12.0	18.0	6.0
	鶴崎地区	236	17.8	70.8	11.9	12.3	5.1
	大南地区	107	22.4	71.0	15.9	10.3	3.7
	植田地区	284	24.6	63.4	13.7	13.0	4.2
	大在地区	78	19.2	55.1	19.2	17.9	5.1
	坂ノ市地区	56	21.4	67.9	14.3	16.1	3.6
	佐賀関地区	35	8.6	57.1	25.7	2.9	0.0
	野津原地区	15	40.0	66.7	33.3	6.7	6.7

(4) ラグビーワールドカップ2019について

ア ラグビーワールドカップが平成31年に日本で開催（大分県など全国12都市で開催）されることを知っていますか。



前回調査結果との比較



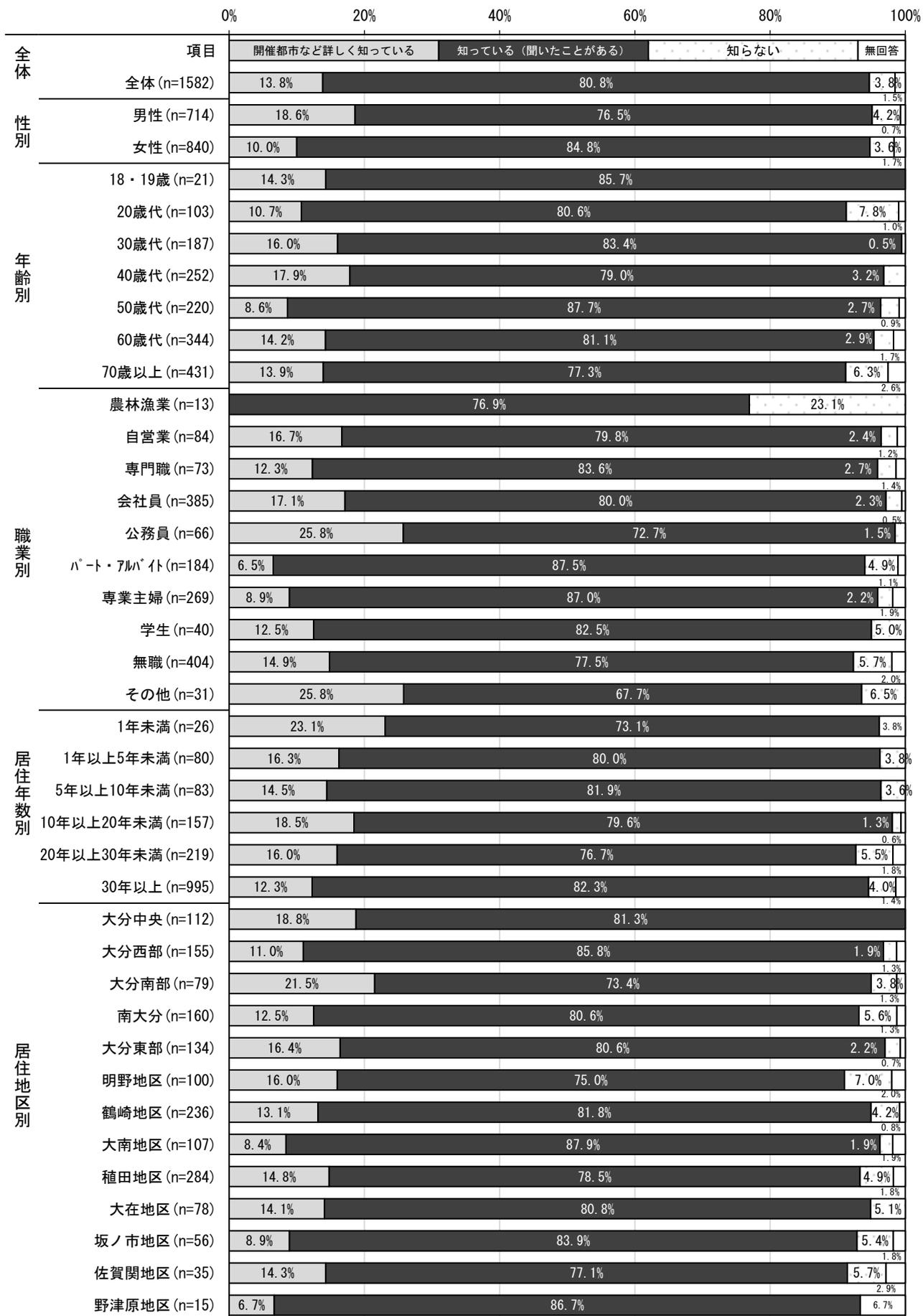
ラグビーワールドカップの日本開催についての認知度は、「開催都市など詳しく知っている」が13.8%、「知っている（聞いたことがある）」が80.8%で、合計した認知度は94.6%と非常に高いことがうかがえます。

また、前回と比較すると認知度は上がっていることがうかがえます。

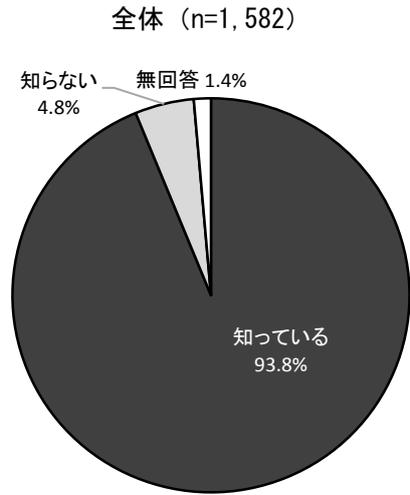
【属性別特徴】

- 性別で見ると「男性」は「女性」に比べ「開催都市など詳しく知っている」の割合が高くなっています。
- 年齢別で見ると「18・19歳」の認知度は極めて高くなっています。一方、「知らない」と回答した割合が最も高かった年齢は「20歳代」となっています。
- 職業別で見ると「農林漁業」を除く、全ての職業で認知度が非常に高くなっています。特に「公務員」、「その他」は、「開催都市など詳しく知っている」の割合が25.8%と興味が高いこともうかがえます。
- 居住年数別で見ると「10年以上20年未満」が最も認知度が高くなっています。
- 居住地区別で見ると「大分中央」が極めて認知度が高くなっています。

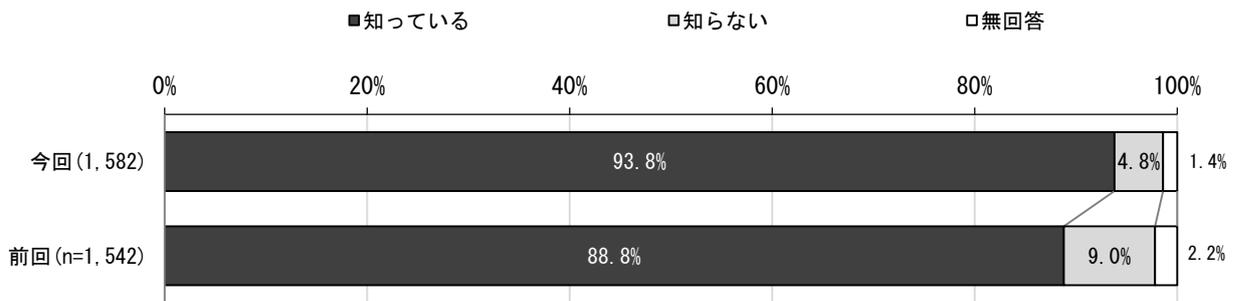
(属性別)



イ 平成 31 年に日本で開催されるラグビーワールドカップの開催会場の 1 つが大分スポーツ公園総合運動競技場(大分銀行ドーム※)であることを知っていますか。



前回調査結果との比較



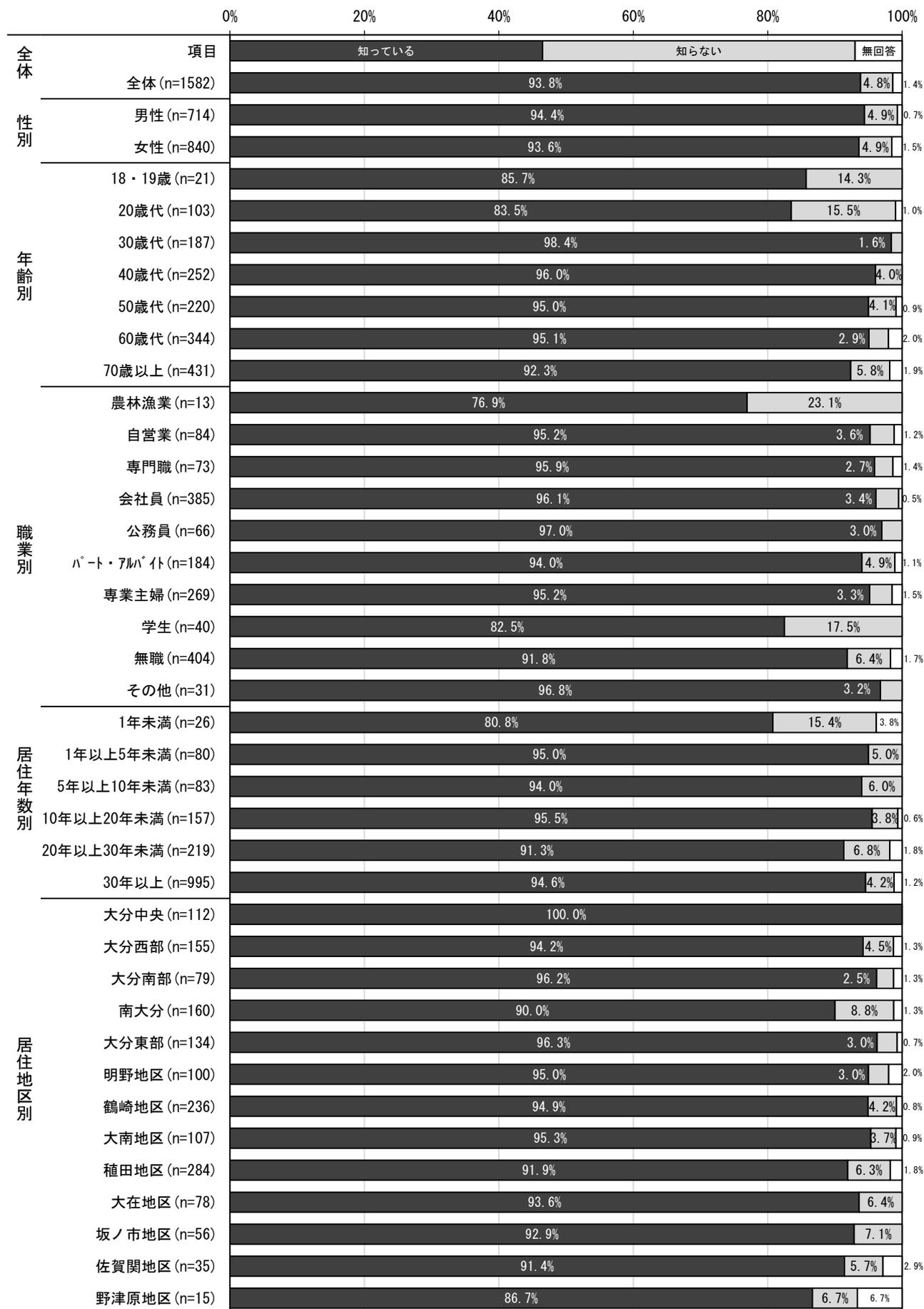
開催会場の 1 つが大分スポーツ公園総合運動競技場 (大分銀行ドーム※) であることの認知度をみると、「知っている」が 93.8%、「知らない」が 4.8%となっています。
また、前回と比較すると知名度が上がっていることがうかがえます。

【属性別特徴】

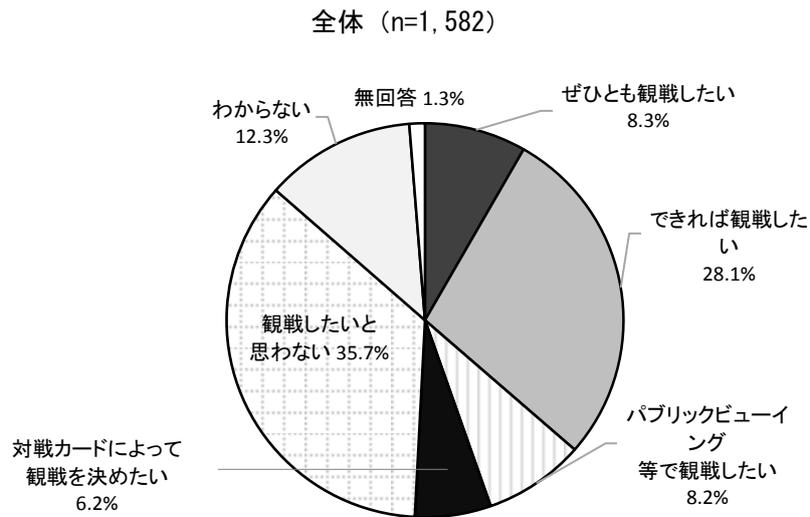
- 性別でみると認知度の割合は、同じ傾向にあります。
- 年齢別でみると「知らない」の割合は、若年層は他の年齢と比較して高い傾向にあります。
- 職業別でみると「知らない」の割合は、「農林漁業」と「学生」は他の職業と比較して高い傾向にあります。
- 居住年数別でみると「知らない」の割合は、「1年未満」は他の居住年数と比較して高い傾向にあります。
- 居住地区別でみると「大分中央」は極めて認知度が高く、一方、「知らない」の割合は「南大分」と「坂ノ市地区」が他の居住地区と比較して高い傾向にあります。

※平成 31 年 3 月 1 日から施設名称が「昭和電工ドーム大分」に変更されています。

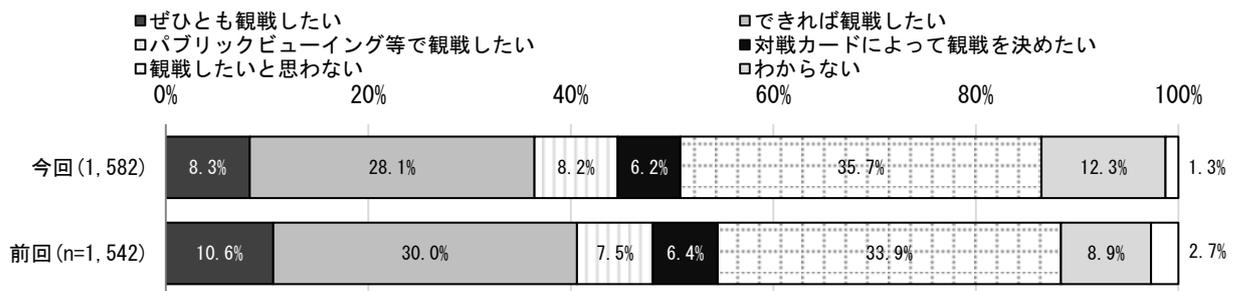
(属性別)



ウ 大分銀行ドーム（※）で開催される試合を観戦したいと思いますか。



前回調査結果との比較



観戦の意向をみると、「ぜひとも観戦したい」(8.3%)、「できれば観戦したい」(28.1%)、「パブリックビューイング等で観戦したい」(8.2%)、「対戦カードによって観戦を決めたい」(6.2%)で合計すると50.8%の割合が観戦の意向をもっています。

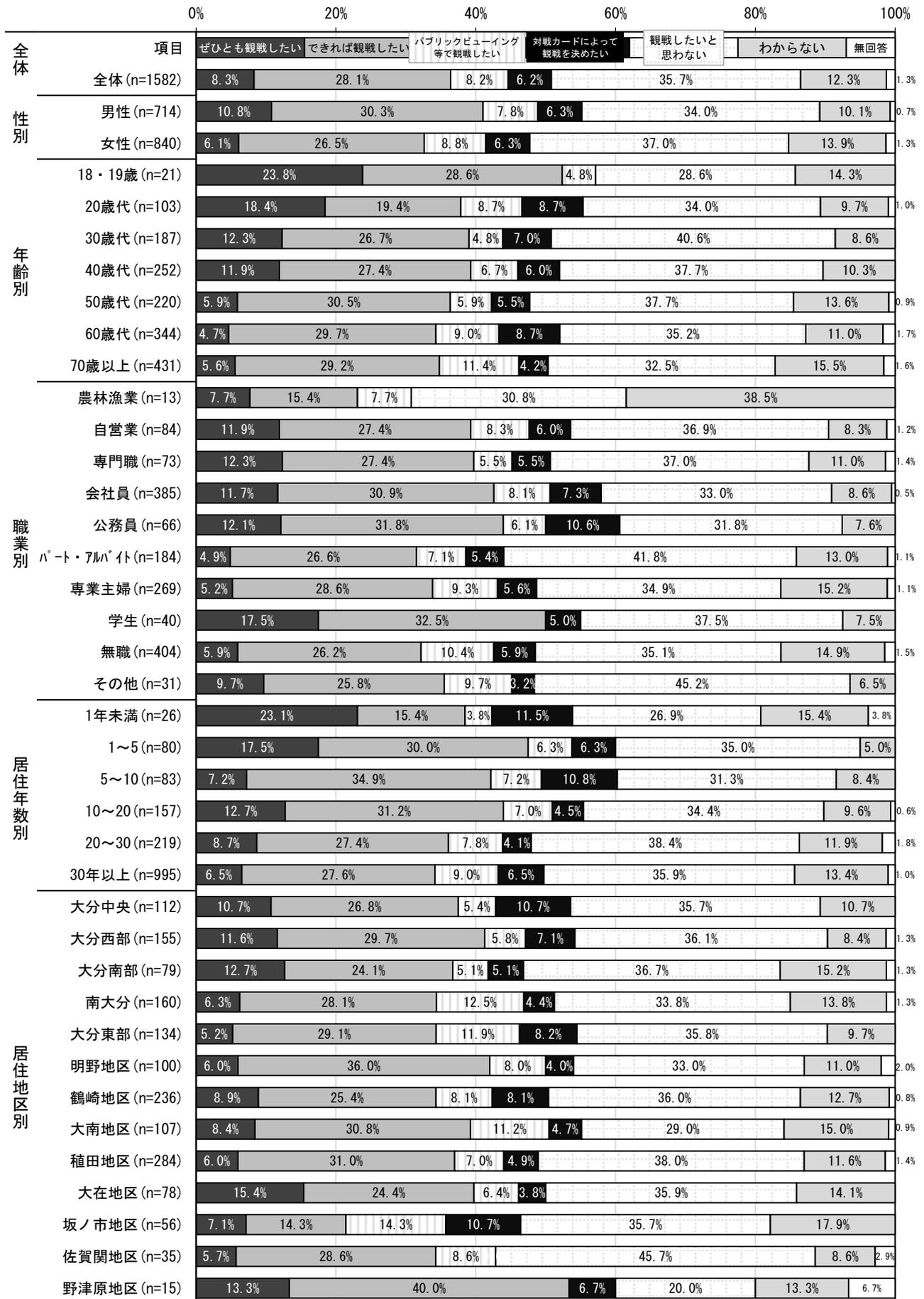
ただ、前回調査結果と比較すると若干観戦の意向の低下が見られます。

【属性別特徴】

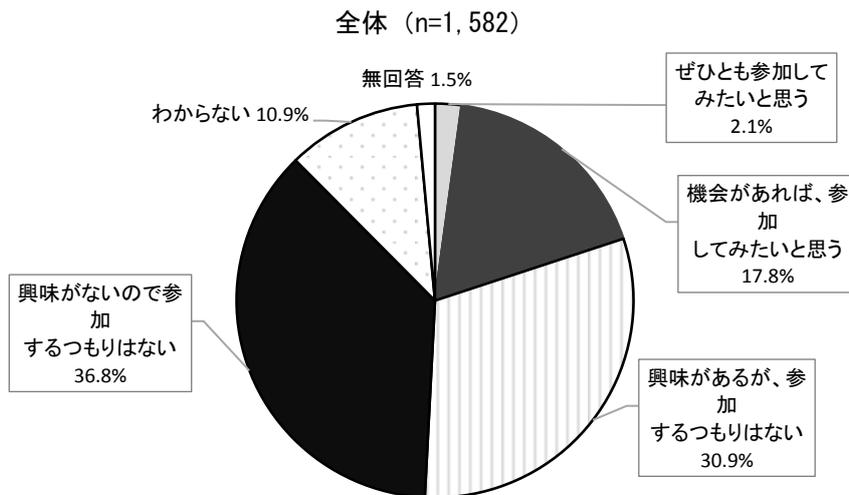
- 性別でみると「男性」が「女性」より観戦希望が高い傾向にあります。
- 年齢別でみると「ぜひとも観戦したい」の割合は若年層が高くなっています。
- 職業別でみると、観戦希望は、「公務員」が最も高く、次いで、「会社員」「学生」となっています。また、「学生」は「ぜひとも観戦したい」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると「ぜひとも観戦したい」の割合は、「1年未満」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「ぜひとも観戦したい」の割合が高い地区は、「大在地区」「野津原地区」「大分南部」で、観戦希望の最も高い地区は、「野津原地区」となっています。一方、「観戦したいと思わない」の割合が最も高かった地区は「佐賀関地区」となっています。

※平成31年3月1日から施設名称が「昭和電工ドーム大分」に変更されています。

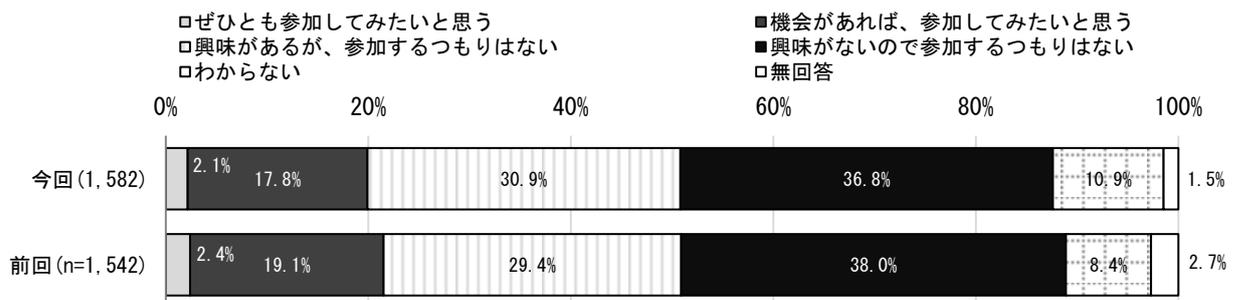
(属性別) ※項目数が多いため居住年数は省略表示



エ 平成 27 年度から、ラグビーワールドカップの開催に向けた普及啓発活動として、大分市内でもラグビーに関するイベントや体験教室などを行っています。今後、参加してみたいと思いますか。



前回調査結果との比較



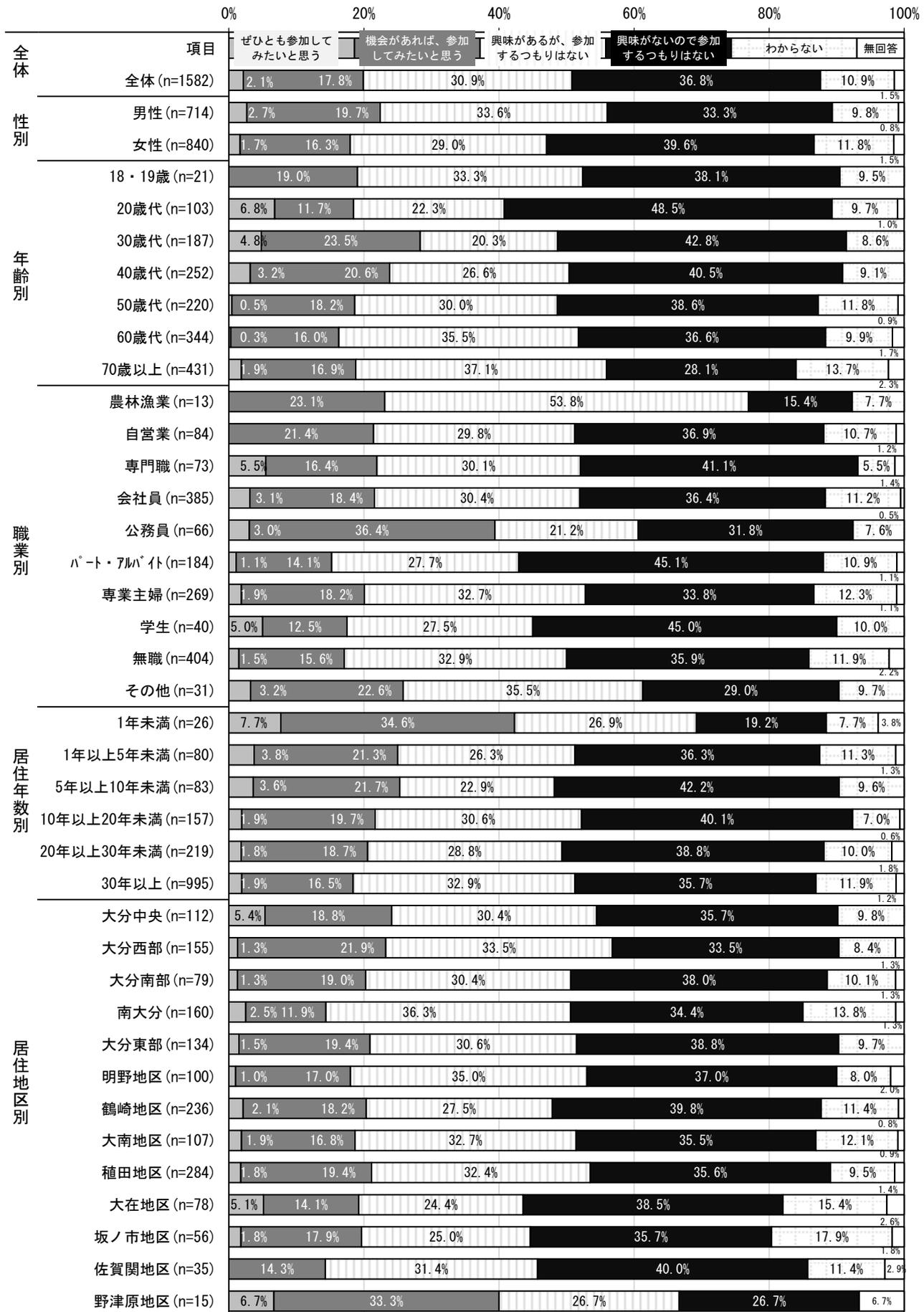
普及啓発活動への参加の意向をみると、「ぜひとも参加してみたいと思う」は2.1%、「機会があれば、参加してみたいと思う」は、17.8%となっており、およそ2割が参加の意向をもっています。

ただ、前回と比較すると若干参加の意向の低下が見られるものの、「興味がないので参加するつもりはない」も若干低下し、「わからない」の割合が上昇の傾向にあります。

【属性別特徴】

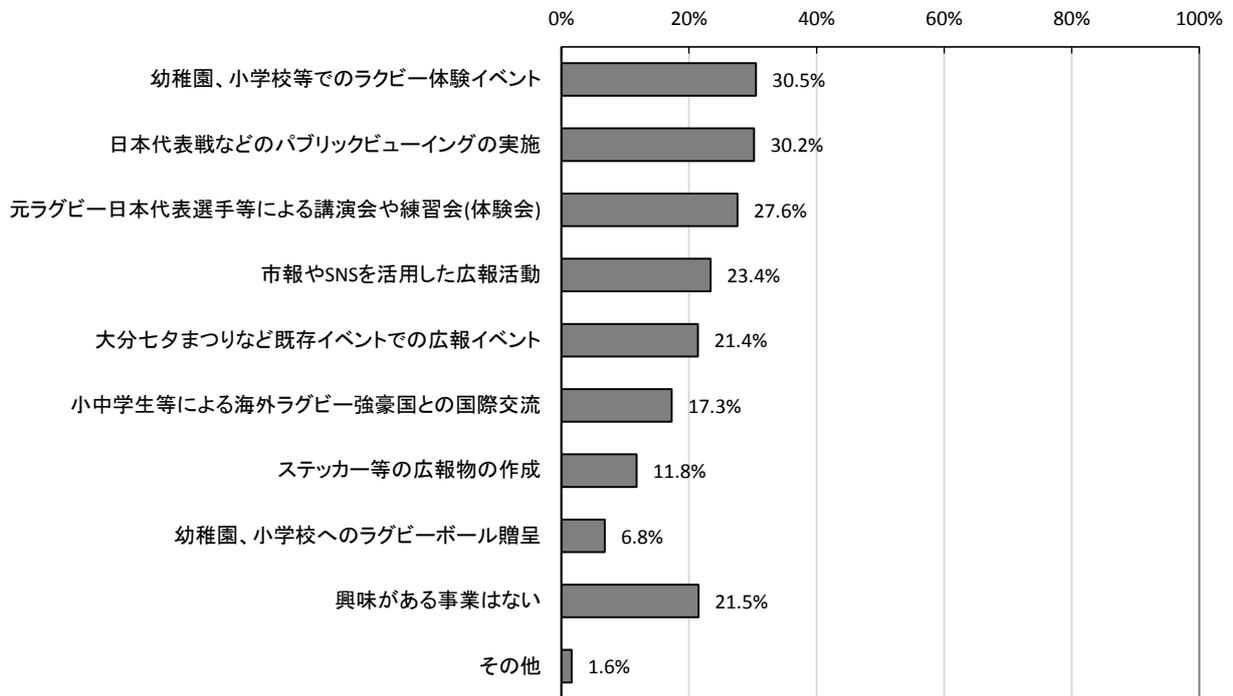
- 性別でみると「男性」が「女性」より参加希望が高い傾向にあります。
- 年齢別でみると「30歳代」が最も参加希望が高くなっています。
- 職業別でみると参加希望は、「公務員」が最も高く、次いで、「その他」「農林漁業」となっています。また、「専門職」は「ぜひとも参加してみたいと思う」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると参加希望の割合は、「1年未満」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると参加希望の割合が高い地区は、「野津原地区」「大分中央」「大分西部」となっています。

(属性別)

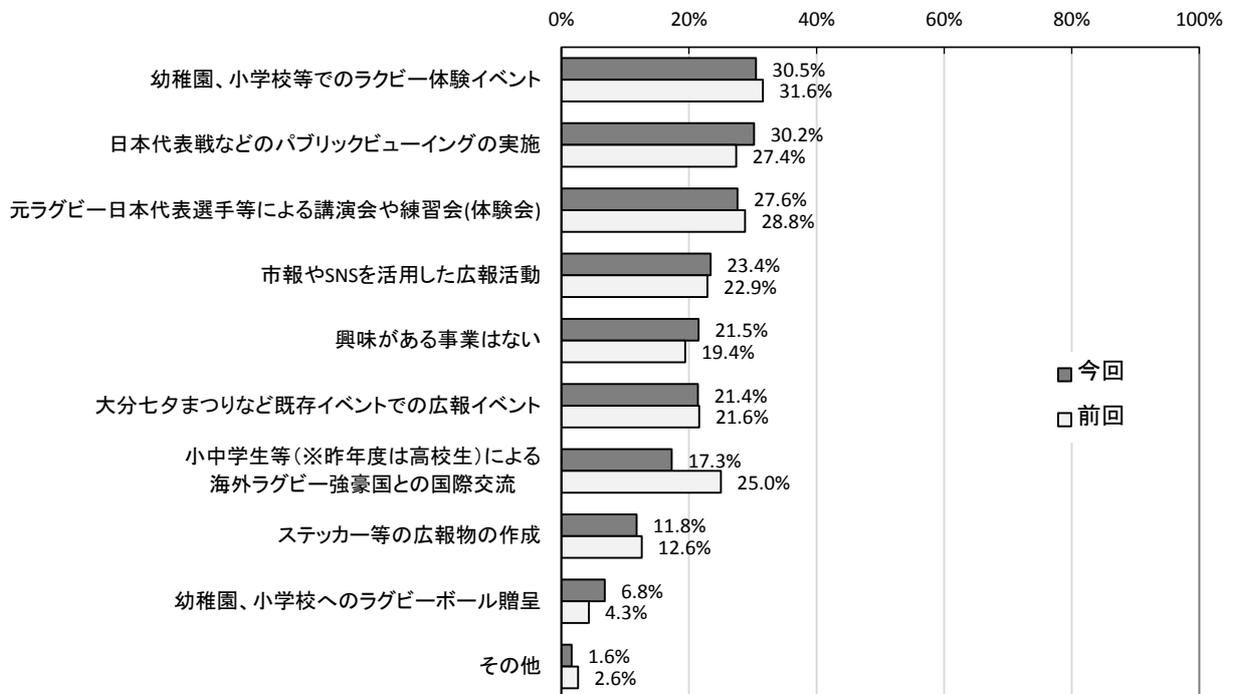


オ ラグビーワールドカップの開催に向けた気運醸成の活動として、興味がある事業は具体的にどのようなものですか。(3 つまで選んでください)

全体 (n=1, 582)



前回調査結果との比較



ラグビーワールドカップの開催に向けた気運醸成の活動として、興味がある事業については、「幼稚園、小学校等でのラグビー体験イベント」(30.5%)、「日本代表戦などのパブリックビューイングの実施」(30.2%)が30%を超えています。次いで、「元ラグビー日本代表選手等による講演会や練習会(体験会)」(27.6%)、「市報やSNSを活用した広報活動」(23.4%)となっています。

また、前回と比較すると「日本代表戦などのパブリックビューイングの実施」が2.8ポイントと最も上昇しています。

【属性別特徴】

- 性別でみると「男性」は「日本代表戦などのパブリックビューイングの実施」、「女性」は「幼稚園、小学校等でのラグビー体験イベント」が最も高くなっています。
- 年齢別でみると「30、40歳代」は「幼稚園、小学校等でのラグビー体験イベント」、「50歳代」は「日本代表戦などのパブリックビューイングの実施」、「60歳代」は「元ラグビー日本代表選手等による講演会や練習会(体験会)」、「70歳以上」は「市報やSNSを活用した広報活動」の割合が最も高く、「18・19歳」は20歳以上で最も高かった項目全てが当てはまります。
- 職業別でみると「農林漁業」「無職」は「市報やSNSを活用した広報活動」、「自営業」「パート・アルバイト」「専業主婦(主夫)」は「幼稚園、小学校等でのラグビー体験イベント」、「専門職」「会社員」「公務員」「学生」は「日本代表戦などのパブリックビューイングの実施」の割合が最も高くなっています。「農林漁業」は同率で「興味がある事業はない」もあげられています。
- 居住年数別でみると「1年未満」は「幼稚園、小学校等でのラグビー体験イベント」と「元ラグビー日本代表選手等による講演会や練習会(体験会)」、「1年以上5年未満」と「30年以上」は「日本代表戦などのパブリックビューイングの実施」、「5年以上20年未満」は「幼稚園、小学校等でのラグビー体験イベント」、「20～30年」は「元ラグビー日本選手等による講演会や練習会(体験会)」と「日本代表戦などのパブリックビューイングの実施」の割合が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると6地区(「大分南部」「植田地区」「大在地区」「坂ノ市地区」「佐賀関地区」「野津原地区」)で、「幼稚園、小学校等でのラグビー体験イベント」の割合が最も高くなっています。

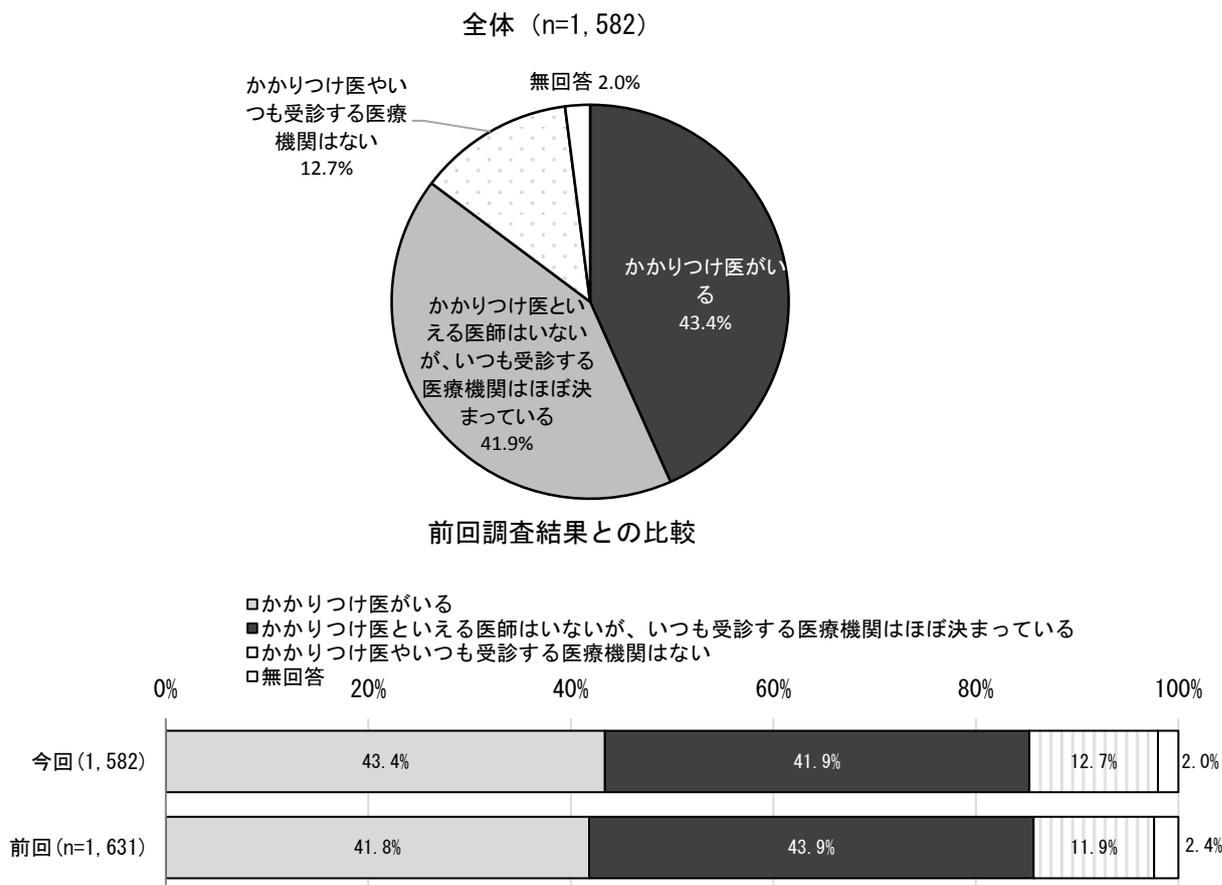
◇Ⅲ 集計結果

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	幼稚園、小学校等でのラグビー体験イベント	幼稚園、小学校へのラグビーボール贈呈	元ラグビー日本代表選手等による講演会や練習会(体験会)	小中学生等による海外ラグビー強豪国との国際交流	ステッカー等の広報物の作成	市報やSNSを活用した広報活動	大分七夕まつりなど既存イベントでの広報イベント	日本代表戦などのパブリックビューイングの実施	興味がある事業はない	その他
全体		1582	30.5	6.8	27.6	17.3	11.8	23.4	21.4	30.2	21.5	1.6
性別	男	714	26.1	7.1	28.2	18.6	14.1	24.1	21.8	32.8	23.2	2.0
	女	840	34.5	6.8	27.5	16.4	9.9	23.0	21.4	28.7	19.6	1.3
年齢別	18・19歳	21	33.3	9.5	33.3	14.3	9.5	14.3	9.5	33.3	33.3	0.0
	20歳代	103	16.5	5.8	20.4	14.6	10.7	18.4	19.4	32.0	35.0	0.0
	30歳代	187	45.5	11.2	26.2	19.3	8.6	18.2	22.5	36.4	19.8	1.6
	40歳代	252	38.1	9.9	30.2	17.9	10.3	19.8	17.9	36.1	22.2	2.0
	50歳代	220	30.0	3.6	27.7	19.5	11.4	22.7	18.6	36.4	25.0	0.9
	60歳代	344	30.2	4.7	31.7	16.0	15.4	26.7	25.6	27.9	18.0	1.2
	70歳以上	431	23.4	7.0	25.3	17.4	11.8	27.1	22.7	23.0	19.0	2.6
職業別	農林漁業	13	15.4	15.4	7.7	15.4	15.4	30.8	23.1	23.1	30.8	0.0
	自営業	84	32.1	9.5	26.2	25.0	19.0	19.0	16.7	29.8	22.6	2.4
	専門職	73	30.1	11.0	21.9	17.8	5.5	24.7	11.0	41.1	24.7	1.4
	会社員	385	29.9	5.5	29.1	21.0	13.2	21.0	24.4	34.8	21.8	1.6
	公務員	66	34.8	10.6	30.3	21.2	4.5	12.1	7.6	45.5	22.7	1.5
	パート	184	35.3	4.9	27.7	12.0	10.3	20.1	19.0	28.3	23.4	0.0
	専業主婦	269	37.9	7.8	32.7	19.7	10.8	25.7	24.5	25.7	14.9	1.5
	学生	40	25.0	10.0	17.5	12.5	12.5	17.5	17.5	40.0	32.5	0.0
	無職	404	23.3	5.7	25.5	13.6	11.9	28.2	23.0	25.7	23.0	2.5
	その他	31	48.4	12.9	35.5	12.9	19.4	25.8	25.8	32.3	16.1	0.0
居住年数別	1年未満	26	46.2	0.0	46.2	11.5	15.4	26.9	15.4	42.3	19.2	3.8
	1～5年	80	37.5	12.5	18.8	17.5	12.5	20.0	21.3	41.3	13.8	0.0
	5～10年	83	42.2	6.0	32.5	22.9	8.4	24.1	22.9	30.1	16.9	2.4
	10～20年	157	35.0	7.0	24.2	19.7	12.1	18.5	15.9	31.2	24.8	1.3
	20～30年	219	25.6	7.3	28.8	20.5	11.0	17.4	23.7	28.8	24.7	2.7
	30年以上	995	29.0	6.6	27.9	16.1	12.1	25.8	22.0	29.6	21.3	1.4
居住地区別	大分中央	112	31.3	2.7	31.3	14.3	14.3	24.1	25.0	33.9	18.8	2.7
	大分西部	155	30.3	8.4	24.5	16.1	11.6	23.9	20.6	34.2	27.1	0.6
	大分南部	79	29.1	7.6	27.8	21.5	11.4	21.5	21.5	27.8	22.8	2.5
	南大分	160	28.8	7.5	30.6	15.6	8.8	25.6	31.3	29.4	16.9	1.3
	大分東部	134	24.6	3.0	22.4	15.7	11.9	23.1	18.7	32.1	30.6	0.0
	明野地区	100	26.0	6.0	21.0	13.0	13.0	28.0	12.0	29.0	29.0	4.0
	鶴崎地区	236	33.1	6.4	25.8	19.5	14.0	22.5	22.0	34.3	16.1	1.7
	大南地区	107	29.0	4.7	32.7	15.9	8.4	20.6	23.4	28.0	22.4	1.9
	植田地区	284	33.1	7.7	31.3	19.7	12.7	24.6	18.7	30.6	19.7	1.8
	大在地区	78	37.2	10.3	30.8	24.4	11.5	23.1	25.6	28.2	16.7	1.3
	坂ノ市地区	56	26.8	7.1	26.8	12.5	7.1	19.6	19.6	25.0	23.2	1.8
	佐賀関地区	35	31.4	14.3	14.3	8.6	11.4	17.1	17.1	14.3	25.7	0.0
	野津原地区	15	40.0	33.3	33.3	26.7	20.0	33.3	6.7	20.0	20.0	0.0

(5) かかりつけ医について

ア あなたは、健康状態や病気のことで気軽に相談でき、決まって診察を受けるかかりつけ医がいますか。



かかりつけ医について、「かかりつけ医がいる」は43.4%、「かかりつけ医といえる医師はいないが、いつも受診する医療機関はほぼ決まっている」は41.9%、合計すると85.3%の方は医療機関を決めている傾向にあります。一方、「かかりつけ医やいつも受診する医療機関はない」は、12.7%となっています。

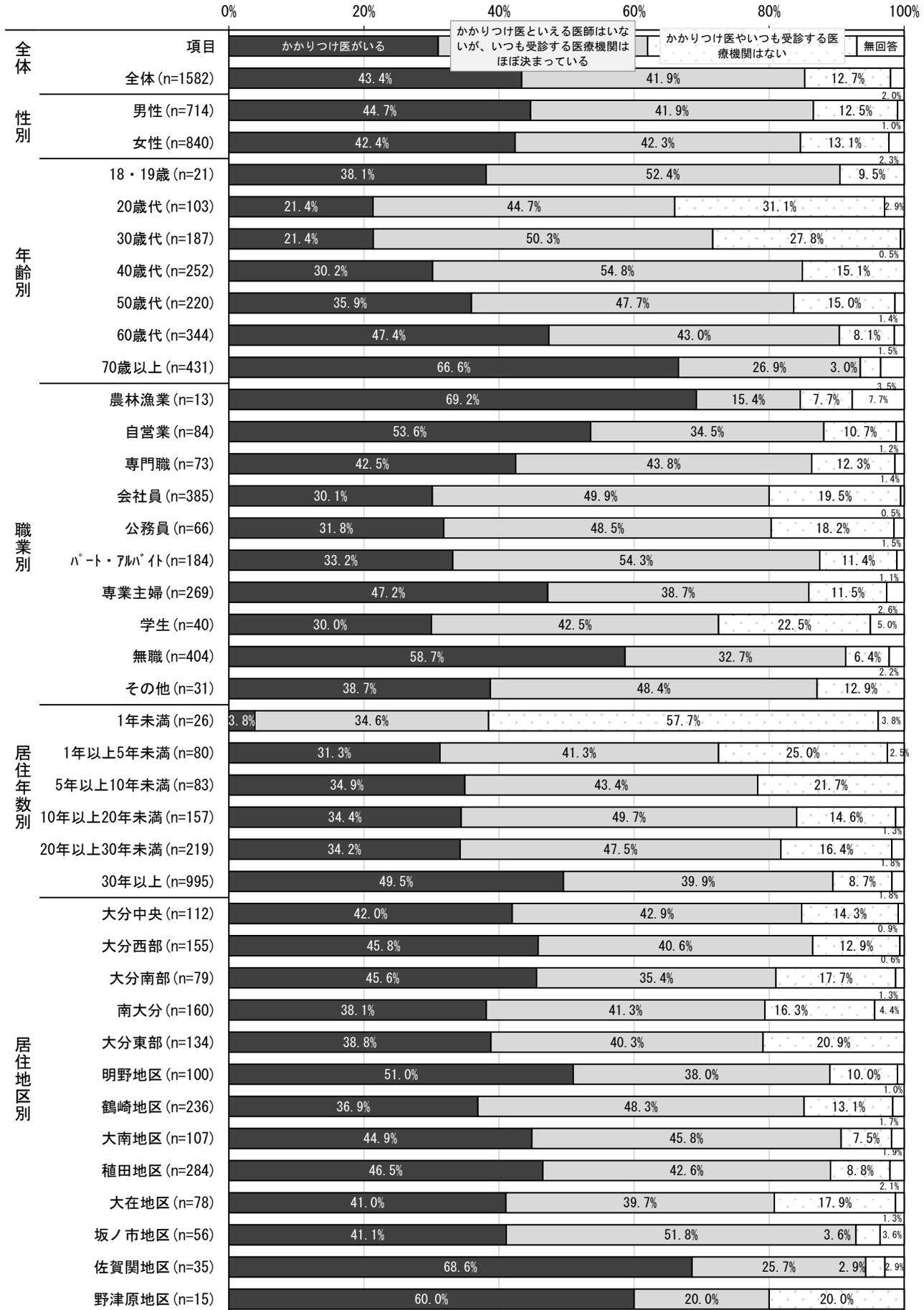
前回と比較すると「かかりつけ医がいる」の割合は若干増加しています。

【属性別特徴】

- 性別で見ると「男性」が「女性」より若干「かかりつけ医がいる」割合が高くなっています。
- 年齢別で見ると「70歳以上」は「かかりつけ医がいる」の割合が66.6%と最も高く、一方「20歳代」や「30歳代」はその割合が低い傾向にあります。
- 職業別で見ると「農林漁業」や「無職」は「かかりつけ医がいる」の割合が高い傾向にあり、一方「会社員」「公務員」「パート・アルバイト」「学生」は低い傾向にあります。
- 居住年数別で見ると「1年未満」は、「かかりつけ医がいる」の割合が他の居住年数と比較して極めて低く、居住年数が増えるにつれて「かかりつけ医がいる」や「かかりつけ医といえる医師はいないが、いつも受診する医療機関はほぼ決まっている」の割合が高くなる傾向にあります。
- 居住地区別で見ると「かかりつけ医がいる」の割合が最も高いのは「佐賀関地区」で、次いで「野津原地区」、「明野地区」となっています。

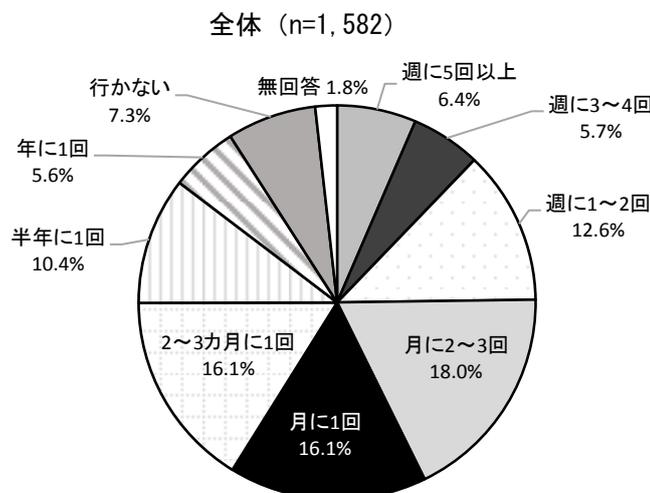
◇Ⅲ 集計結果

(属性別)



(6) 大分市中心市街地について

ア あなたは、買い物をする、しないに関係なく、大分市中心街地にどのくらいの頻度で行きますか。



大分市中心街地に行く頻度は、「月に2~3回」が18.0%で最も高く、次いで「月に1回」、「2~3カ月に1回」となっています。頻度が月に1回以上でみると、58.8%となっています。

【属性別特徴】

- 性別で頻度が月に1回以上の割合をみると「女性」が「男性」より高くなっています。
- 年齢別で頻度が月に1回以上の割合をみると「18・19歳」が最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあります。また、「18・19歳」は、「週に5回以上」の割合も際立って高い傾向にあります。
- 職業別で頻度が月に1回以上の割合をみると「公務員」が最も高く、次いで「学生」、「専門職」、「自営業」、「会社員」となっています。一方「農林漁業」は低い傾向にあります。
- 居住年数別で頻度が月に1回以上の割合をみると「1年未満」が最も高く、「30年以上」が最も低くなっています。
- 居住地区別で頻度が月に1回以上の割合をみると「大分中央」が最も高く、次いで「大分西部」、「南大分」、「大分南部」となっています。一方、「佐賀関地区」や「坂ノ市地区」は、低い傾向にあります。

(属性別)

		0%	20%	40%	60%	80%	100%				
項目	全体 (n=1582)	週に5回以上	週に3~4回	週に1~2回	月に2~3回	月に1回	2~3カ月に1回	半年に1回	年に1回	行かない	無回答
		全体	6.4%	5.7%	12.6%	18.0%	16.1%	16.1%	10.4%	5.6%	7.3%
性別	男性 (n=714)	6.3%	4.6%	12.2%	17.6%	16.1%	15.0%	11.6%	6.0%	9.5%	1.0%
	女性 (n=840)	6.7%	6.7%	12.7%	18.2%	16.1%	17.4%	9.8%	5.2%	5.5%	1.8%
年齢別	18・19歳 (n=21)	28.6%		14.3%	14.3%	14.3%	4.8%	23.8%			
	20歳代 (n=103)	13.6%	6.8%	11.7%	24.3%	14.6%	11.7%	8.7%	5.8%	1.9%	
	30歳代 (n=187)	7.0%	3.7%	11.2%	26.7%	16.0%	18.7%	11.2%	2.7%	2.1%	0.5%
	40歳代 (n=252)	9.1%	4.8%	13.1%	19.0%	15.9%	18.7%	11.1%	4.8%	3.6%	
	50歳代 (n=220)	6.8%	5.5%	10.9%	16.8%	16.8%	18.2%	10.9%	5.9%	6.8%	1.4%
	60歳代 (n=344)	5.8%	5.2%	14.2%	14.8%	16.0%	15.1%	12.2%	7.3%	8.4%	0.9%
	70歳以上 (n=431)	2.3%	7.0%	12.5%	15.1%	16.7%	14.4%	9.5%	7.2%	12.1%	3.2%
	職業別	農林漁業 (n=13)	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	15.4%	30.8%		7.7%	
自営業 (n=84)		6.0%	8.3%	17.9%	19.0%	11.9%	10.7%	13.1%	4.8%	6.0%	2.4%
専門職 (n=73)		8.2%	1.4%	15.1%	27.4%	15.1%	15.1%	9.6%	2.7%	2.7%	2.7%
会社員 (n=385)		9.4%	4.4%	12.2%	20.8%	16.1%	16.1%	12.5%	2.6%	5.5%	0.5%
公務員 (n=66)		13.6%	4.5%	7.6%	33.3%	15.2%	13.6%	7.6%	3.0%		1.5%
パート・アルバイト (n=184)		6.5%	6.5%	7.6%	11.4%	20.7%	22.8%	10.9%	6.0%	7.6%	
専業主婦 (n=269)		3.0%	5.2%	14.9%	17.5%	15.6%	18.6%	10.8%	7.1%	4.8%	2.6%
学生 (n=40)		22.5%		15.0%	20.0%	12.5%	2.5%	15.0%	10.0%		2.5%
無職 (n=404)		2.5%	6.7%	12.6%	14.9%	17.3%	13.1%	9.4%	8.9%	12.9%	1.7%
その他 (n=31)		19.4%	6.5%	16.1%	6.5%	32.3%	6.5%	9.7%	3.2%		
居住年数		1年未満 (n=26)	11.5%	11.5%	38.5%	7.7%	15.4%	3.8%	[値]	3.8%	3.8%
	1年以上5年未満 (n=80)	6.3%	10.0%	11.3%	26.3%	17.5%	17.5%	5.0%	2.5%	2.5%	1.3%
	5年以上10年未満 (n=83)	6.0%	4.8%	13.3%	22.9%	15.7%	18.1%	10.8%	1.2%	7.2%	
	10年以上20年未満 (n=157)	10.2%	7.6%	12.1%	17.2%	15.9%	13.4%	15.3%	4.5%	3.8%	
	20年以上30年未満 (n=219)	8.7%	3.7%	11.4%	23.3%	18.7%	16.9%	7.3%	3.7%	4.6%	1.8%
	30年以上 (n=995)	5.3%	5.3%	12.4%	16.0%	15.6%	16.6%	11.2%	6.8%	9.1%	1.7%
居住地区別	大分中央 (n=112)	19.6%	21.4%	25.0%	20.5%	8.0%	2.7%	1.8%		0.9%	
	大分西部 (n=155)	14.2%	11.6%	27.7%	18.1%	12.9%	7.1%	3.2%	3.2%	0.6%	
	大分南部 (n=79)	10.1%	8.9%	8.9%	26.6%	10.1%	8.9%	12.7%	5.1%	7.6%	1.3%
	南大分 (n=160)	4.4%	6.3%	9.4%	23.8%	21.9%	13.8%	8.8%	3.1%	5.0%	3.8%
	大分東部 (n=134)	6.7%	3.0%	9.7%	24.6%	19.4%	13.4%	5.2%	6.7%	11.2%	2.0%
	明野地区 (n=100)	12.0%	19.0%	16.0%	19.0%	17.0%	6.0%	7.0%			
	鶴崎地区 (n=236)	3.4%	2.5%	8.1%	16.5%	16.1%	19.5%	16.5%	6.8%	9.7%	0.8%
	大南地区 (n=107)	3.7%	2.8%	8.4%	15.0%	27.1%	7.5%	5.6%	8.4%	3.7%	
	植田地区 (n=284)	4.9%	3.5%	12.3%	12.0%	16.9%	20.8%	12.7%	8.1%	6.7%	2.1%
	大在地区 (n=78)	3.8%	9.0%	17.9%	20.5%	17.9%	16.7%	6.4%	7.7%		
	坂ノ市地区 (n=56)	3.6%	3.6%	14.3%	17.9%	28.6%	8.9%	7.1%	14.3%	1.8%	
	佐賀関地区 (n=35)	5.7%	11.4%	2.9%	8.6%	8.6%	25.7%	8.6%	25.7%	2.9%	
	野津原地区 (n=15)	6.7%	13.3%	20.0%	20.0%	20.0%	13.3%	6.7%			

全体

性別

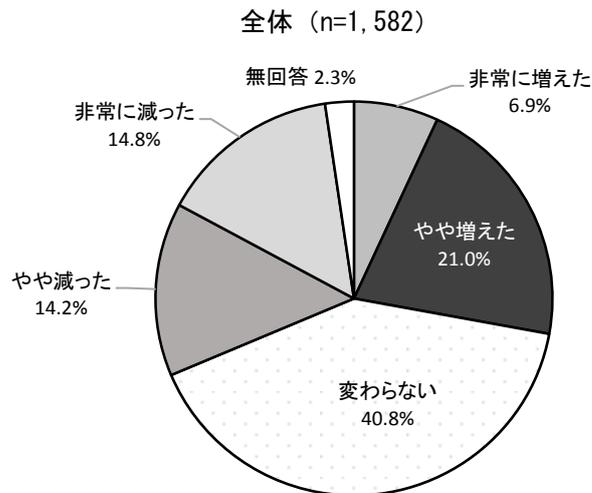
年齢別

職業別

居住年数別

居住地区別

イ 2、3年前と比べて、大分市中心市街地に行く頻度(買い物をする、しないに関係なく)はどのように変化しましたか。



2、3年前と比べての大分市中心街地に行く頻度の変化をみると、「変わらない」の割合が40.8%と最も高くなっています。一方、「非常に増えた」(6.9%)と「やや増えた」(21.0%)を合計した割合は27.9%で、「やや減った」(14.2%)、「非常に減った」(14.8%)を合計した割合は29.0%となっています。

【属性別特徴】

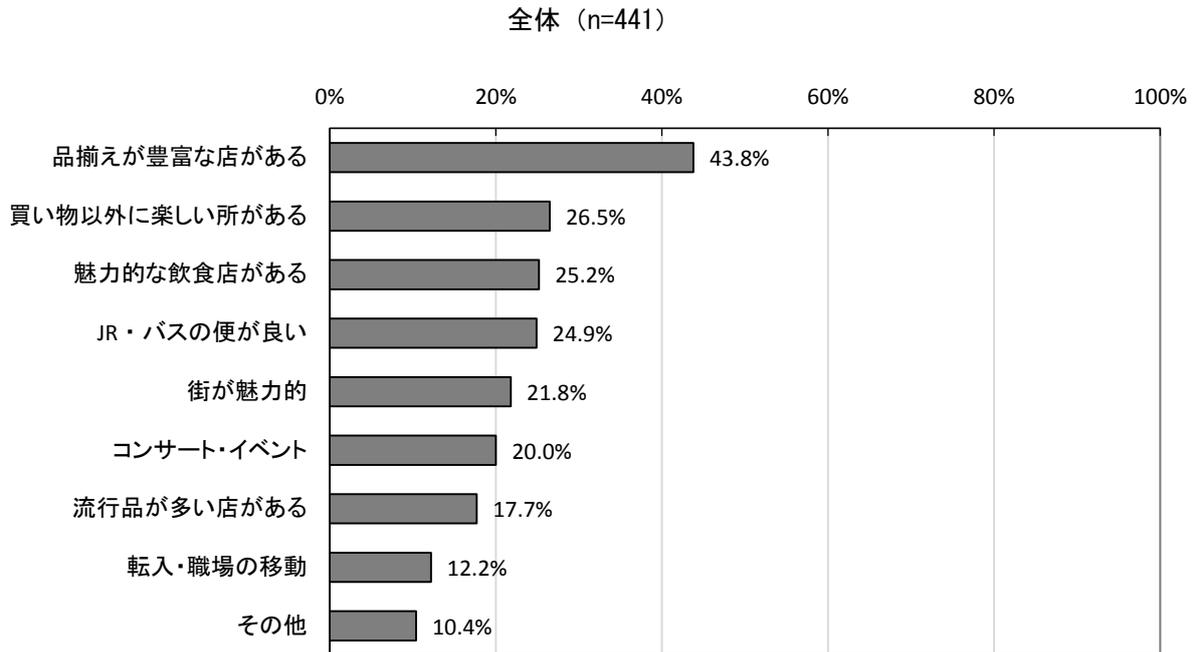
- 性別でみると「女性」が「男性」より大分市中心市街地に行く頻度が増加および減少の割合が高くなり、「変わらない」の割合が減少しています。
- 年齢別でみると若年層は極めて大分市中心市街地に行く頻度が増加しており、年齢が上がるにつれて行く頻度は減少傾向にあります。
- 職業別でみると大分市中心市街地に行く頻度の割合は「学生」が極めて増加しています。また、増加した割合が減少の割合よりも高い職業は差が大きい順に「学生」、「公務員」、「会社員」、「専門職」となっています。一方、「農林漁業」は中心市街地に行く頻度が増えた回答者はおらず、減少の割合が極めて高くなっています。
- 居住年数別でみると年数が短い方が大分市中心市街地に行く頻度が増加している傾向にあります。
- 居住地区別でみると「佐賀関地区」は、減少の割合が極めて高くなっています。一方、増加した割合が減少した割合よりも高い地区は差が大きい順に「大分中央」、「野津原地区」、「大分西部」、「大分南部」となっています。

(属性別)

		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
全体	項目	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> 非常に増えた やや増えた 変わらない やや減った 非常に減った 無回答 </div>						
			全体 (n=1582)	6.9%	21.0%	40.8%	14.2%	14.8%
性別	男性 (n=714)	5.3%	19.5%	46.6%	12.6%	14.3%		1.7%
	女性 (n=840)	8.2%	22.0%	36.0%	16.0%	15.6%		2.3%
年齢別	18・19歳 (n=21)		52.4%	14.3%	19.0%	9.5%	4.8%	
	20歳代 (n=103)	19.4%	29.1%	29.1%	10.7%	9.7%		1.9%
	30歳代 (n=187)	8.0%	28.3%	39.0%	13.4%	10.2%		1.1%
	40歳代 (n=252)	8.3%	25.8%	41.3%	10.3%	13.5%		0.8%
	50歳代 (n=220)	4.5%	22.7%	49.5%	10.0%	11.8%		1.4%
	60歳代 (n=344)	5.2%	16.6%	44.5%	16.9%	15.7%		1.2%
	70歳以上 (n=431)	3.0%	15.5%	37.8%	18.3%	20.9%	4.4%	
職業別	農林漁業 (n=13)	15.4%	30.8%	46.2%		7.7%		
	自営業 (n=84)	7.1%	17.9%	41.7%	19.0%	11.9%		2.4%
	専門職 (n=73)	4.1%	28.8%	34.2%	13.7%	17.8%		1.4%
	会社員 (n=385)	9.1%	24.4%	45.2%	10.1%	10.1%		1.0%
	公務員 (n=66)	9.1%	30.3%	42.4%	9.1%	7.6%		1.5%
	パート・アルバイト (n=184)	5.4%	20.1%	45.1%	13.0%	14.7%		1.6%
	専業主婦 (n=269)	5.9%	19.7%	35.3%	18.6%	17.8%		2.6%
	学生 (n=40)		37.5%	22.5%	20.0%	7.5%	10.0%	2.5%
	無職 (n=404)	3.7%	16.8%	41.8%	16.3%	18.3%		3.0%
	その他 (n=31)	6.5%	12.9%	45.2%	16.1%	19.4%		
居住年数別	1年未満 (n=26)	15.4%	34.6%	38.5%		11.5%		
	1年以上5年未満 (n=80)	17.5%	23.8%	37.5%	11.3%	7.5%		2.5%
	5年以上10年未満 (n=83)	10.8%	27.7%	32.5%	15.7%	13.3%		
	10年以上20年未満 (n=157)	14.6%	31.8%	33.1%	10.2%	9.6%		0.6%
	20年以上30年未満 (n=219)	7.3%	21.9%	44.7%	13.2%	10.5%		2.3%
30年以上 (n=995)	4.1%	17.7%	42.2%	15.9%	18.0%		2.1%	
居住地区別	大分中央 (n=112)	13.4%	25.9%	41.1%	13.4%	5.4%		0.9%
	大分西部 (n=155)	11.0%	24.5%	42.6%	15.5%	5.8%		0.6%
	大分南部 (n=79)	11.4%	22.8%	34.2%	12.7%	16.5%		2.5%
	南大分 (n=160)	4.4%	24.4%	39.4%	16.9%	11.3%	3.8%	
	大分東部 (n=134)	6.7%	21.6%	39.6%	13.4%	17.9%		0.7%
	明野地区 (n=100)	4.0%	16.0%	47.0%	16.0%	17.0%		
	鶴崎地区 (n=236)	3.8%	20.8%	47.0%	11.9%	13.6%		3.0%
	大南地区 (n=107)	6.5%	15.0%	46.7%	14.0%	15.9%		1.9%
	植田地区 (n=284)	7.4%	18.3%	35.9%	15.5%	20.4%		2.5%
	大在地区 (n=78)	5.1%	21.8%	38.5%	10.3%	21.8%		2.6%
	坂ノ市地区 (n=56)	5.4%	23.2%	37.5%	16.1%	16.1%		1.8%
	佐賀関地区 (n=35)	5.7%	5.7%	34.3%	20.0%	28.6%	5.7%	
	野津原地区 (n=15)		40.0%	40.0%	6.7%	13.3%		

※大分市中心市街地に行く頻度が「非常に増えた」、「やや増えた」と回答した方

イ-① 大分市中心市街地に行く頻度が増えた理由は何ですか。(当てはまるものすべて選んでください)



大分市中心市街地に行く頻度が増えた理由は、「品揃えが豊富な店がある」が43.8%と最も高く、次いで「買い物以外に楽しい所がある」、「魅力的な飲食店がある」「JR・バスの便が良い」と続いています。

【属性別特徴】

- 性別でみると男女ともに「品揃えが豊富な店がある」が最も高くなっています。
- 年齢別でみると「70歳以上」は「JR・バスの便が良い」の回答が最も高く、その他全ての年齢で「品揃えが豊富な店がある」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「自営業」「専門職」「会社員」「公務員」「パート・アルバイト」「専業主婦（主夫）」「学生」は「品揃えが豊富な店がある」、「無職」は「JR・バスの便が良い」、「その他」は「魅力的な飲食店がある」が最も高くなっています。「農林漁業」は頻度が増えた回答者はいません。
- 居住年数別でみると「1年未満」は「転入・職場の移動」、その他全ての居住年数において「品揃えが豊富な店がある」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「大分東部」「佐賀関地区」は「JR・バスの便が良い」、「大南地区」は「コンサート・イベント」、「野津原地区」は「街が魅力的」と「流行品が多い店がある」、その他（佐賀関地区含む）は「品揃えが豊富な店がある」が最も高くなっています。「大分南部」は「魅力的な飲食店がある」も同率で高くなっています。

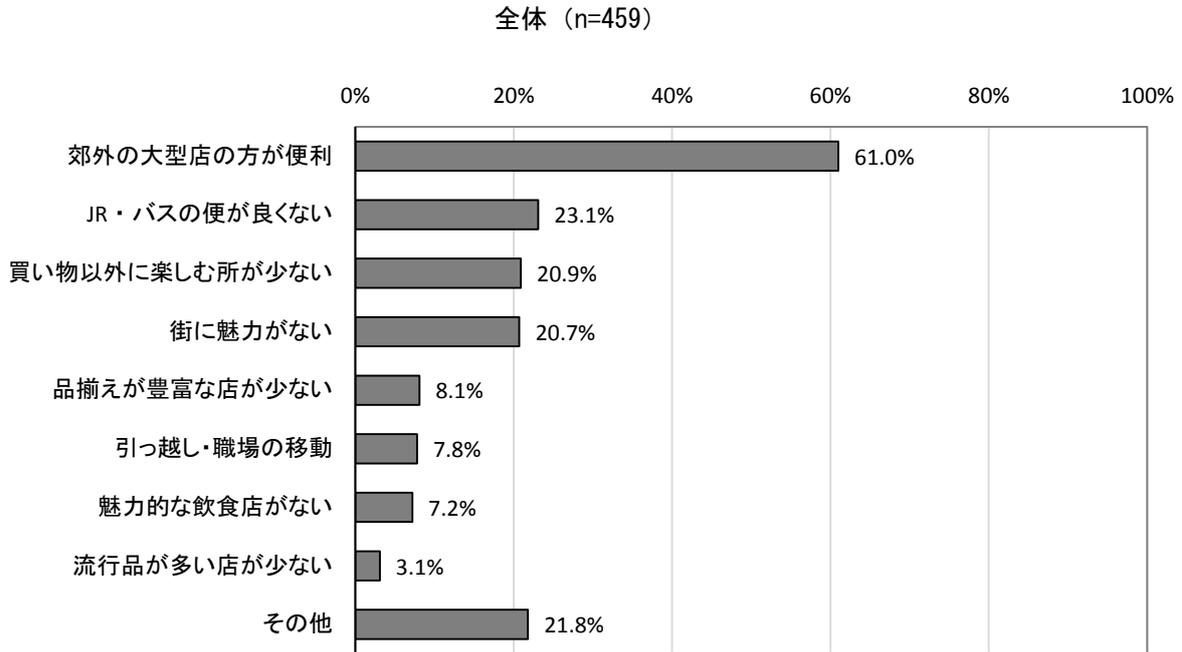
(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	転入・職場の移動	JR・バスの便が良い	街が魅力的	流行品が多い店がある	品揃えが豊富な店がある	買い物以外に楽しい所がある	魅力的な飲食店がある	コンサート・イベント	その他
全体		441	12.2	24.9	21.8	17.7	43.8	26.5	25.2	20.0	10.4
性別	男	177	10.7	28.2	27.7	18.1	43.5	28.2	29.9	19.8	6.2
	女	254	13.0	22.0	17.3	17.7	44.9	25.2	22.0	20.9	13.4
年齢別	18・19歳	14	7.1	21.4	21.4	7.1	42.9	14.3	14.3	0.0	28.6
	20歳代	50	18.0	10.0	26.0	26.0	56.0	20.0	22.0	12.0	10.0
	30歳代	68	17.6	13.2	20.6	25.0	69.1	23.5	27.9	20.6	7.4
	40歳代	86	12.8	11.6	26.7	24.4	45.3	26.7	22.1	20.9	11.6
	50歳代	60	11.7	16.7	25.0	21.7	48.3	30.0	35.0	13.3	11.7
	60歳代	75	12.0	36.0	21.3	12.0	38.7	33.3	32.0	32.0	9.3
	70歳以上	80	3.8	53.8	12.5	5.0	18.8	26.3	17.5	22.5	8.8
職業別	農林漁業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	自営業	21	9.5	28.6	14.3	4.8	38.1	33.3	28.6	23.8	9.5
	専門職	24	0.0	8.3	20.8	20.8	54.2	16.7	20.8	16.7	16.7
	会社員	129	16.3	20.2	28.7	24.0	50.4	27.1	34.1	20.9	6.2
	公務員	26	42.3	0.0	26.9	23.1	53.8	23.1	30.8	19.2	7.7
	パート	47	8.5	12.8	21.3	19.1	46.8	25.5	14.9	21.3	10.6
	専業主婦	69	8.7	30.4	15.9	20.3	43.5	27.5	20.3	27.5	13.0
	学生	24	8.3	16.7	33.3	20.8	54.2	16.7	16.7	4.2	29.2
	無職	83	4.8	47.0	14.5	6.0	30.1	31.3	21.7	18.1	7.2
	その他	6	0.0	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	50.0	16.7	16.7
居住年数別	1年未満	13	53.8	7.7	0.0	30.8	46.2	7.7	15.4	7.7	7.7
	1～5年	33	30.3	12.1	18.2	18.2	42.4	18.2	21.2	18.2	21.2
	5～10年	32	15.6	34.4	25.0	18.8	56.3	28.1	31.3	21.9	3.1
	10～20年	73	9.6	19.2	28.8	19.2	53.4	26.0	24.7	20.5	8.2
	20～30年	64	12.5	20.3	34.4	31.3	50.0	26.6	20.3	14.1	9.4
	30年以上	217	6.9	29.5	16.6	12.9	38.7	28.6	27.6	23.0	11.1
居住地区別	大分中央	44	20.5	20.5	25.0	13.6	52.3	25.0	22.7	34.1	11.4
	大分西部	55	12.7	18.2	14.5	21.8	50.9	21.8	25.5	14.5	10.9
	大分南部	27	14.8	29.6	14.8	18.5	40.7	22.2	40.7	14.8	3.7
	南大分	46	10.9	23.9	37.0	15.2	41.3	30.4	26.1	21.7	8.7
	大分東部	38	13.2	44.7	18.4	13.2	36.8	34.2	26.3	15.8	5.3
	明野地区	20	5.0	25.0	30.0	15.0	50.0	25.0	15.0	25.0	20.0
	鶴崎地区	58	6.9	15.5	13.8	20.7	53.4	22.4	25.9	19.0	13.8
	大南地区	23	13.0	30.4	17.4	17.4	26.1	26.1	21.7	34.8	13.0
	植田地区	73	11.0	27.4	26.0	12.3	37.0	34.2	26.0	20.5	9.6
	大在地区	21	14.3	28.6	19.0	42.9	61.9	23.8	38.1	23.8	4.8
	坂ノ市地区	16	12.5	12.5	25.0	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0	18.8
	佐賀関地区	4	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
野津原地区	6	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	

◇Ⅲ 集計結果

※大分市中心市街地に行く頻度が「やや減った」、「非常に減った」と回答した方

イ-② 大分市中心市街地に行く頻度が減った理由は何ですか。
(当てはまるものすべて選んでください)



その他の主な意見	
駐車場料金が高い、あるいは数が足りない	36人
高齢になったため	16人
退職等により行く機会が減少	6人
行く必要がない	6人

大分市中心市街地に行く頻度が減った理由は、「郊外の大型店の方が便利」が最も高く、次いで「JR・バスの便が良くない」、「その他」と続いています。

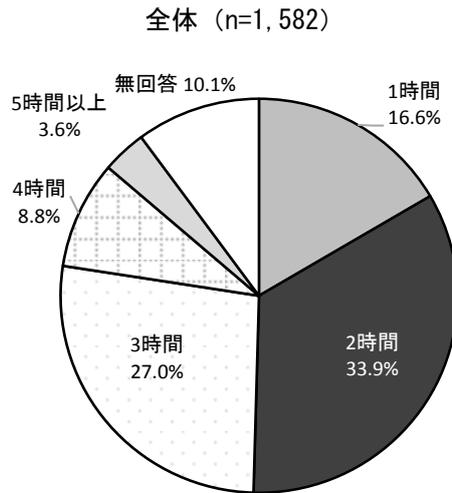
【属性別特徴】

- 性別でみると男女ともに「郊外の大型店の方が便利」が最も高くなっています。
- 年齢別でみると18～20歳代は、「その他」、30歳以上は「郊外の大型店の方が便利」が最も高くなっています。
- 職業別でみると「学生」は「JR・バスの便が良くない」、その他全ての職業において「郊外の大型店の方が便利」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると「1～5年」は、「買い物以外に楽しむ所が少ない」と「その他」、5年以上は「郊外の大型店の方が便利」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると全ての地区において、「郊外の大型店の方が便利」が最も高くなっています。なお、「佐賀関地区」は、「JR・バスの便が良くない」も同様に高くなっています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	引越し・職場の移動	JR・バスの便が良くない	街に魅力がない	流行品が多い店が少ない	品揃えが豊富な店が少ない	買い物以外に楽しむ所がない	魅力的な飲食店がない	郊外の大型店の方が便利	その他
全体		459	7.8	23.1	20.7	3.1	8.1	20.9	7.2	61.0	21.8
性別	男	192	8.3	20.8	24.5	3.6	8.9	22.4	7.3	61.5	21.9
	女	265	7.5	24.2	17.7	2.6	7.5	20.0	7.2	60.8	21.9
年齢別	18・19歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	20歳代	21	23.8	28.6	9.5	4.8	4.8	23.8	9.5	28.6	33.3
	30歳代	44	6.8	20.5	31.8	13.6	18.2	29.5	11.4	47.7	38.6
	40歳代	60	10.0	20.0	18.3	3.3	11.7	18.3	8.3	68.3	26.7
	50歳代	48	18.8	31.3	25.0	4.2	10.4	16.7	10.4	79.2	4.2
	60歳代	112	8.0	25.9	24.1	0.9	4.5	20.5	6.3	72.3	19.6
	70歳以上	169	2.4	20.1	16.0	0.6	5.9	20.1	5.3	53.8	20.1
職業別	農林漁業	10	10.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	70.0	40.0
	自営業	26	0.0	19.2	34.6	3.8	19.2	19.2	19.2	69.2	19.2
	専門職	23	8.7	8.7	26.1	8.7	17.4	34.8	8.7	56.5	26.1
	会社員	78	15.4	25.6	20.5	6.4	14.1	19.2	7.7	62.8	24.4
	公務員	11	18.2	18.2	18.2	0.0	0.0	9.1	18.2	63.6	18.2
	パート	51	7.8	25.5	19.6	0.0	2.0	21.6	9.8	64.7	19.6
	専業主婦	98	8.2	25.5	12.2	3.1	5.1	16.3	4.1	64.3	23.5
	学生	7	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6
	無職	140	2.9	21.4	24.3	0.7	5.7	24.3	6.4	58.6	19.3
	その他	11	9.1	27.3	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	54.5	18.2
居住年数別	1年未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1～5年	15	13.3	20.0	20.0	6.7	13.3	33.3	6.7	26.7	33.3
	5～10年	24	12.5	12.5	8.3	0.0	8.3	20.8	8.3	45.8	25.0
	10～20年	31	6.5	25.8	19.4	3.2	6.5	22.6	16.1	51.6	25.8
	20～30年	52	11.5	25.0	11.5	1.9	1.9	17.3	3.8	51.9	34.6
	30年以上	337	6.8	23.4	23.1	3.3	8.9	20.8	6.8	65.9	18.7
居住地区別	大分中央	21	4.8	14.3	28.6	0.0	23.8	28.6	4.8	33.3	9.5
	大分西部	33	6.1	6.1	39.4	6.1	15.2	33.3	9.1	48.5	33.3
	大分南部	23	4.3	13.0	30.4	0.0	4.3	34.8	8.7	47.8	21.7
	南大分	45	6.7	17.8	22.2	0.0	8.9	22.2	8.9	62.2	22.2
	大分東部	42	14.3	16.7	31.0	2.4	11.9	9.5	2.4	57.1	19.0
	明野地区	33	0.0	27.3	12.1	0.0	3.0	21.2	12.1	63.6	27.3
	鶴崎地区	60	6.7	25.0	15.0	5.0	8.3	26.7	8.3	51.7	31.7
	大南地区	32	12.5	31.3	9.4	3.1	3.1	18.8	6.3	75.0	21.9
	植田地区	102	6.9	23.5	17.6	4.9	4.9	16.7	9.8	73.5	18.6
	大在地区	25	16.0	36.0	4.0	0.0	8.0	16.0	0.0	64.0	12.0
	坂ノ市地区	18	11.1	27.8	22.2	0.0	0.0	16.7	0.0	77.8	22.2
	佐賀関地区	17	11.8	47.1	23.5	0.0	0.0	11.8	0.0	47.1	17.6
野津原地区	3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	

ウ あなたが通勤・通学以外で大分市中心市街地に行った時、平均すると何時間滞在していますか。

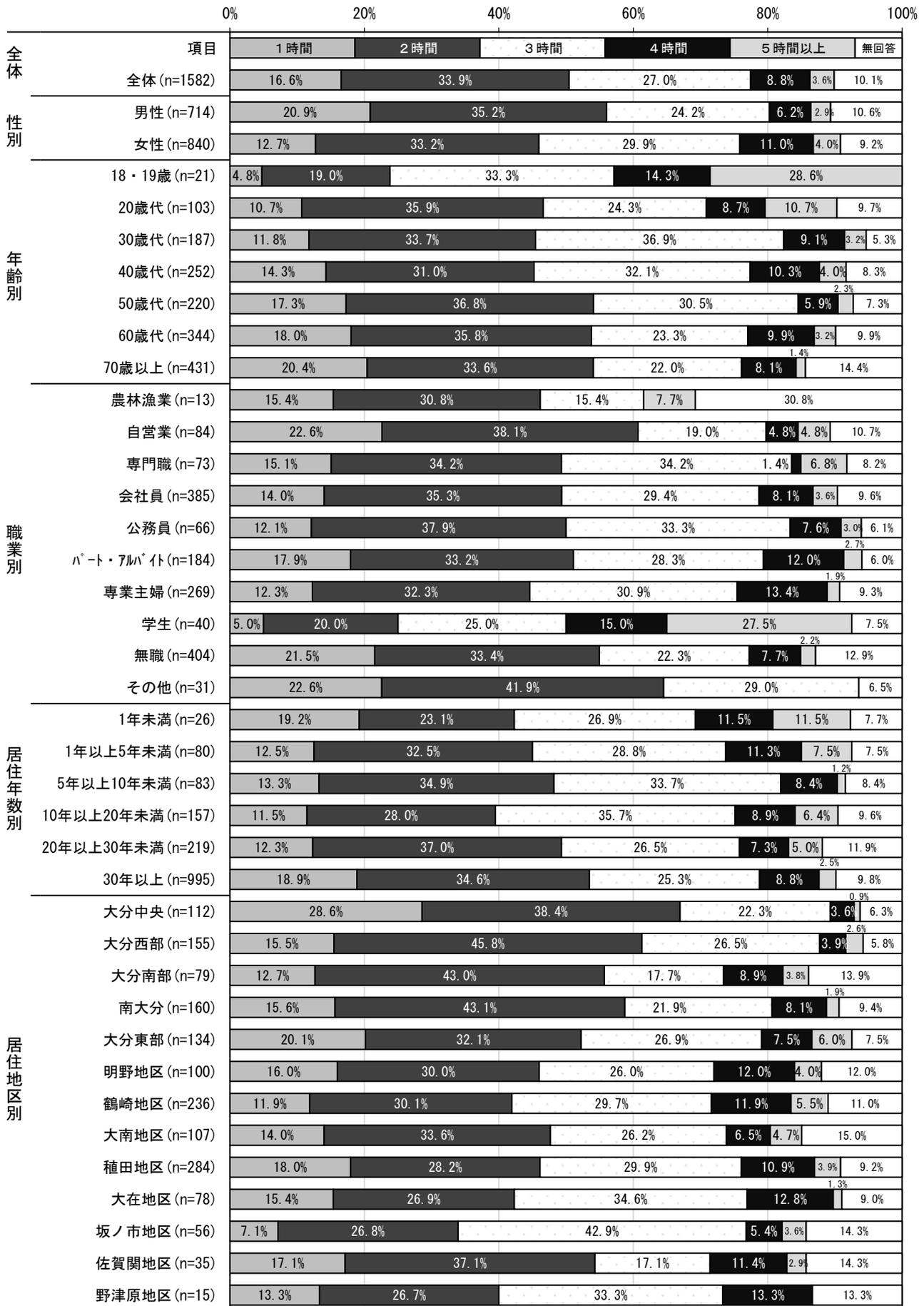


通勤・通学以外で大分市中心市街地での平均滞在時間は、「2時間」の33.9%が最も高く、次いで「3時間」(27.0%)、「1時間」(16.6%)となっています。

【属性別特徴】

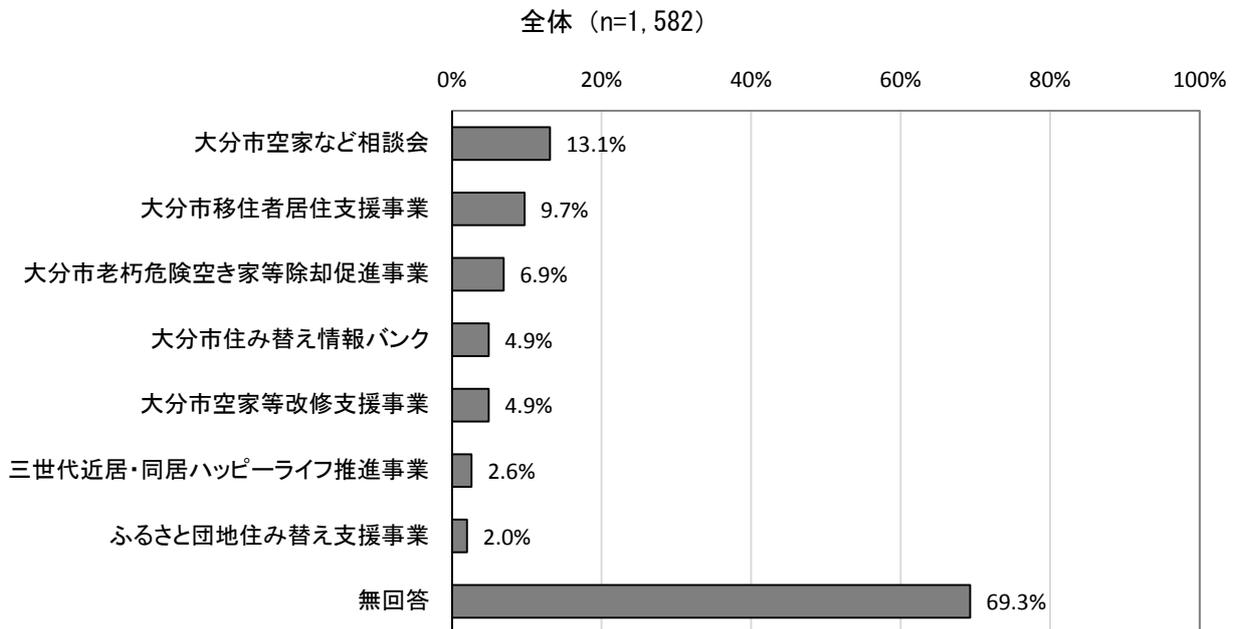
- 性別で見ると3時間以上の割合では「女性」が「男性」より高い傾向にあります。
- 年齢別で見ると3時間以上の割合では「18・19歳」が極めて高い傾向にあります。
- 職業別で見ると3時間以上の割合では「学生」が最も高く、「農林漁業」は最も低くなっています。
- 居住年数別で見ると3時間以上の割合では「10年以上20年未満」が最も高く、「30年以上」が最も低くなっています。
- 居住地区別で見ると3時間以上の割合では「坂ノ市地区」が最も高く、「大分中央」が最も低くなっています。さらに4時間以上では、「鶴崎地区」「明野地区」が高い傾向にあり、一方、2時間以内では「大分中央」、「大分西部」、「南大分」が高い傾向にあります。

(属性別)



(7) 空家対策について

ア 大分市が行っている空家対策について知っている事業はありますか。(当てはまるものすべて選んでください)



大分市が行っている空家対策の事業認知度は、「無回答」の割合が69.3%と極めて高く認知度が低い状況にあることがうかがえます。事業の中では、「大分市空家など相談会」が最も高く13.1%、次いで「大分市移住者居住支援事業」が9.7%となっています。

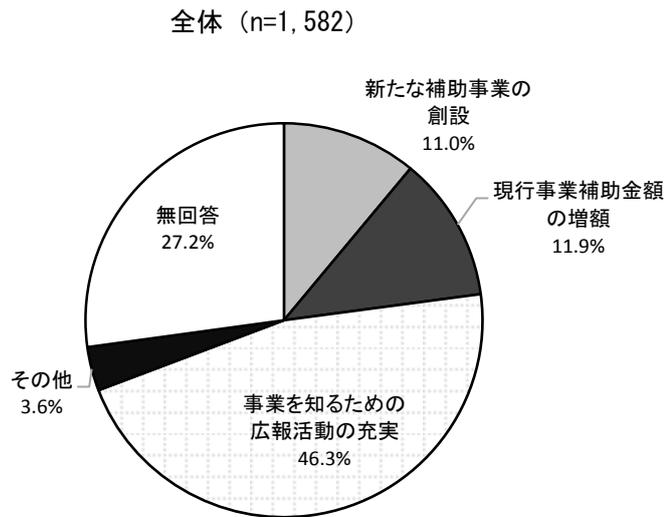
【属性別特徴】 ※無回答が多数のため、認知されている事業に関する特徴です。

- 性別でみると大分市が行っている空家対策事業は、男女とも「大分市空家など相談会」が最も高くなっています。
- 年齢別でみると18～20歳代は、「三世代近居・同居ハッピーライフ推進事業」、その他の年齢は「大分市空家など相談会」が最も高くなっています。また、「30歳代」、「60歳代」は、「大分市移住者居住支援事業」も同率で高くなっています。
- 職業別でみると「自営業」は「大分市移住者居住支援事業」「大分市老朽危険空き家等除却促進事業」、「学生」は「三世代近居・同居ハッピーライフ推進事業」、その他の職業は「大分市空家など相談会」が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると「1年以上5年未満」と「10年以上20年未満」は、「大分市移住者居住支援事業」、その他の年数では「大分市空家など相談会」が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「大分南部」は「大分市移住者居住支援事業」、それ以外の地区は、「大分市空家など相談会」が最も高くなっています。さらに「佐賀関地区」は「大分市老朽危険空き家等除却促進事業」も最も高くなっています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%	サンプル数	大分市空家など相談会	大分市住み替え情報バンク	業 大分市空家等改修支援事	業 大分市移住者居住支援事	除却促進事業 大分市老朽危険空き家等	援事業 ふるさと団地住み替え支	三世代近居・同居ハッピー ライフ推進事業	(参考)無回答	
全体	1,582	13.1	4.9	4.9	9.7	6.9	2.0	2.6	69.3	
性別	男	714	13.7	5.3	5.6	9.9	8.8	1.7	2.1	67.8
	女	840	12.5	4.5	3.9	9.5	5.5	2.1	2.7	70.7
年齢別	18・19歳	21	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	9.5	76.2
	20歳代	103	4.9	3.9	2.9	3.9	2.9	1.9	5.8	79.6
	30歳代	187	7.5	6.4	2.1	7.5	2.1	0.5	3.7	77.0
	40歳代	252	13.1	8.3	3.6	6.3	5.6	2.8	1.6	73.4
	50歳代	220	15.9	7.3	4.5	11.4	2.7	1.4	1.4	67.3
	60歳代	344	14.5	2.6	5.5	14.5	12.2	3.5	2.9	63.1
	70歳以上	431	15.8	3.2	6.7	9.7	9.3	0.9	1.6	66.8
職業別	農林漁業	13	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6
	自営業	84	10.7	7.1	9.5	13.1	13.1	0.0	2.4	65.5
	専門職	73	6.8	2.7	1.4	4.1	2.7	1.4	1.4	83.6
	会社員	385	12.2	5.7	4.2	7.8	6.5	1.8	3.1	72.2
	公務員	66	15.2	9.1	9.1	6.1	4.5	1.5	1.5	69.7
	パート	184	13.6	4.3	1.6	6.5	2.7	3.3	4.3	70.1
	専業主婦	269	14.1	4.8	3.3	12.6	5.6	1.5	1.1	67.3
	学生	40	7.5	7.5	0.0	7.5	2.5	5.0	10.0	67.5
	無職	404	15.3	3.7	7.2	13.1	10.9	2.0	1.7	64.1
	その他	31	12.9	3.2	6.5	6.5	6.5	3.2	3.2	83.9
居住年数別	1年未満	26	19.2	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	76.9
	1～5年	80	6.3	7.5	1.3	10.0	3.8	1.3	3.8	73.8
	5～10年	83	9.6	6.0	4.8	7.2	7.2	6.0	4.8	69.9
	10～20年	157	10.2	5.7	3.8	12.7	6.4	1.9	2.5	70.7
	20～30年	219	9.6	4.1	4.6	6.4	4.6	2.3	3.2	74.4
	30年以上	995	15.2	4.7	5.4	10.5	8.0	1.6	2.0	67.2
居住地区別	大分中央	112	12.5	8.0	8.0	7.1	11.6	1.8	0.9	67.0
	大分西部	155	11.6	4.5	5.2	11.0	5.8	0.6	0.6	72.9
	大分南部	79	7.6	1.3	2.5	8.9	7.6	3.8	3.8	75.9
	南大分	160	11.3	2.5	3.1	7.5	5.0	3.1	1.9	72.5
	大分東部	134	13.4	10.4	4.5	11.9	7.5	1.5	2.2	64.9
	明野地区	100	13.0	5.0	3.0	6.0	8.0	0.0	4.0	74.0
	鶴崎地区	236	14.0	5.9	7.2	11.9	7.2	0.8	1.7	68.2
	大南地区	107	16.8	4.7	5.6	10.3	6.5	0.9	2.8	68.2
	植田地区	284	13.7	3.9	3.5	10.9	5.3	2.8	2.8	69.7
	大在地区	78	11.5	2.6	3.8	7.7	5.1	2.6	3.8	71.8
	坂ノ市地区	56	17.9	3.6	1.8	8.9	7.1	3.6	7.1	60.7
	佐賀関地区	35	20.0	2.9	5.7	8.6	20.0	0.0	2.9	54.3
野津原地区	15	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	73.3	

イ 今後、空き家対策として、大分市に力を入れてもらいたいことは何ですか。

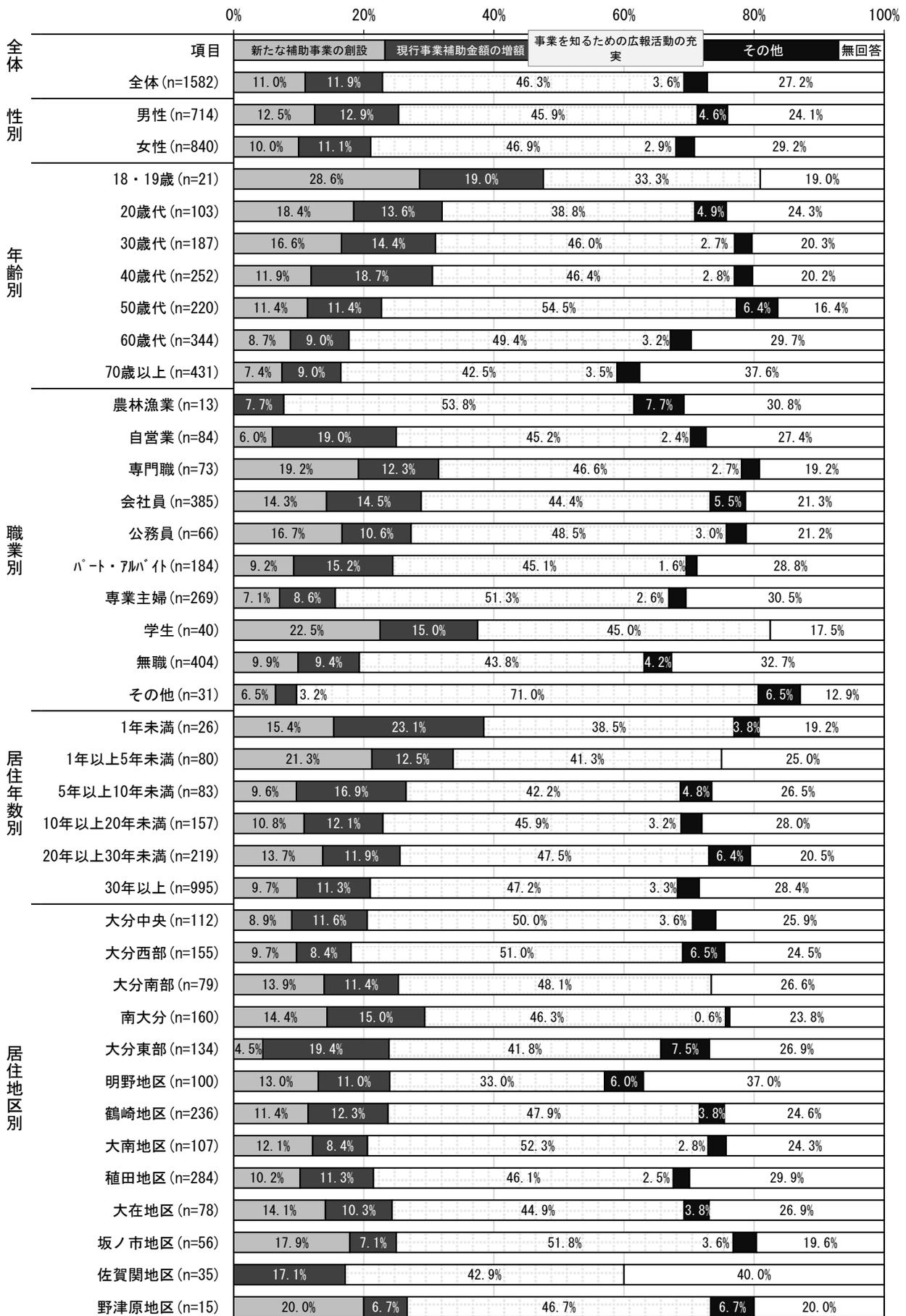


空き家対策として大分市に力を入れてもらいたいことは、「事業を知るための広報活動の充実」が46.3%と最も高く、次いで「現行事業補助金額の増額」が11.9%となっています。

【属性別特徴】

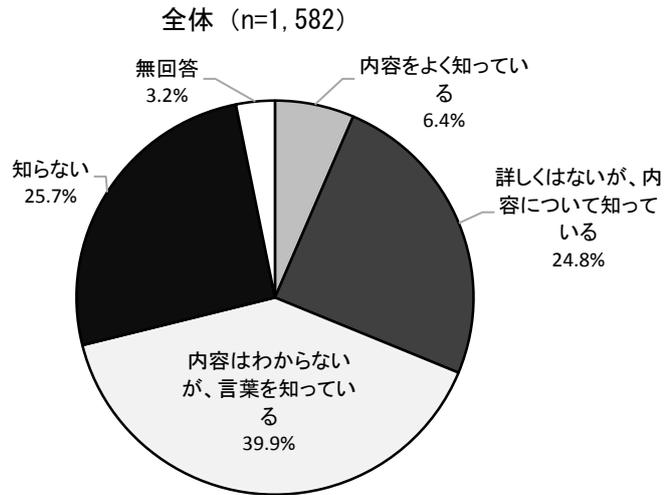
- 性別で見ると全ての項目においてほぼ同じ傾向にあります。
- 年齢別で見ると全ての年齢において「事業を知るための広報活動の充実」が最も高い割合となっています。また、「新たな補助事業の創設」は若い層ほど高い傾向にあります。
- 職業別で見ると全ての職業において「事業を知るための広報活動の充実」が最も高い割合となっています。
- 居住年数別で見ると全ての年数において「事業を知るための広報活動の充実」が最も高い割合となっています。
- 居住地区別で見ると全ての居住地区において「事業を知るための広報活動の充実」が最も高い割合となっています。

(属性別)

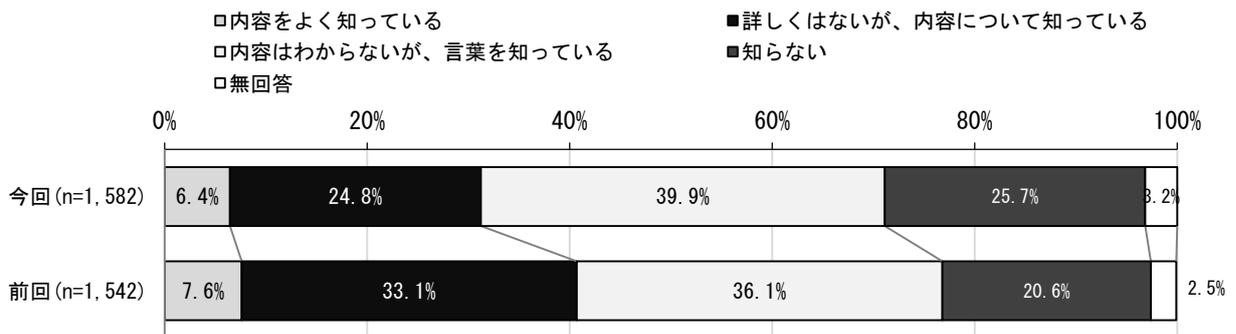


(8) 男女共同参画社会について

ア 「男女共同参画社会」について知っていますか。



前回調査結果との比較



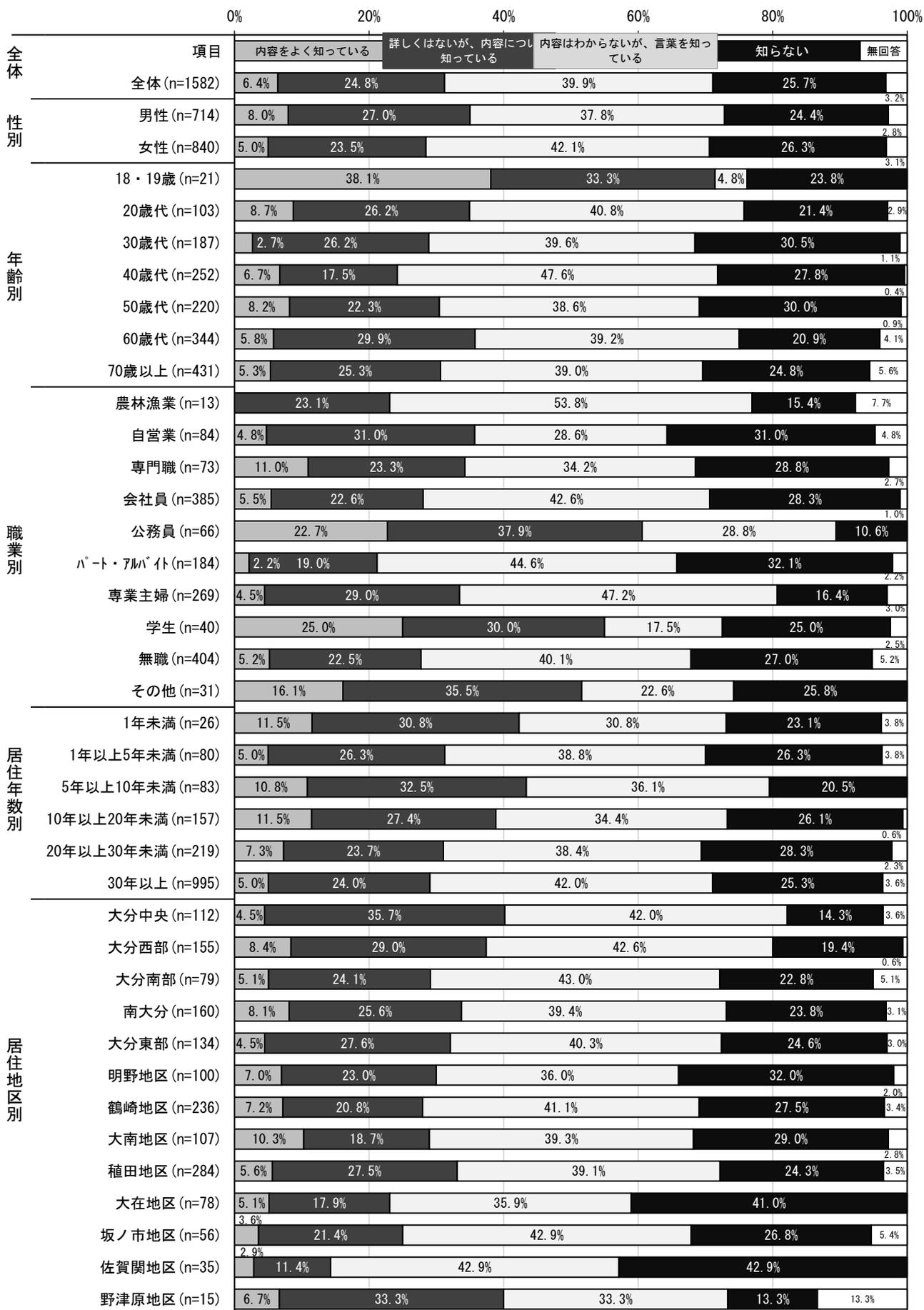
男女共同参画社会について、「内容をよく知っている」は、6.4%、「詳しくはないが、内容について知っている」は24.8%、「内容はわからないが、言葉を知っている」は39.9%となっており、内容まで知っている割合は31.2%、言葉を知っている割合は71.1%となっています。

また、前回と比較すると「男女共同参画社会」について「知らない」の割合が高くなっています。

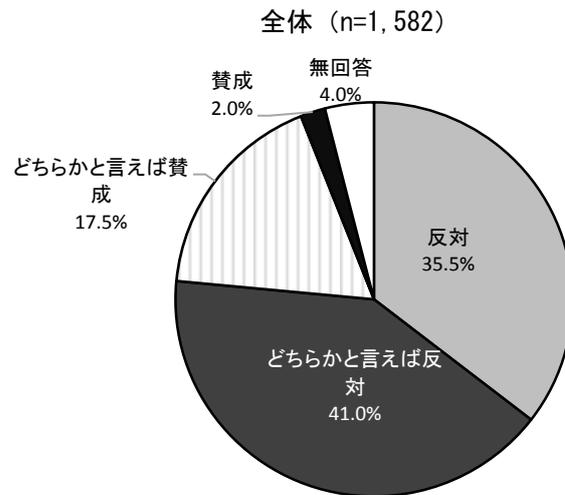
【属性別特徴】

- 性別でみると「男性」が「女性」に比べ「男女共同参画社会」について知っている割合が高い結果となっています。
- 年齢別でみると「18・19歳」は「内容をよく知っている」が他の年齢に比べて際立って高い特徴がみられます。また、「詳しくはないが、内容について知っている」も合わせると71.4%が内容について理解していることがうかがえます。
- 職業別でみると「内容をよく知っている」と「詳しくはないが、内容について知っている」を合わせた割合は、「公務員」「学生」「その他」が他の職業に比べて高くなっています。
- 居住年数別でみると「内容をよく知っている」と「詳しくはないが、内容について知っている」を合わせた割合は、「1年未満」と「5年以上10年未満」が他の年数に比べやや高くなっています。
- 居住地区別でみると「佐賀関地区」と「大在地区」は他の地区に比べて「男女共同参画社会」について「知らない」割合が高くなっています。

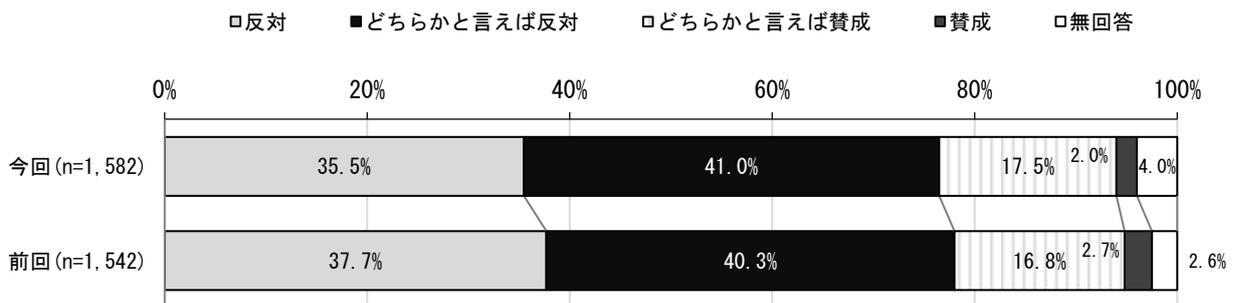
(属性別)



イ「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考えについてどうお考えですか。



前回調査結果との比較



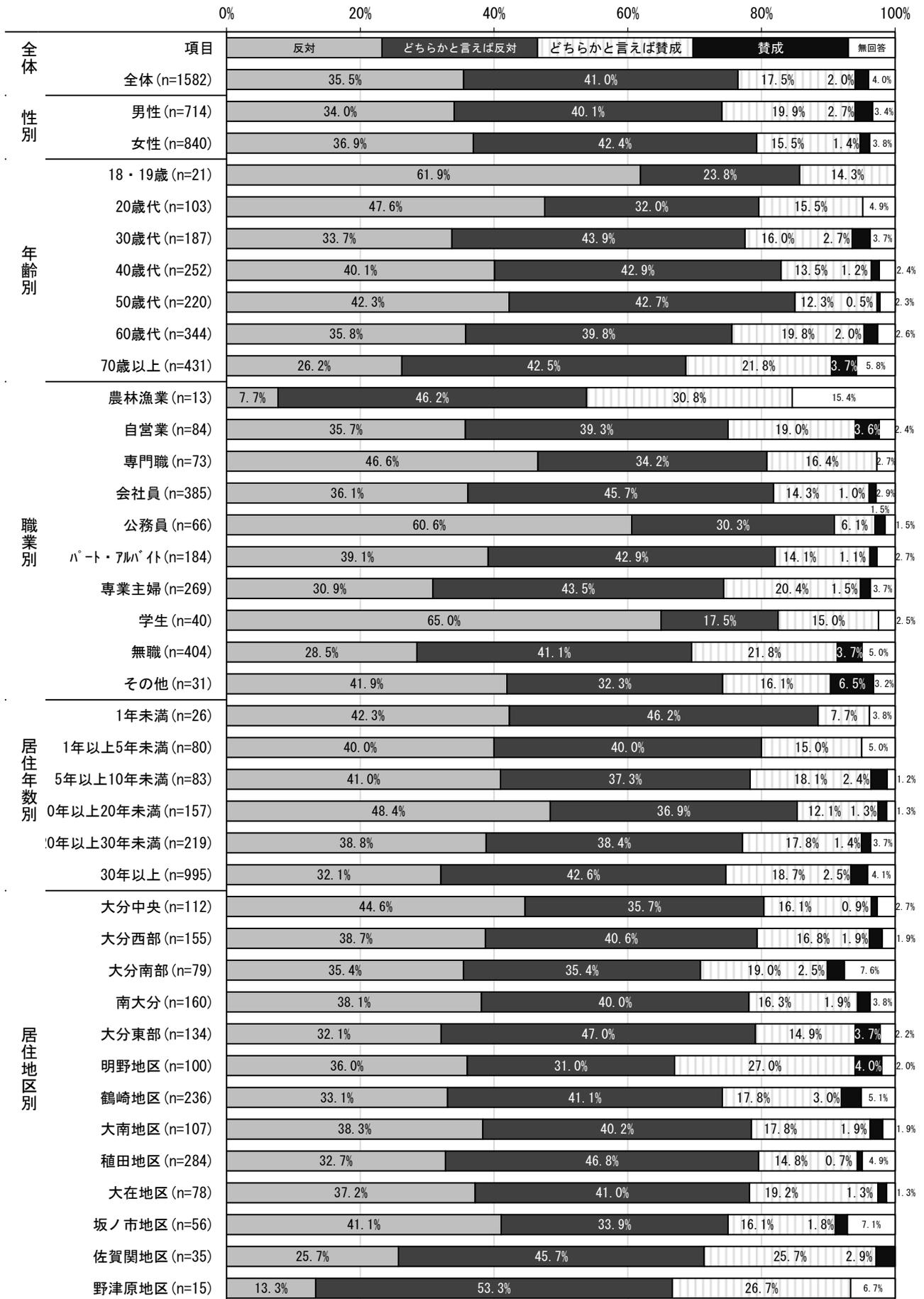
「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定した考え方について、反対（「反対」と「どちらかと言えば反対」の合計）の割合は、76.5%と明らかに反対の傾向が読み取れます。

また、前回と比較すると無回答が増え、反対（「反対」と「どちらかといえは反対」の合計）は若干低くなっているものの、賛成（「賛成」と「どちらかといえは賛成」）は変わらない結果となっています。

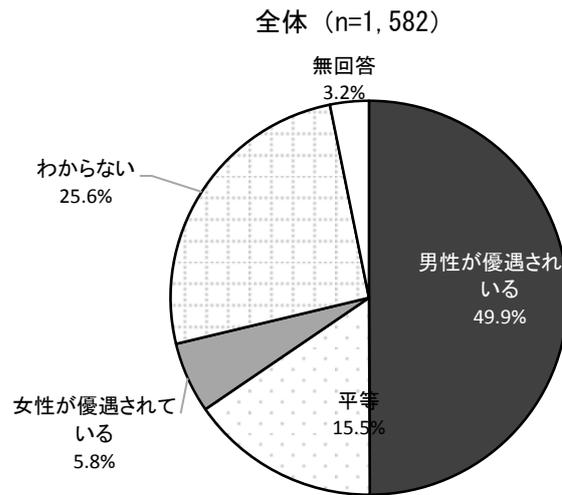
【属性別特徴】

- 性別でみると反対（「反対」と「どちらかと言えば反対」の合計）の割合は、「女性」が「男性」と比べてやや高くなっています。
- 年齢別でみると「18・19歳」「40歳代」「50歳代」は反対（「反対」と「どちらかと言えば反対」の合計）の割合が80%以上と特に高くなっています。
- 職業別でみると「農林漁業」は他の職業に比べて際立って反対（「反対」と「どちらかと言えば反対」の合計）の割合が低くなっています。
- 居住年数別でみると反対（「反対」と「どちらかと言えば反対」の合計）の割合が「1年未満」で最も高くなっています。
- 居住地区別でみると反対（「反対」と「どちらかと言えば反対」の合計）の割合が他の地区に比べて比較的低いのは、「野津原地区」や「明野地区」となっています。

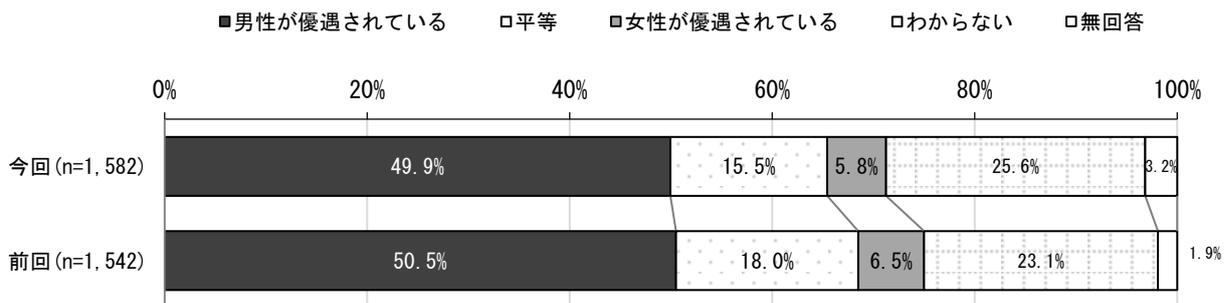
(属性別)



ウ 社会全体を通して、男女の意識や地位は平等になっていますか。



前回調査結果との比較



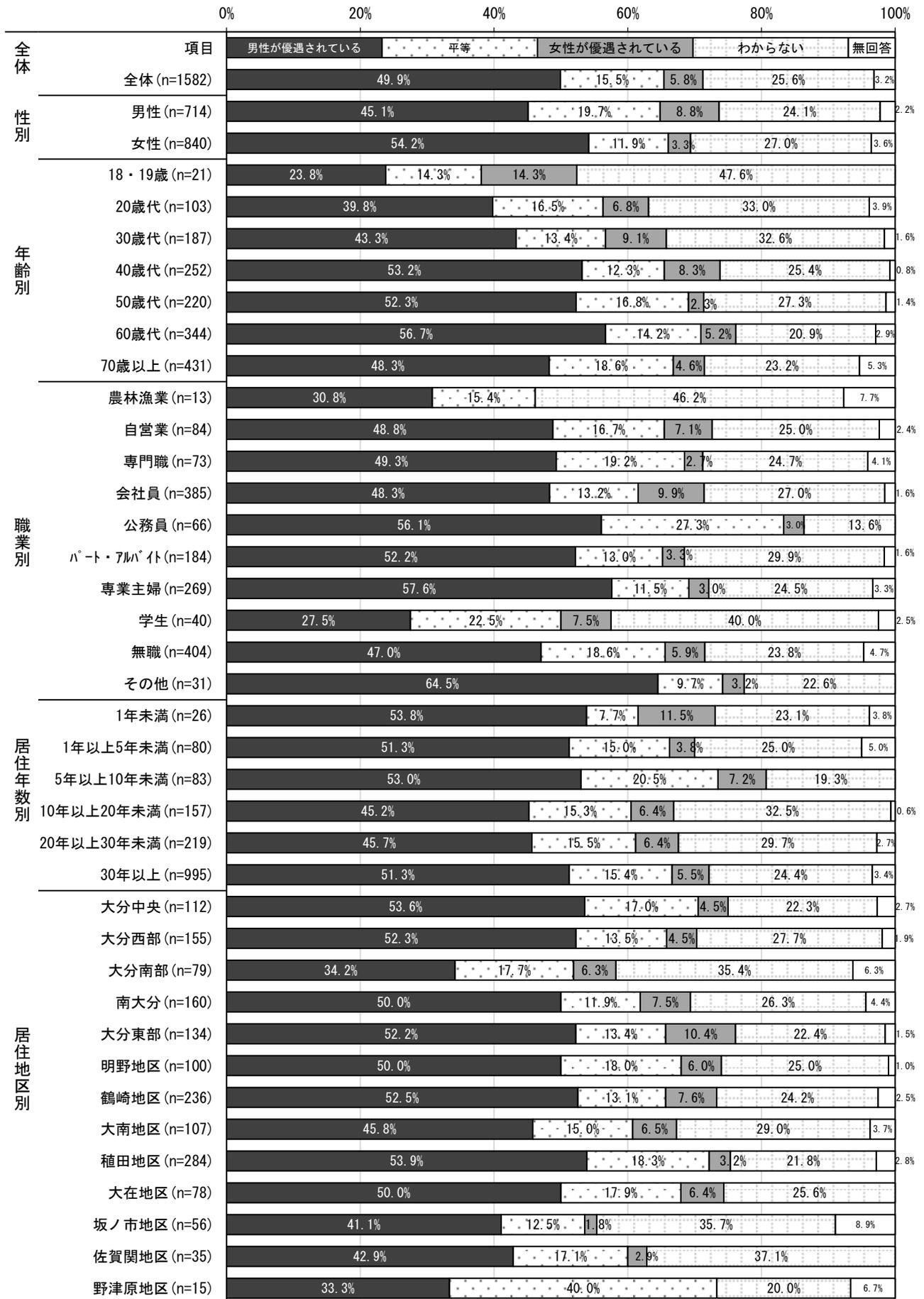
社会全体を通しての男女の意識や地位の平等感について、「男性が優遇されている」が49.9%と最も高く、次いで「わからない」の25.6%となっています。「平等」は、全体の15.5%にとどまっています。

また、前回と比較すると「わからない」の割合が増え、若干「男性が優遇されている」の割合は低くなったものの、「平等」の割合も低くなっています。

【属性別特徴】

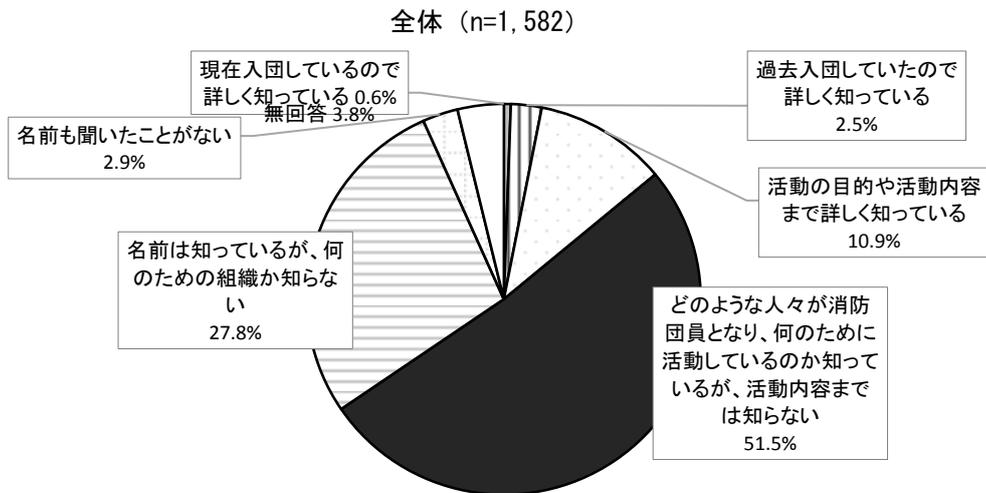
- 性別で見ると「男性」「女性」ともに「男性が優遇されている」の割合が最も高く、特に「女性」は54.2%となっています。「平等」の認識は「男性」が19.7%、「女性」が11.9%で不平等を感じているのは「女性」が顕著になっています。
- 年齢別で見ると「男性が優遇されている」の割合は、「60歳代」が最も高く、「18・19歳」が最も低くなっています。
- 職業別で見ると「男性が優遇されている」の割合で比べると、高い順では「その他」「専業主婦（主夫）」「公務員」となっています。
- 居住年数別で見ると「平等」の割合で比べると「5年以上10年未満」が他の年数に比べて高くなっています。
- 居住地区別で見ると「野津原地区」は「平等」、「大分南部」は「わからない」、その他の地区は「男性が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

(属性別)



(9) 消防団について

ア あなたは、消防団のことをどの程度知っていますか。

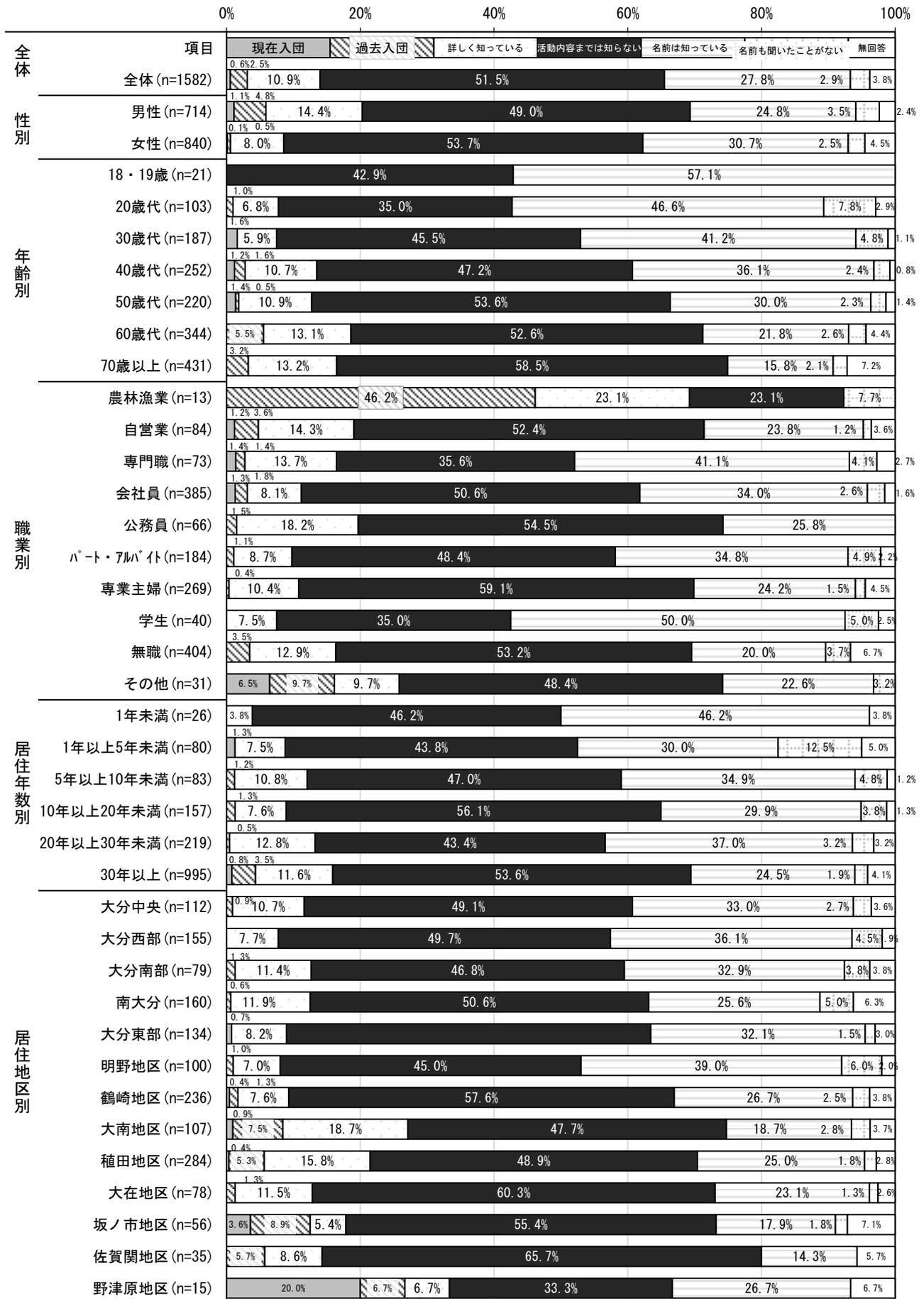


消防団の認知状況をみると詳しく知っている（「現在入団しているので詳しく知っている」、「過去入団していたので詳しく知っている」、「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の合計）が14.0%、「どのような人々が消防団員となり、何のために活動しているか知っているが、活動内容までは知らない」は51.5%、「名前は知っているが、何のための組織か知らない」は27.8%となっています。

【属性別特徴】

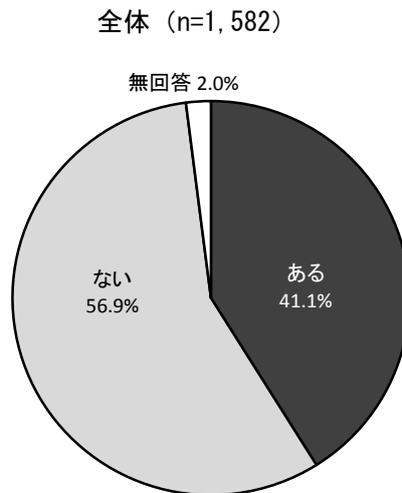
- 性別でみるとより詳しく知っている（「現在入団しているので詳しく知っている」、「過去入団していたので詳しく知っている」、「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の合計）と回答した割合は、「男性」が「女性」と比べて高くなっています。
- 年齢別でみると年齢が上がるにつれて詳しく知っている（「現在入団しているので詳しく知っている」、「過去入団していたので詳しく知っている」、「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の合計）割合が高い傾向にあります。
- 職業別でみると「農林漁業」は「過去入団していたので詳しく知っている」の割合が46.2%と際立って高くなっています。
- 居住年数別でみると年数が増えるにつれて詳しく知っている（「現在入団しているので詳しく知っている」、「過去入団していたので詳しく知っている」、「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の合計）割合が高い傾向にあります。
- 居住地区別で「現在入団しているので詳しく知っている」の割合をみると「野津原地区」が際立って高くなっています。また、「野津原地区」「大南地区」「植田地区」は、詳しく知っている（「現在入団しているので詳しく知っている」、「過去入団していたので詳しく知っている」、「活動の目的や活動内容まで詳しく知っている」の合計）割合が高い傾向がみられます。

(属性別)



(10) 消防車の利用について

ア あなたは、今までに救急車を呼んだことや誰かに呼んでもらったことがありますか。

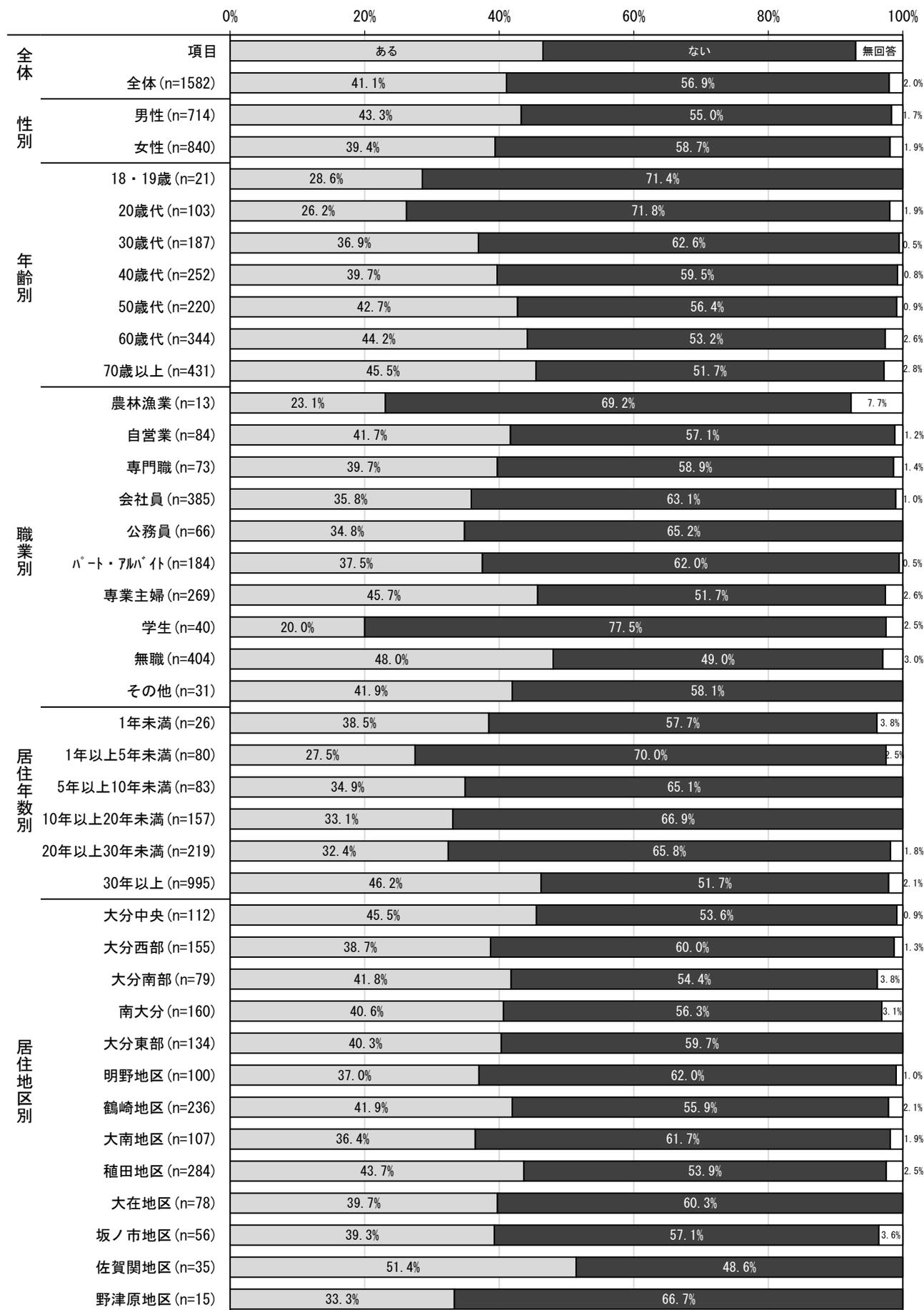


今までに救急車を呼んだことや誰かに呼んでもらったことの経験は、「ある」が41.1%、「ない」が56.9%となっています。

【属性別特徴】

- 性別で見ると「男性」が「女性」に比べて「ある」の割合が高くなっています。
- 年齢別で見ると年齢が上がるにつれて「ある」の割合が高くなる傾向にあります。
- 職業別で見ると「無職」と「専業主婦（主夫）」が「ある」の割合が高く、「学生」と「農林漁業」が低くなっています。
- 居住年数別で見ると「30年以上」が「ある」の割合が最も高く、「1年以上5年未満」が最も低くなっています。
- 居住地区別で見ると「佐賀関地区」が「ある」の割合が最も高く、「野津原地区」が最も低くなっています。

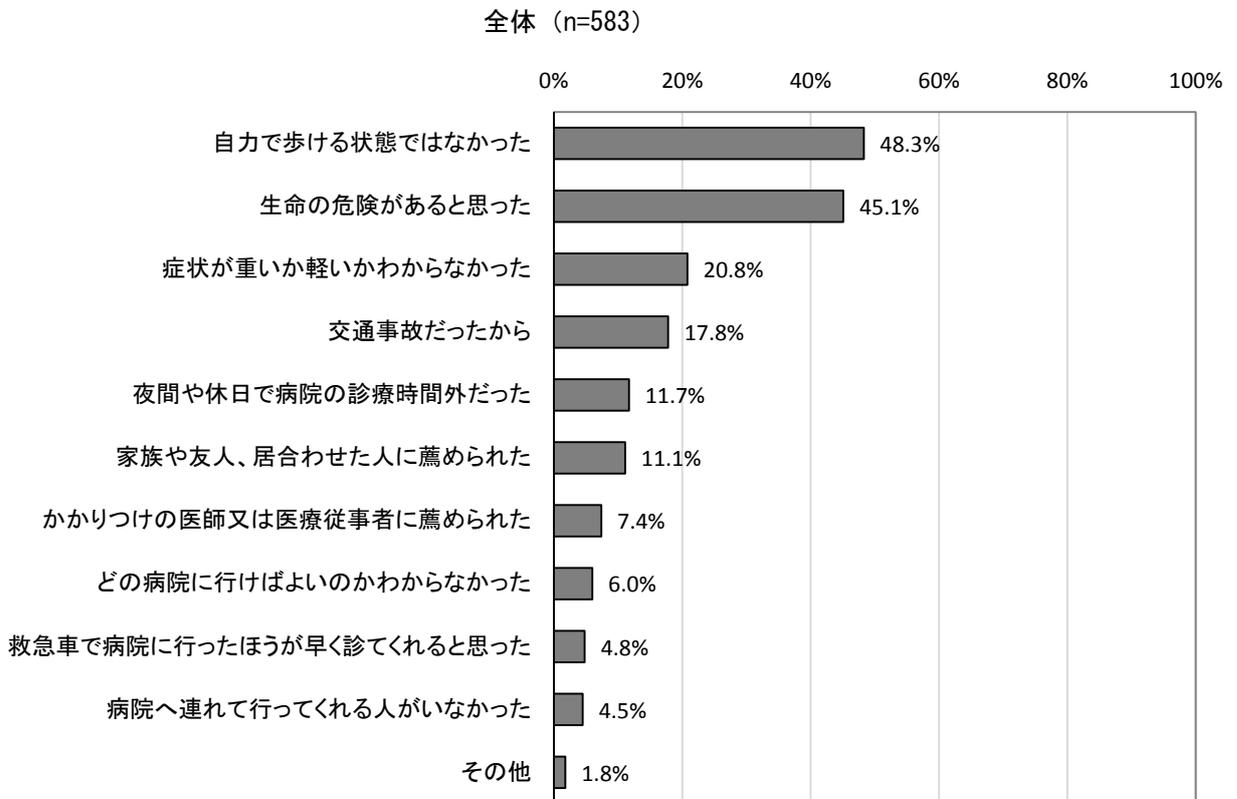
(属性別)



◇Ⅲ 集計結果

※今までに救急車を呼んだことや誰かに呼んでもらったことがあると回答した方

ア-① あなたが救急車を呼んだことや誰かに呼んでもらった理由を教えてください。(当てはまるものすべて選んでください)



救急車を呼んだことや誰かに呼んでもらった理由は、「自力で歩ける状態ではなかった」が48.3%で最も高く、次いで、「生命の危険があったと思った」(45.1%)、「症状が重いか軽いかわからなかった」(20.8%)となっています。

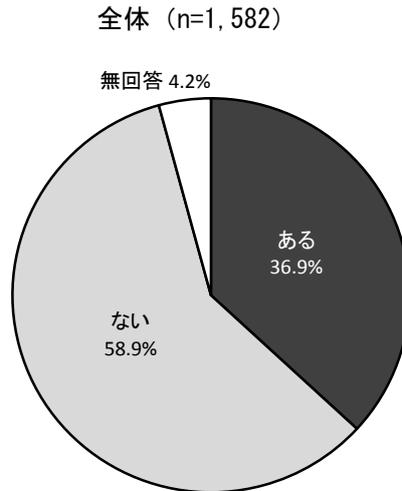
【属性別特徴】

- 性別でみると「男性」は「自力で歩ける状態ではなかった」、「女性」は「生命の危険があったと思った」の割合が最も高くなっています。
- 年齢別でみると18～20歳代と50歳以上は「自力で歩ける状態ではなかった」、30歳、40歳代は「生命の危険があったと思った」の割合が最も高くなっています。
- 職業別でみると「公務員」と「パート・アルバイト」は「生命の危険があったと思った」、その他の職業では「自力で歩ける状態ではなかった」の割合が最も高くなっています。
- 居住年数別でみると「5～10年」と「30年以上」は「生命の危険があったと思った」、その他の居住年数では「自力で歩ける状態ではなかった」の割合が最も高くなっています。
- 居住地区別でみるといずれの居住地区でも「生命の危険があったと思った」と「自力で歩ける状態ではなかった」が理由の上位1位、2位を占めています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	生命の危険があると思った	自力で歩ける状態ではなかった	症状が重いか軽いかわからなかった	夜間や休日でも病院の診療時間外だった	どの病院に行けばよいのかわからなかった	かかりつけの医師又は医療従事者に薦められた	家族や友人、居合わせた人に薦められた	交通事故だったから	病院へ連れて行ってくれる人がいなかった	救急車で病院に行ったほうが早く診てくれると思った	その他
全体		650	45.1	48.3	20.8	11.7	6.0	7.4	11.1	17.8	4.5	4.8	1.8
性別	男	309	43.0	48.9	23.0	12.9	8.1	5.2	11.3	20.1	4.2	6.1	1.6
	女	331	47.7	47.1	19.3	10.6	4.2	9.4	10.9	15.7	3.9	3.6	2.1
年齢別	18・19歳	6	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	20歳代	27	37.0	55.6	25.9	7.4	7.4	3.7	11.1	40.7	3.7	7.4	0.0
	30歳代	69	46.4	43.5	26.1	11.6	1.4	7.2	8.7	17.4	0.0	1.4	5.8
	40歳代	100	50.0	45.0	20.0	8.0	3.0	7.0	7.0	24.0	5.0	2.0	2.0
	50歳代	94	41.5	44.7	18.1	19.1	7.4	5.3	12.8	30.9	3.2	3.2	3.2
	60歳代	152	51.3	55.3	23.0	11.2	7.2	7.2	14.5	10.5	3.9	3.3	0.0
	70歳以上	196	41.8	46.4	18.9	10.7	7.7	9.2	10.7	10.7	6.6	9.2	1.5
職業別	農林漁業	3	33.3	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営業	35	45.7	48.6	17.1	14.3	5.7	2.9	11.4	20.0	2.9	2.9	0.0
	専門職	29	44.8	51.7	17.2	10.3	10.3	6.9	6.9	17.2	3.4	10.3	10.3
	会社員	138	38.4	45.7	22.5	15.9	6.5	4.3	11.6	26.8	1.4	2.2	1.4
	公務員	23	60.9	30.4	17.4	4.3	4.3	8.7	8.7	26.1	0.0	4.3	4.3
	パート	69	59.4	49.3	20.3	5.8	1.4	5.8	7.2	18.8	2.9	1.4	0.0
	専業主婦	123	46.3	50.4	18.7	12.2	3.3	13.8	9.8	16.3	2.4	4.1	1.6
	学生	8	37.5	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	無職	194	42.8	49.0	23.2	10.8	8.8	6.7	13.4	10.8	8.8	7.7	2.1
	その他	13	46.2	53.8	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7	23.1	15.4	7.7	0.0
居住年数別	1年未満	10	40.0	50.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0
	1～5年	22	18.2	50.0	18.2	9.1	4.5	4.5	4.5	27.3	4.5	4.5	9.1
	5～10年	29	41.4	34.5	27.6	3.4	0.0	3.4	13.8	20.7	0.0	0.0	0.0
	10～20年	52	40.4	44.2	26.9	15.4	5.8	13.5	13.5	23.1	1.9	5.8	1.9
	20～30年	71	39.4	57.7	25.4	14.1	2.8	9.9	12.7	22.5	4.2	1.4	0.0
	30年以上	460	48.5	47.8	19.6	11.1	7.0	6.7	10.9	15.7	4.8	5.7	2.0
居住地区別	大分中央	51	41.2	54.9	21.6	5.9	5.9	0.0	5.9	13.7	3.9	2.0	0.0
	大分西部	60	45.0	46.7	23.3	15.0	6.7	8.3	16.7	11.7	5.0	6.7	0.0
	大分南部	33	48.5	42.4	15.2	0.0	3.0	9.1	6.1	15.2	0.0	3.0	0.0
	南大分	65	38.5	55.4	26.2	12.3	6.2	7.7	20.0	21.5	7.7	4.6	3.1
	大分東部	54	38.9	38.9	24.1	16.7	7.4	5.6	9.3	18.5	13.0	0.0	3.7
	明野地区	37	48.6	59.5	21.6	16.2	5.4	2.7	16.2	16.2	2.7	8.1	0.0
	鶴崎地区	99	39.4	44.4	23.2	13.1	4.0	11.1	7.1	26.3	2.0	5.1	3.0
	大南地区	39	38.5	56.4	23.1	17.9	7.7	12.8	10.3	15.4	5.1	2.6	5.1
	植田地区	124	55.6	46.0	19.4	8.1	7.3	5.6	8.9	15.3	0.8	5.6	1.6
	大在地区	31	51.6	45.2	12.9	12.9	12.9	6.5	3.2	25.8	0.0	6.5	3.2
	坂ノ市地区	22	54.5	45.5	0.0	9.1	0.0	13.6	9.1	13.6	9.1	9.1	0.0
	佐賀関地区	18	38.9	38.9	27.8	16.7	5.6	11.1	22.2	16.7	11.1	11.1	0.0
野津原地区	5	80.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	

イ あなたやあなたの家族が、急な病気やけがをしたときに、救急車を呼んだほうがいいのか、自分で病院を受診すればいいのかなど、判断に迷ったことがありますか。

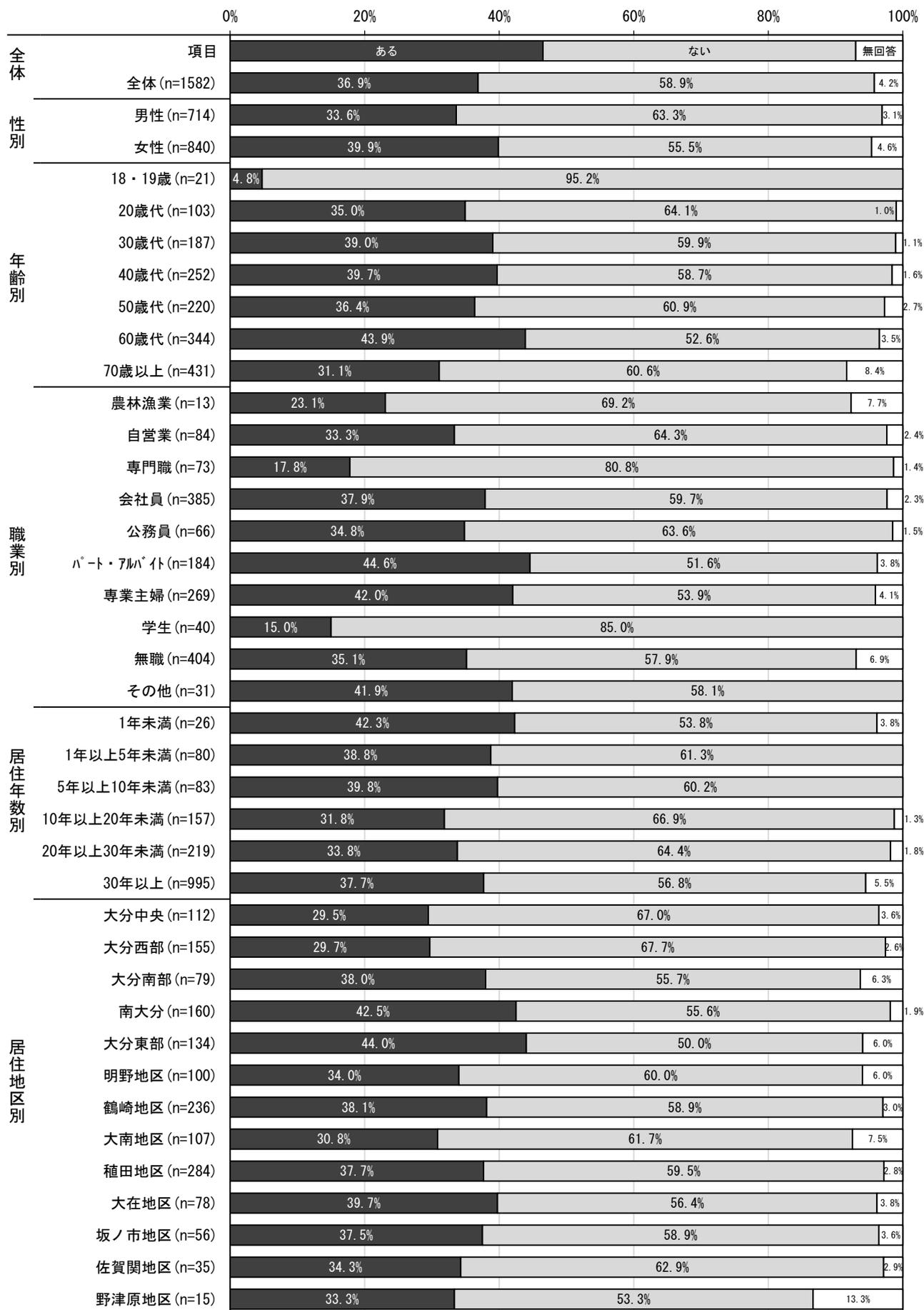


急な病気やけがをしたときに、救急車を呼ぶ判断で迷いがあったかについて、「ある」が36.9%、「ない」が58.9%となっています。

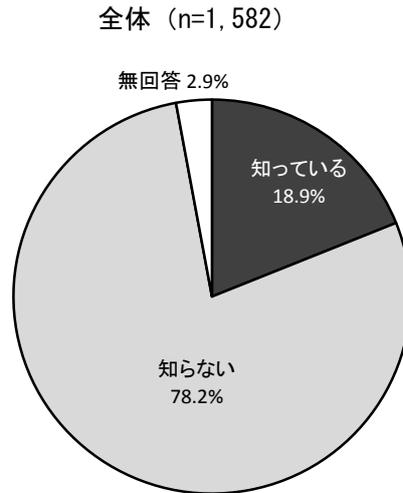
【属性別特徴】

- 性別で見ると「女性」が「男性」に比べて「ある」の割合が高くなっています。
- 年齢別で見ると「60歳代」が「ある」の割合が最も高く、次いで「40歳代」、「30歳代」となっています。一方、「18・19歳」は「ある」の割合が極めて低くなっています。
- 職業別で見ると「パート・アルバイト」が「ある」の割合が最も高く、次いで「専業主婦（主夫）」、「会社員」となっています。
- 居住年数別で見ると「1年未満」が「ある」の割合が最も高く、次いで「5年以上10年未満」、「1年以上5年未満」となっています。
- 居住地区別で見ると「大分東部」が「ある」の割合が最も高く、次いで「南大分」、「大在地区」となっています。「大分中央」が「ある」の割合が最も低くなっています。

(属性別)



ウ あなたは、救急車を呼んだほうがいいのか、自分で病院を受診すればいいのかを判断するために、ガイドブックや専門医に相談できる電話相談窓口があるのを知っていますか。

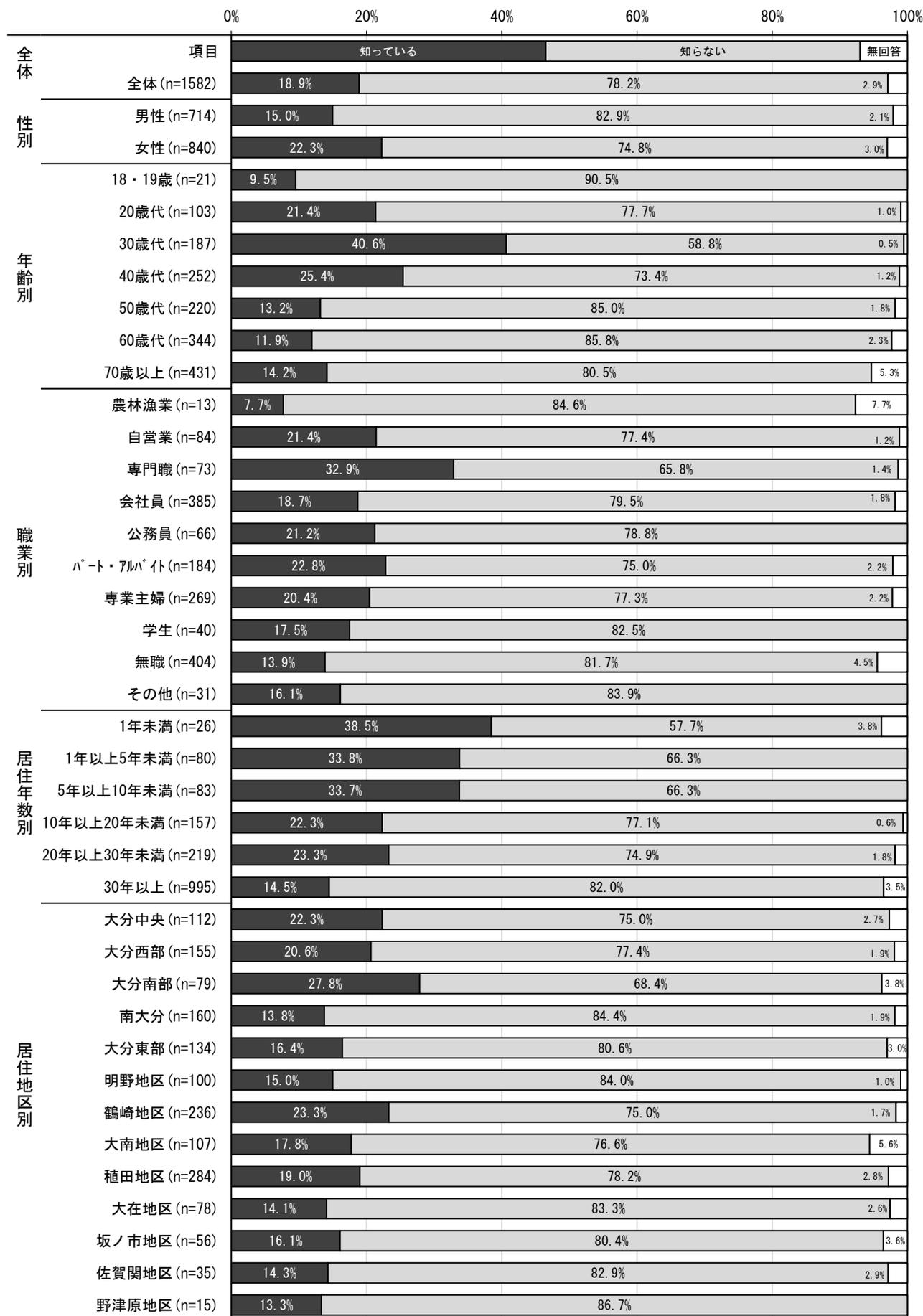


救急車を呼ぶかの判断のために、ガイドブックや専門医に相談できる電話相談窓口の認知度について「知っている」は18.9%、「知らない」は78.2%となっています。

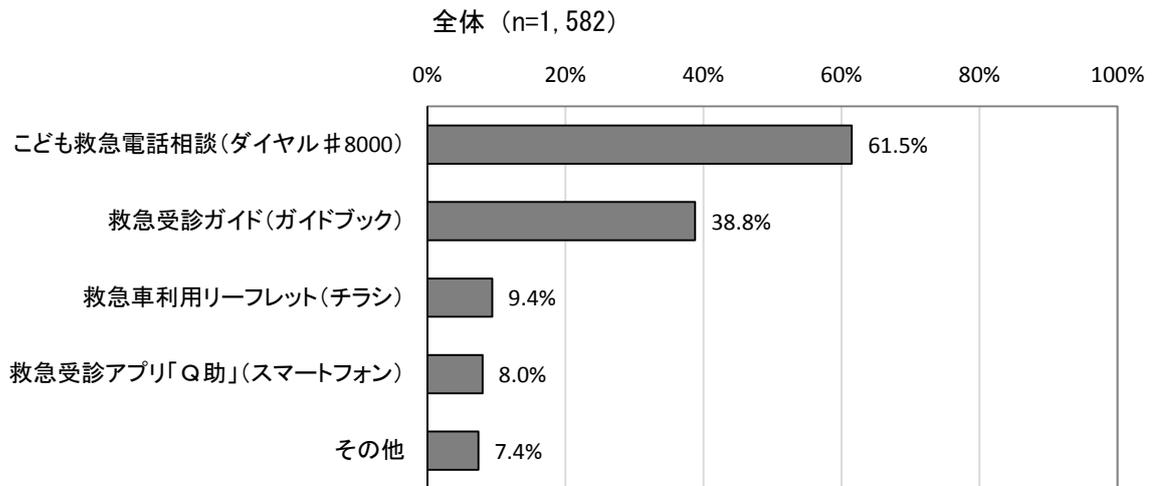
【属性別特徴】

- 性別で見ると「女性」が「男性」に比べて「知っている」の割合が高くなっています。
- 年齢別で見ると「30歳代」が「知っている」の割合が最も高く、次いで「40歳代」、「20歳代」となっています。
- 職業別で見ると「専門職」が「知っている」の割合が最も高く、次いで「パート・アルバイト」、「自営業」「公務員」となっています。
- 居住年数別で見ると、「1年未満」が「知っている」の割合が最も高く、次いで「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」となっています。
- 居住地区別で見ると「大分南部」が「知っている」の割合が最も高く、次いで「鶴崎地区」、「大分中央」となっています。

(属性別)



ウ-① この中で、あなたが知っているものをあげてください。(当てはまるものすべて選んでください)



「こども救急電話相談 (ダイヤル#8000)」の認知度は、61.5%、「救急受診ガイド (ガイドブック)」は、38.8%、救急車利用リーフレット (チラシ) は9.4%、救急受診アプリ「Q助」(スマートフォン)は、8.0%となっています。

【属性別特徴】

- 性別でみると「男性」は、「救急受診ガイド (ガイドブック)」、「女性」は「こども救急電話相談 (ダイヤル#8000)」の認知度が最も高くなっています。
- 年齢別でみると18～50歳代は「こども救急電話相談 (ダイヤル#8000)」、「60歳以上」は「救急受診ガイド (ガイドブック)」の認知度が最も高くなっています。なお、「18・19歳」は「救急受診アプリ「Q助」(スマートフォン)」も同率で高くなっています。
- 職業別でみると「専門職」「会社員」「公務員」「パート・アルバイト」「専業主婦 (主夫)」「その他」は「こども救急電話相談 (ダイヤル#8000)」、「農林漁業」「自営業」「学生」「無職」は「救急受診ガイド (ガイドブック)」の認知度が最も高くなっています。なお、「その他」は「救急車利用リーフレット (チラシ)」も同率で高くなっています。
- 居住年数別でみると全ての年数において、「こども救急電話相談 (ダイヤル#8000)」の認知度が最も高くなっています。
- 居住地区別でみると「佐賀関地区」は「救急受診ガイド (ガイドブック)」、「野津原地区」は、「救急車利用リーフレット (チラシ)」と「その他」、その他の地区は「こども救急電話相談 (ダイヤル#8000)」の認知度が最も高くなっています。なお、「大分南部」と「大南地区」は、「救急受診ガイド (ガイドブック)」も同率で高くなっています。

(属性別)

※サンプル数は数 ※項目は%		サンプル数	子ども救急電話相談(ダイヤル#8000)	救急受診ガイド(ガイドブック)	救急車利用リーフレット(チラシ)	救急受診アプリ「Q助」(スマートフォン)	その他
全体		299	61.5	38.8	9.4	8.0	7.4
性別	男	107	48.6	49.5	15.9	7.5	11.2
	女	187	69.5	32.6	5.9	8.6	5.3
年齢別	18・19歳	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代	22	45.5	31.8	4.5	9.1	13.6
	30歳代	76	86.8	31.6	3.9	5.3	2.6
	40歳代	64	73.4	26.6	9.4	7.8	7.8
	50歳代	29	65.5	27.6	6.9	13.8	10.3
	60歳代	41	43.9	48.8	9.8	9.8	9.8
	70歳以上	61	34.4	63.9	19.7	6.6	8.2
職業別	農林漁業	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	自営業	18	44.4	61.1	16.7	16.7	0.0
	専門職	24	58.3	37.5	0.0	4.2	16.7
	会社員	72	66.7	34.7	8.3	6.9	9.7
	公務員	14	92.9	28.6	7.1	7.1	0.0
	パート	42	73.8	28.6	0.0	4.8	11.9
	専業主婦	55	74.5	36.4	5.5	10.9	0.0
	学生	7	28.6	42.9	28.6	28.6	0.0
	無職	56	39.3	51.8	19.6	7.1	10.7
	その他	5	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
居住年数別	1年未満	10	60.0	30.0	20.0	10.0	10.0
	1～5年	27	70.4	29.6	7.4	11.1	7.4
	5～10年	28	82.1	32.1	3.6	10.7	3.6
	10～20年	35	77.1	28.6	11.4	11.4	0.0
	20～30年	51	60.8	41.2	11.8	9.8	15.7
	30年以上	144	52.8	44.4	9.0	5.6	6.9
居住地区別	大分中央	25	52.0	36.0	16.0	8.0	4.0
	大分西部	32	65.6	34.4	12.5	3.1	9.4
	大分南部	22	45.5	45.5	4.5	0.0	9.1
	南大分	22	68.2	31.8	18.2	9.1	0.0
	大分東部	22	63.6	36.4	4.5	13.6	9.1
	明野地区	15	60.0	46.7	13.3	6.7	0.0
	鶴崎地区	55	67.3	40.0	7.3	9.1	3.6
	大南地区	19	52.6	52.6	10.5	10.5	15.8
	植田地区	54	61.1	40.7	3.7	7.4	13.0
	大在地区	11	81.8	27.3	9.1	27.3	9.1
	坂ノ市地区	9	100.0	22.2	0.0	11.1	0.0
	佐賀関地区	5	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	野津原地区	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0